SHARP

AQUOS
SH-RM02

取扱説明書　’15.10

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

操作方法を確認する

クイックスタートガイド（本体付属品）

基本的な機能の操作について説明しています。

取扱説明書（PDFファイル）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
次のサイトでダウンロード
http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shrm02/manual/index.html
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書はホームアプリがFeel Homeの場合で説明しています。ホームアプリを変更すると、操作手順などが本書の説明と異なる場合があります。
- 本書の本文中においては、「SH-RM02」を「本端末」または「端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

SH-RM02本体
（保証書付き）

クイックスタートガイド

ご利用にあたっての注意事項

目次

本端末のご利用について....2
安全上のご注意(必ずお守りください)....3
取り扱い上のご注意....7
内蔵電池の交換について....9
リサイクルについて....9
防水性能....10

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能....12
nanoSIMカード....12
充電....14
電源を入れる/切る....15
基本操作....15
文字入力....17
初期設定....20
着信/充電ランプ....23
画面表示/アイコン....23
ホーム画面....24
クイックランチャー....27
アプリ使用履歴....29
ホーム切替....29

電話

電話をかける....30
電話を受ける....30
通話中の操作....31
発着信履歴....31
通話設定....32
電話帳....32

メール/ウェブブラウザ

SMS....34
Eメール....35
Gmail™....36
Chrome....37

アプリ

Playストア....39
おサイフケータイ....39
SHカメラ....40
翻訳ファインダー....42
検索ファインダー....43
アルバム....43
ミュージック....43
GPS/ナビ....44
YouTube....45
アラーム・時計....45
カレンダー....46
メモ帳....47
電卓....47
SHツール....47

端末設定

設定メニュー....49
プロフィール....49
サウンド・通知....49
ディスプレイ....50
省エネ&バッテリー....50
ストレージ....51
便利機能....52
アプリ....52
タップ&ペイ....52
データ使用量....53
もっと見る....53
位置情報....53
ロックとセキュリティ....54
言語と文字入力....56
バックアップとリセット....56
日付と時刻....57
ユーザー補助....57
印刷....58
端末情報....58

ファイル管理

ストレージ構成....59
コンテンツマネージャー....60

データ通信

赤外線送受信....61
Bluetooth®機能....62
NFC通信....64

外部機器接続

パソコンとの接続....65
プリントサービスによる印刷/保存....65
USBホスト機能....65
ワイヤレス出力....65
VPN(仮想プライベートネットワーク)....66

付録/索引

トラブルシューティング(FAQ)....67
保証とアフターサービス....69
ソフトウェア更新....69
主な仕様....70
携帯電話機の比吸収率(SAR)について....71
輸出管理規制....71
知的財産権について....72
索引....74

本端末のご利用について

- 本端末は、日本国内での使用を前提に作られています。
  海外でのご使用につきましては、お客様の責任にて行っていただきますよう、お願いいたします。
  渡航先の国／地域の法令などに抵触する場合がありますので、よくご確認の上ご使用ください。
- 本端末はLTE・W-CDMA・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところ、携帯電話サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容（電話帳、カレンダー、メモ帳、音声メモ・簡易留守録など）は、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- お客様の電話番号（自局番号）は、ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[プロフィール]で確認できます。
- 本端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の動作音声（カメラのシャッター音など）は消音されません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi接続中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます（☞P.69「ソフトウェア更新」）。
- ご利用の端末のソフトウェアバージョンについては☞P.58「端末情報」
- 紛失に備え、画面のロックを設定し端末のセキュリティを確保してください（☞P.54「ロックとセキュリティ」）。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google Play™などのGoogle™サービスや、SNSなどのサービスを他の人に利用されないように、パソコンなどより各種アカウントのパスワードを変更してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。またその他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- テザリングのご利用には、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、お読みになったあとは大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解した上で本文をお読みください。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解した上で本文をお読みください。

禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。	濡れた手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の6項目に分けて説明しています。

- 本端末・ACアダプター・microUSBケーブル・nanoSIMカードの取り扱いについて(共通) P.3
- 本端末の取り扱いについて P.4
- ACアダプター・microUSBケーブルの取り扱いについて P.6
- nanoSIMカードの取り扱いについて P.6
- 医用電気機器近くでの取り扱いについて P.6
- 材質一覧 P.7

本端末・ACアダプター・microUSBケーブル・nanoSIMカードの取り扱いについて(共通)

⚠危険

指示
本端末には、必ず指定のACアダプター(別売)・microUSBケーブル(別売)をご使用ください。
指定以外のものを使用した場合は、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、ACアダプター・microUSBケーブルの発熱・発火・故障などの原因となります。

禁止
高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で充電・使用・放置しないでください。
また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所(こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など)においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。
機器の変形・故障や内蔵電池の漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

禁止
本端末にmicroUSBケーブルをうまく取り付けできないときは、無理に行わないでください。microUSBプラグの向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。
内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。また外部接続端子を破損・焼損させる原因となります。

禁止
本端末にACアダプターとmicroUSBケーブルを接続した状態で、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。
端子が破損した状態で充電すると故障や火災の原因となります。充電するときは、使用場所、取り扱いにご注意ください。

分解禁止
分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。
火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。
また、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
本端末の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

水濡れ禁止
水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞P.10「防水性能」

水濡れ禁止
本端末内部・ACアダプター・microUSBケーブルを濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が本体内部に入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れたまま充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。
使用場所、取り扱いにご注意ください。

⚠警告

禁止
本端末・ACアダプター・microUSBケーブルを、加熱調理機器(電子レンジなど)・高圧容器(圧力釜など)の中に入れたり、電磁調理器(IH調理器)の上に置いたりしないでください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、本端末・ACアダプター・microUSBケーブルの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

禁止

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

禁止

外部接続端子やイヤホンマイク端子に、液体（水道水、清涼飲料水、海水、ペットの尿など）や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。

禁止

乾燥などの目的で、ドライヤーなどの温風を当てないでください。また、サウナに持ち込んだり、熱湯をかけたりしないでください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、本端末・ACアダプター・microUSBケーブルの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

指示

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本端末の電源をお切りください。また、充電もしないでください。
ガスに引火する恐れがあります。ガソリンスタンド構内などでNFC（おサイフケータイ®を含む）対応携帯電話をご利用になる際は、電源を切った状態で使用してください（NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合は、ロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 本端末の電源を切る。
異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。またバイブレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。
落下して、けがや故障などの原因となります。また、充電中の落下は端子の破損の原因となります。

禁止

本端末からmicroUSBケーブルを取り外す際は、コードを引っ張らず、microUSBケーブルのmicroUSBプラグを持って取り外してください。
コードを引っ張るとコードが傷ついたり、端子の破損による火災や感電などの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示

本端末を長時間ご使用になる場合、熱くなることがありますので、ご注意ください。
長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

本端末の取り扱いについて

本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

火の中に投下しないでください。
内蔵電池を漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。
内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示

内蔵電池内部の液が目の中に入ったときは、擦らず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診療を受けてください。
失明などの原因となります。

⚠警告

指示

屋外で使用中に雷が鳴り出したら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。
落雷や感電の原因となります。

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。

禁止

赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光しないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりして、けがなどの事故の原因となります。

禁止

充電中は、本端末を布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。また布や布団で覆った状態で、就寝しないようにしてください。
熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。

禁止

本端末内のnanoSIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

禁止

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。
交通事故の原因となります。
乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。
運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

禁止

本端末のディスプレイ部には強化ガラスを使用しています。
落下などによる衝撃や無理な力は加えないでください。
ディスプレイ部が破損し、ガラスが鋭利な破片となって、激しく飛散する恐れがあります。万一、破損した場合は、破片や破損部分に直接手を触れないようご注意ください。けがの原因となります。

指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信時のバイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える恐れがあります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

指示

内蔵電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本端末の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示

本端末の使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して火気から遠ざけてください。
異常な状態のまま使用すると、内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示

ペットが本端末に噛みつかないようご注意ください。また、ペットが噛みついた本端末は使用しないでください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。

⚠注意

禁止

本端末に磁気カードなどを近づけないでください。
キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や周囲の人に当たり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診療を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸などで洗い流してください。

禁止

不要になった本端末を、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
電池を内蔵していますので、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。適切に処理いたします。

禁止

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。
本端末を自動車内で使用すると、車種により、まれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

指示

充電しながら携帯電話やアプリ(ゲームなど)を長時間使用すると、本端末やACアダプター・microUSBケーブルの温度が高くなることがありますので、温度の高い部分に長時間触れないでください。
低温やけどなどの原因となります。

禁止

着信音が鳴っているときや、本端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

指示

本端末の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診療を受けてください。
本端末では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質について☞P.7「材質一覧」

指示

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳を痛めたりする原因となります。

ACアダプター・microUSBケーブルの取り扱いについて

⚠警告

禁止
充電中は、布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。また布や布団で覆った状態で、就寝しないようにしてください。
熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。

禁止
指定以外の電源・電圧で使用しないでください。
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。
- 指定のACアダプター（別売）：AC100V～240V（家庭用ACコンセント専用）

また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

禁止
microUSBケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
ACアダプター・microUSBケーブルは、風呂場や洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

禁止
雷が鳴り出したら、ACアダプター・microUSBケーブルには触れないでください。
感電などの原因となります。

禁止
microUSBケーブルのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
microUSBケーブルをACアダプターに差し込むときや、ACアダプターにmicroUSBケーブルを接続した状態では、接続部に異物や液体などを入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止
本端末・ACアダプター・microUSBケーブルが濡れている状態では、プラグを絶対に接続しないでください。
本端末は防水性能を有しておりますが、濡れた状態でプラグを挿入すると、本端末やプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。

濡れ手禁止
濡れた手でACアダプター・microUSBケーブルのプラグや端子を抜き差ししないでください。
感電や故障などの原因となります。

指示
プラグにほこりがついたときは、ACアダプターを持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。
火災の原因となります。

指示
ACアダプターをコンセントに差し込むときは、ACアダプター・microUSBケーブルのプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。
感電やショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。

指示
本端末にmicroUSBケーブルを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

電源プラグを抜く
使用しない場合は、ACアダプターを持って電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを挿したまま放置し、ACアダプターのプラグに異物や液体が付着したり、ACアダプターのプラグを踏みつけたりすると、感電・火災・故障の原因となります。

電源プラグを抜く
万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちにACアダプターを持って、コンセントからプラグを抜いてください。
感電・発煙・火災の原因となります。

⚠注意

禁止
ACアダプターをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。

禁止
プラグに手や指など身体の一部が触れないようにしてください。
やけど・感電・傷害・故障の原因となります。

指示
ACアダプターをコンセントから抜くときは、microUSBケーブルを引っ張らず、ACアダプターを持ってプラグを抜いてください。
microUSBケーブルを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。

指示
ACアダプターをテーブルタップに接続しているときは、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。
火災や故障の原因となります。

電源プラグを抜く
お手入れの際は、コンセントから、必ずACアダプターを持ってプラグを抜いてください。
感電などの原因となります。

nanoSIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示
nanoSIMカードを取り扱う際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成26年８月］）および「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」（総務省）の内容を参考にしたものです。

⚠警告

指示
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカなどの装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示
自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

指示

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、身動きが自由に取れないほど混雑した状況など、15cm以上離隔距離を確保できない恐れがある場合には、事前に通信機能が使用できない状態(例:機内モード)に切り替えるか、または携帯電話の電源をお切りください。電源が自動的に入るアプリをインストールしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

指示

医療機関などでは、以下を守ってください。本端末の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 医療機関内での携帯電話の使用においては、各医療機関からの指示に従ってください。
- 手術室、集中治療室(ICU)などでは、本機の電源を必ず切ってください。
- 病室・ロビーなど使用を許可されたエリアでも、近くに医用電気機器がある場合は、必要な離隔距離を確保してください。

材質一覧

端末

使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイ面	強化ガラス／表面飛散防止シート付き
ディスプレイ面の周囲	PA樹脂／表面UV塗装
背面	PC樹脂／表面UV塗装
nanoSIMカードスロット	SUS／Niメッキ
microSDカードスロット	SUS／Niメッキ
nanoSIMカード／microSDカードスロットカバー	PC樹脂／表面UV塗装
nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーのパッキン	シリコンゴム
nanoSIMカード取り付け用のトレイ	POM樹脂
IMEIプレート	PET樹脂
電源キー	PC樹脂／蒸着、UV塗装
サイドキー	PC樹脂／蒸着、UV塗装
カメラパネル	PMMA＋PC樹脂／表面ハードコート
カメラ飾り	アルミニウム／アルマイト処理
モバイルライト	PC樹脂
外部接続端子	SUS／Snメッキ、銅合金／金メッキ
ストラップピン	SUS／Niメッキ

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- SH-RM02は防水性能を有しておりますが、本端末内部に浸水させないでください。
- ACアダプター、microUSBケーブル、nanoSIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。
  身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
  アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
  乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 無理な力がかからないようにお取り扱いください。
  故障やけがの原因となります。
  - ズボンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり椅子などに座らないでください。特に厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - かばんなどに入れるときは、重たいものの下にならないように十分ご注意ください。
- 本端末のディスプレイを堅いもので擦ったり、傷つけないようご注意ください。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。

本端末についてのお願い

- タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
  タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 本端末は温度:5℃～35℃、湿度:45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本端末を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  故障、破損の原因となります。
- 端子に指定品以外のものは、取り付けないでください。
  誤動作したり、破損することがあります。

- 使用中や充電中は本端末や内蔵電池が温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はnanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを閉じた状態でご使用ください。
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- microSDカードの使用中は本端末の電源を切らないでください。
  データの消失・故障の原因となります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げないでください。
  事故の原因となります。
- 本端末を手に持って使用するときは、送話口／マイク、受話口、スピーカーを塞がないようにご注意ください。
- 内蔵電池は消耗品です。
  十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。内蔵電池を交換してください。なお、内蔵電池は、お客様自身では交換できません。内蔵電池の交換については、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度（5 ℃～35℃）の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の保管をしないようにご注意ください。
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量がない状態（本端末の電源が入らないほど消費している状態）での保管

  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。
- 本端末の表面にアルミ材を使用しております。アルミは柔らかい素材のため、打痕・擦り傷が残りやすくなっておりますので、ご注意ください。

ACアダプター・microUSBケーブルについてのお願い

- 充電には別売のACアダプター、microUSBケーブルをご使用ください。
  別売品については次のサイトをご覧ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shrm02/index.html
- 充電は、適正な周囲温度（5 ℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、ACアダプターやmicroUSBケーブルが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、プラグを変形させないでください。
  故障の原因となります。

nanoSIMカードについてのお願い

- nanoSIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のＩＣカードリーダー／ライターなどにnanoSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- ＩＣ部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、nanoSIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ＩＣを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- nanoSIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- nanoSIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- nanoSIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
  本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は、ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[端末情報]▶[認証]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。

  ① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
  ② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
  ③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
  ④ XX：変調方式がその他の方式であることを示します。
  ⑤ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
  ⑥ ■■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。
- Bluetooth機器使用上の注意事項
  本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
  1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  3. その他、ご不明な点につきましては、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

- 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

- 無線LANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。
- 周波数帯について
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[端末情報]▶[認証]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。

① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
② DS:変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF:変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4:想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ■■■:2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本端末の無線LANで設定できるチャネルは1～13です。これ以外のチャネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。
利用可能なチャネルは国により異なります。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

- 2.4GHz機器使用上の注意事項
  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
  1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
  3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCaおよびNFCリーダー/ライターについて

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー/ライター, P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー/ライター, P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。
  その国/地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク㊣」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
  ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[端末情報]▶[認証]
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **FeliCa リーダー/ライター機能は日本国内で利用してください。**
  本端末のFeliCa リーダー/ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

内蔵電池の交換について

内蔵電池は消耗品です。充放電を繰り返すうちに劣化し、使用時間が極端に短くなります。
内蔵電池の劣化は、使用状況や動作環境によって異なりますが、満充電にしても極端に使用時間が短くなったときは、新しい内蔵電池と交換する必要があります。
本端末の内蔵電池はお客様自身では交換できませんので、「保証書に記載のお問い合わせ先」へご連絡いただき、内蔵電池の交換を依頼してください(有償)。

リサイクルについて

本端末に使用していますリチウムイオン電池はリサイクル可能な有益な資源です。リサイクルにご協力をお願いします。
リサイクルについては「保証書に記載のお問い合わせ先」まで、ご相談ください。

■本製品を廃棄するときは

- 各自治体の廃棄ルールに従っていただきますようお願いします。自治体によって規則が異なりますので、お客様がお住まいの各自治体にご確認ください。
- プライバシー保護のため、事前にオールリセットを行って、システムメモリ内のすべてのデータを消去してください(P.57「オールリセット」)。

防水性能

SH-RM02は、nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーをしっかりと閉じた状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能を有しています。

※1　IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約３mの距離から12.5リットル/分の水を最低３分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2　IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深１mのところにSH-RM02を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

SH-RM02が有する防水性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます（１時間の雨量が20mm程度）。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流（６リットル/分以下、常温（５℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください（☞P.11「水に濡れたときの水抜きについて」）。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

ご利用にあたって

防水性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
- nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- 防水性能を維持するため、nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーはしっかり閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。
- nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーの開閉については☞P.12「取り付けかた」

- 防水性能を維持するため、異常の有無にかかわらず２年に１回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。部品の交換については「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。

注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーの開閉はしないでください。
- nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛１本、砂粒１つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。
- nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーと本体の接触面のゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
  ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、浸水の原因となります。
- 水中で端末を使用（キー操作を含む）しないでください。故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流（６リットル/分を超える）を直接当てないでください。SH-RM02はIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温（５℃～35℃）の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂／泥の上に直接置かないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口／マイク、受話口、スピーカー、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- 送話口／マイク、受話口、スピーカー、空気穴、外部接続端子、イヤホンマイク端子などを尖ったものでつつかないでください。
- 端末が水に濡れた状態でイヤホンマイクを挿さないでください。故障の原因となります。

せっけん／洗剤／入浴剤　海水　プール

温泉　砂／泥

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

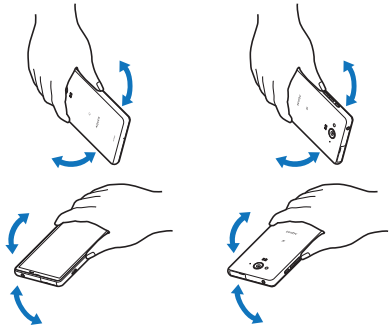
水に濡れたときの水抜きについて

端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

1 端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

- ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。

2 端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

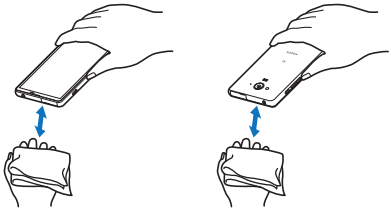


スピーカーの水抜きのためにスピーカーを下にして振る

受話口の水抜きのために受話口を下にして振る

3 送話口／マイク、受話口、スピーカー、キー、空気穴、外部接続端子、イヤホンマイク端子、ストラップ取り付け口などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、しばらく自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらいことがありますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

充電のとき

別売のACアダプターやmicroUSBケーブルは防水性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

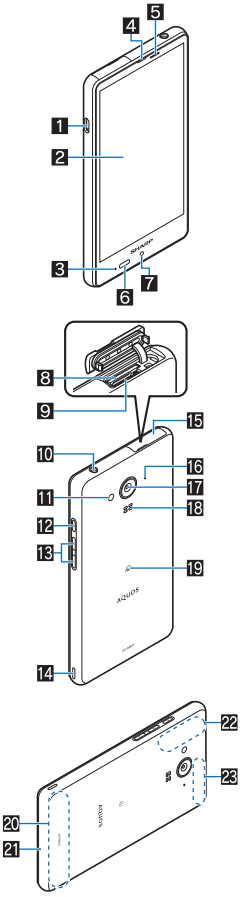
- 端末が濡れていないか確認してください。濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、しばらく自然乾燥させてから、nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを開いてください。

警告

端末が濡れている状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。

- 端末は防水性能を有しておりますが、濡れた状態でmicroUSBプラグを挿入すると、端末やmicroUSBプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。
- 濡れた手でACアダプター（別売）やmicroUSBケーブル（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプターやmicroUSBケーブルは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

各部の名称と機能



1 外部接続端子
2 ディスプレイ／タッチパネル
3 着信／充電ランプ
4 受話口
5 近接センサー／明るさセンサー※1
- 近接センサーは、通話中に顔の接近を感知して、タッチパネルの誤動作を防ぎます。
- 明るさセンサーは、周りの明るさを検知して、バックライトの明るさを調整します。

6 赤外線ポート
7 インカメラ
8 nanoSIMカードスロット
- nanoSIMカードを取り付けるためのトレイが収納されています。

9 microSDカードスロット
10 イヤホンマイク端子
11 モバイルライト
12 (電源):電源キー
- 電源を入れる／切るときなどに利用します。
- ディスプレイの表示／非表示を切り替えます。

13 (+)／(−):音量UP／DOWNキー
- 各種機能で音量を調節します。

14 ストラップ取り付け口
15 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバー
16 空気穴
- 端末内の余分な空気を抜くための穴です。

17 アウトカメラ
18 スピーカー
- 着信音や音楽などがここから聞こえます。
- ハンズフリー通話中は相手の声がここから聞こえます。

19 マーク
- ＩＣカードが搭載されています（取り外しはできません）。

20 内蔵アンテナ※2
21 送話口／マイク
22 GPS／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ※2
23 内蔵サブアンテナ※2

※1 センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。センサーが正常に動作しないことがあります。
※2 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響をおよぼす場合があります。

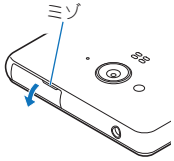
イヤホンマイク端子について
- 対応するイヤホンマイクについては次のサイトをご覧ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shrm02/peripherals/other.html#earphone.html

nanoSIMカード

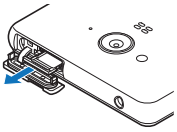
nanoSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているＩＣカードです。
- 日本国内では、通話可能なnanoSIMカードを取り付けないと緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- nanoSIMカードには、PINコードという暗証番号があります（☞P.55「PINコード」）。
- nanoSIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。端末は手でしっかり持ってください。

■取り付けかた

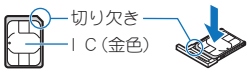
1 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを開く
- ミゾに指先をかけて、開けてください。



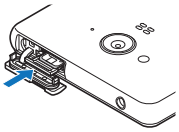
2 nanoSIMカードスロットからトレイを取り外す
- トレイに指先をかけて、ゆっくりとまっすぐに取り外してください。



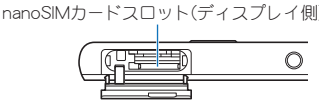
3 nanoSIMカードのＩＣ（金色）面を上に向けて、トレイにセットする



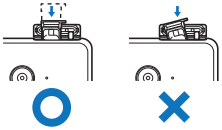
4 トレイをnanoSIMカードスロットにゆっくりと挿入する



- nanoSIMカードスロットは、microSDカードスロットの下にあります。トレイを取り付ける場合、誤ってmicroSDカードスロットに挿入しないようにご注意ください。

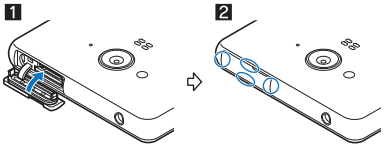


- トレイが傾いた状態や、表裏が逆の状態で無理に挿し込まないでください。nanoSIMカードスロットやトレイが破損することがあります。



5 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを閉じる

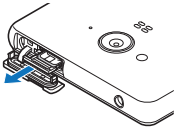
- 端末とnanoSIMカード／microSDカードスロットカバーにすき間が生じないように、矢印の方向に閉じ（❶）、○部分をしっかりと押してください（❷）。



■取り外しかた

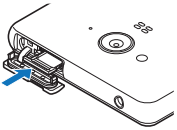
1 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを開く

2 nanoSIMカードスロットからトレイを取り外す



3 トレイからnanoSIMカードを取り外す

4 トレイをnanoSIMカードスロットにゆっくりと挿入する



5 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを閉じる

- nanoSIMカードやトレイを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- nanoSIMカードを取り扱うときは、ＩＣ（金色）に触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとnanoSIMカードが破損したり、トレイが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- nanoSIMカードの詳しい取り扱いについては、nanoSIMカードの取扱説明書を参照してください。
- 取り外したnanoSIMカードは、なくさないようにご注意ください。

IMEIプレートについて

- microSDカードスロットの付近にはIMEI番号（端末識別番号）が記載されたプレートが収納されています。「保証書に記載のお問い合わせ先」にお問い合わせいただく際に、IMEI番号が必要となりますので、引き出さないでください。
- IMEIプレートを無理に引き出したり、力を加えたりすると、破損する恐れがありますのでご注意ください。
- IMEIプレートを引き出してしまった場合は、ゆっくりと押し込んでください。

充電

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

■充電時のご注意

- 充電時間の目安については☞P.70「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できます（充電中は電池マークに[⚡]が重なって表示されます）。
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると内蔵電池の充電量が減少します。このような場合、ACアダプター（別売）は再び充電を行います。ただし、ACアダプターから端末を取り外す時期により、内蔵電池の充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

■十分に充電したときの利用可能時間（目安）

連続通話時間	3G 約900分 VoLTE（音声通話） 約960分
連続待受時間	3G 静止時：約700時間 LTE 静止時：約610時間

- 利用可能時間について詳しくは☞P.70「主な仕様」

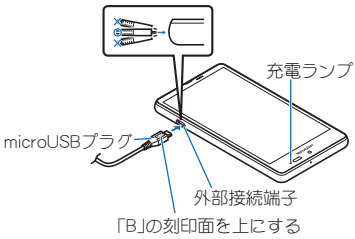
ACアダプターで充電

[必ず利用するACアダプターの取扱説明書を参照してください]

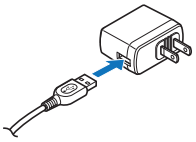
- 次の操作はACアダプター（別売）を使用して説明しています。

1 microUSBケーブルのmicroUSBプラグを、「B」の刻印面を上にして端末の外部接続端子に水平に差し込む

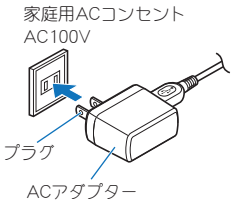
- microUSBプラグの向き（表裏）をよく確かめ、水平に差し込んでください。



2 microUSBケーブルのUSBプラグをACアダプターのUSB接続端子に水平に差し込む



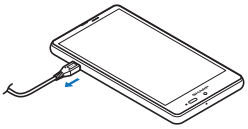
3 ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込むと、充電ランプが点灯して、充電が開始する



4 充電が完了すると、充電ランプが消灯する

5 ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、microUSBケーブルのUSBプラグをACアダプターのUSB接続端子から水平に抜く

6 microUSBケーブルのmicroUSBプラグを外部接続端子から水平に抜く



- 無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子やmicroUSBプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

microUSBケーブルで充電

端末とパソコンをmicroUSBケーブル（別売）で接続すると、端末を充電することができます。

- パソコンとの接続方法については☞P.65「端末とパソコンの接続方法」

電源を入れる／切る

■電源を入れる

1 🔒(⏻)（2秒以上）

- はじめて端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください（☞P.20「初期設定」）。

■電源を切る

1 🔒(⏻)（1秒以上）▶[電源を切る]▶[OK]

■強制的に電源を切る

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に端末の電源を切ることができます。

1 🔒(⏻)（8秒以上）

- バイブレータが動作したあとに手を離すと、電源が切れます。

■ディスプレイの表示／非表示

🔒(⏻)を押したときや端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えます。

ディスプレイが消えているときに🔒(⏻)を押すと、ディスプレイが表示されます。

ウェルカムシートの操作

電源を入れたときやディスプレイを表示させたときはウェルカムシートが表示され、タッチパネルがロックされています。

1 壁紙

- ウェルカムシート壁紙を[静止画]に設定している場合、複数の静止画を登録していると、左右にフリックすることで壁紙を切り替えることができます。
  - [ウェルカムシート壁紙]には最大5枚まで静止画を登録できます。

2 インフォエリア

- 左右にフリックすると、天気、日時などに表示を切り替えます。
- ロックとセキュリティで[所有者情報]を設定している場合に[ⓘ]をタッチすると、所有者情報が表示されます。

3 ショートカット表示

- 上にスライドすると、ショートカットなどが表示されます。

4 SHカメラ起動

- 上にスライドすると、SHカメラが起動します。

5 ロック解除

- 上にスライドすると、ロックが解除されます。

■ウェルカムシート設定

ウェルカムシートに表示する壁紙やショートカット、インフォエリアなどを設定することができます。

1 ウェルカムシートで[⋮]を上にスライド

2 [ウェルカムシート]

- ウェルカムシート壁紙：ウェルカムシートの画像を設定します。
- ショートカット：ウェルカムシートから起動するショートカットを設定します。
- インフォエリア：インフォエリアに天気を表示することができます。
- ウェルカムシート点灯時間：ウェルカムシートの点灯時間を設定します。

■ウェルカムシートの操作

- マナーモード設定／解除：🔒(ー)（2秒以上）
- モバイルライト点灯／消灯：🔒(＋)（2秒以上）
- 通知詳細情報の表示：壁紙を下にドラッグ
- ステータスパネルの表示：ステータスバーを下にドラッグ

- タッチパネルのロック画面には通知が表示されます。[端末がロックされているとき]で通知の表示について設定できます（☞P.49「サウンド・通知」）。

モバイルライトについて

- モバイルライトを点灯後に長時間使用したり、端末の温度が高くなった場合、モバイルライトが自動的に消灯することがあります。また、端末の温度が高い状態では、モバイルライトが利用できないことがあります。

基本操作

タッチパネルやナビゲーションキーの操作、スクリーンショットの撮影など、端末の基本的な操作について説明します。

タッチパネルの操作

ディスプレイ（タッチパネル）を使用するための操作について説明します。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ■手袋をしたままでの操作
  - ■爪の先での操作
  - ■異物を操作面に乗せたままでの操作
  - ■保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ■タッチパネルが濡れたままでの操作
  - ■指が汗や水などで濡れた状態での操作

- 確認画面などの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタッチすると操作が中止されることがあります。

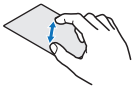
■タッチ
画面に表示されるキーや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。

■ロングタッチ
利用中の機能や画面によっては、タッチパネルに触れたままにするとメニューが表示されることがあります。

■スライド(スワイプ)/ドラッグ
タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどを目的の位置まで移動したりできます。
また、メニューや項目に間違って触れたときにメニューや項目から離れるように指を動かすと、選択を中止できます。

■フリック
ホーム画面などでタッチパネルをはらうように指を動かすと、ページの切り替えができます。

■ピンチアウト/ピンチイン
利用中の機能や画面によっては、2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる(ピンチアウト)/狭める(ピンチイン)ように指を動かすと、画面の拡大/縮小などができます。



機能利用中の操作

■ナビゲーションキー
画面下部に表示されるナビゲーションキーを使って基本的な操作を行うことができます。

1 ◁/▽:戻るキー/閉じるキー
- 1つ前の画面に戻します。
- キーボードを閉じます。

2 ○:ホームキー
- ホーム画面を表示します。

3 □:アプリ使用履歴キー
- クイックランチャーやアプリ使用履歴を表示します(☞P.27「クイックランチャー」、P.29「アプリ使用履歴」)。

■アシスト機能の利用
アシスト機能に対応したアプリをすばやく起動することができます。

1 いずれかのナビゲーションキーを上にスライド▶[Google]が表示されるまで左右にスライド
- アシスト機能に対応したアプリが複数ある場合は[🔍]が表示され、起動するアプリを選択できます。

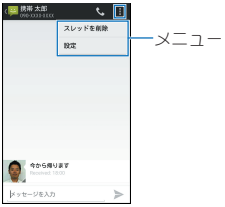
■画面縮小モード
片手でも操作できるように、画面を縮小することができます。

1 いずれかのナビゲーションキーを上にスライド▶[📱]/[📱]が表示されるまで左右にスライド
- 縮小したときと同様の操作で画面のサイズを元に戻すことができます。
- [⚙]をタッチすると、縮小した画面を移動したりサイズを変更したりできます。

- 表示中の画面によっては、縮小することができない場合があります。
- 画面縮小モード中に横表示にしたり、ディスプレイの表示が消えたりすると、画面縮小モードは解除されます。

■メニューを呼び出す
[⋮]/[⋯]/[⋮]などのタッチや画面の左端を右にスライド、画面のロングタッチを行うと、その画面で利用できる機能(メニュー)が表示されます。

例:メッセージ画面



■設定の切替
設定項目の横にチェックボックスなどが表示されているときは、タッチすることで設定の有効/無効やON/OFFを切り替えることができます。

例:モーションでON/OFF画面、バックアップとリセット画面
- [☑]は有効、[☐]は無効の状態です。

● [○●]はON、[○○]はOFFの状態です。

■縦／横表示

端末を傾けたときに画面の表示が切り替わります。

- 表示中の画面によっては、端末の向きを変えても、縦／横表示が切り替わらない場合があります。
- 端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、縦／横表示は切り替わりません。
- 音やバイブレータが動作しているときは、切り替えが正しく行われない場合があります。
- 画面が点灯した直後や電源を入れた直後は、縦横が正しく表示されない場合があります。
- 自動的に切り替わらないように設定することもできます（☞P.50「ディスプレイ」）。
- 縦表示から横表示にした場合、アプリによっては全画面表示されることがあります。

スクリーンショットの撮影

(⏻)＋(−)を1秒以上押すと、表示中の画面を画像として撮影できます。

- 撮影した画像は本体メモリに保存され、アルバムなどで確認することができます。

- 電子書籍の表示中などは保存できません。
- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

端末内やサイトの情報の検索

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶[Google]

- Google Now™の確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- クイック検索ボックスが表示されます。

2 キーワードを入力

1 検索ボックス

- 検索するキーワードを入力します。
- キーワードを入力すると、入力した文字から始まるアプリやデータなどを検索し、一覧表示します。

2 音声検索切替

- マイクに向かって「Ok Google」と発声しても音声検索に切り替わります。

3 検索結果を選ぶ

- 検索結果がアプリの場合は対応するアプリが起動します。
- [画像]などが表示された場合は、ジャンルを選択して検索することができます。
- 検索結果にキーボードが重なって表示される場合は[▽]をタッチしてキーボードを閉じてください。

■検索設定

1 クイック検索ボックスで[☰]▶[設定]

- クイック検索ボックスに[☰]が表示されている場合に操作できます。
- クイック検索ボックスで画面の左端を右にスライドしても、操作できる場合があります。

2 項目を選ぶ

- ■アカウントとプライバシー：検索に利用するGoogleアカウントやセーフサーチフィルタなど、アカウントやプライバシーについて設定します。
- ■検索言語：キーワード検索の結果を表示する言語を設定します。
- ■音声：音声入力について設定します。
- ■端末内検索：検索する対象の範囲を設定します。
- ■Nowカード：Google Nowについて設定します。
- ■概要：アプリのバージョンや法的事項を確認できます。

文字入力

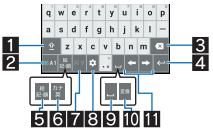
QWERTYキーボードと12キーボードを利用して文字入力をしたり、音声や区点コードで入力したりできます。

- 文字入力時に画面下部の[⌨]をタッチすると、使用する入力ソフトを設定することができます。ここでは、[S-Shoin]の場合で説明しています。

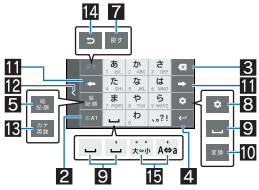
キーボードの見かた

- 次の2種類のキーボードを利用できます。

QWERTYキーボード	文字入力キーをタッチすると表示されている文字を入力できます。ローマ字で文字を入力します。
12キーボード	1つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられています。文字入力キーを上下左右にフリックして、文字を入力します。 ● 入力したい文字が表示されるまで文字入力キーをタッチして、文字を入力することもできます。



QWERTYキーボード



12キーボード

※各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

1 シフトキー

- 大文字／小文字を切り替えるときなどにタッチします。
  - [▲]が表示されているときは小文字が入力されます。[▲]が表示されているときは最初に入力する文字が大文字になります。[▲]が表示されているときは大文字が入力されます。

・大文字／小文字を切り替えると、キーボードで入力できる記号も変わります。

2 入力モード切替キー
- 入力モードを変更します。
  - ・タッチすると、半角英字→半角数字→ひらがな漢字の順に、入力モードが切り替わります。右にスライドすると、半角数字→半角英字→ひらがな漢字の順に、入力モードが切り替わります。
  - ・上にスライドすると、ひらがな漢字／半角英字／半角数字以外の入力モードを選択することもできます。
  - ・各入力モードで設定したキーボードが表示されます。

3 削除キー
- 文字削除キー動作で設定した方向の文字を消します。

4 エンターキー
- 改行します。
- 入力した文字を確定します。
- 検索ボックスなどの入力欄に入力した内容を実行します。
- 次の入力欄に移動します。
- ロングタッチすると、キーボードを閉じます。

5 記号キー
- 絵文字／記号／顔文字リストを表示します。
  - ・アプリによっては、入力できないものがあります。
- 右にスライドすると連携・引用アプリ一覧が表示されます。

6 カナ英キー
- 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英字や記号の変換候補（カナ英字変換候補）を表示します。
- 右にスライドすると連携・引用アプリ一覧が表示されます。

7 戻すキー
- 直前に行った操作を取り消します。

8 設定キー
- 設定メニューを表示します。

9 スペースキー
- スペースを入力します。

10 変換キー
- 入力した文字を変換します。

11 カーソルキー
- カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。

12 配置移動
- [〈]／[〉]をタッチするとキーボードや変換候補欄などを左右に移動します。

13 カナ英数キー
- 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英数字や記号の変換候補（カナ英数変換候補）を表示します。
- 右にスライドすると連携・引用アプリ一覧が表示されます。

14 逆トグルキー
- 同じキーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。

15 文字切替キー
- 大文字／小文字を切り替えるときにタッチします。
- 濁点／半濁点を付けるときにタッチします。

■キーボードの切替

例：ひらがな漢字入力モードで縦表示のとき

1 文字入力画面で[⚙]▶[入力方式]▶[QWERTYキーボード]／[12キーボード]
- [⚙]を上にスライドしても切り替えることができます。

文字入力の設定

■表示・レイアウト

1 文字入力画面で[⚙]▶[表示・レイアウト]

2 項目を選ぶ
- ■キーボード調整：キーボードのサイズや変換候補欄の行数、幅寄せ、ガイド表示、デザインについて設定します。
- ■絵文字・記号リスト列数：絵文字・記号リストの列数を設定します。
- ■キー入力ガイド表示：選択したキーの拡大表示やフリック入力のガイドを表示するか設定します。
- ■ソフトキーボード表示：Bluetooth機能などで市販のキーボードを接続して文字入力するときに文字入力画面を表示するか設定します。

■フリック設定・入力補助

1 文字入力画面で[⚙]▶[フリック設定・入力補助]

2 項目を選ぶ
- ■フリック感度：フリック入力をするときの文字選択の感度を設定します。
- ■ガイドの表示速度：フリック入力時のガイドの表示速度を設定します。
- ■トグル入力：トグル入力を利用するか設定します。
- ■キー操作音：文字入力時の操作音の有無を設定します。
- ■キー操作バイブ：文字入力時にバイブレータを動作させるか設定します。
- ■キー操作バイブ時間：キー操作バイブでバイブレータが動作する時間を設定します。
- ■文字削除キー動作：削除キーの動作を設定します。
- ■ローマ字キーボード補助：ローマ字で日本語入力するときに不要なキーをタッチできないように設定します。
- ■自動カーソル移動：文字入力後にカーソルを自動的に右側に移動させる速度を設定します。
- ■絵・記・顔の連続入力：絵文字・記号・顔文字リストで候補選択後にリスト表示を維持するか設定します。

[文字削除キー動作]について
- 文字にカーソルが当たっている場合はカーソル位置の文字を削除します。[左側削除（バックスペース）]に設定したときカーソルが先頭にある場合はカーソル右側の文字を、[右側削除（クリア）]に設定したときカーソルが文末にある場合はカーソル左側の文字を消します。

■変換機能

1 文字入力画面で[⚙]▶[その他の設定]▶[変換機能]

2 項目を選ぶ
- ■予測変換：予測変換を利用するか設定します。
- ■つながり予測：入力確定直後につながり予測候補を表示します。
- ■ワイルドカード予測：ワイルドカード予測を利用するか設定します。
- ■入力ミス補正：入力ミス補正について設定します。
- ■メールいきなり予測：メールの本文入力時に文頭に使用する文章の候補を表示します。
- ■ネット変換エンジン：インターネット上の変換エンジンを利用して変換候補を表示します。
- ■自動大文字変換：半角英字入力で文頭文字を大文字で入力します。
- ■自動スペース入力：半角英字入力で英単語を選択したあと半角スペースを自動的に挿入します。

[自動大文字変換]について
- 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。

■辞書

1 文字入力画面で[⚙]▶[その他の設定]▶[辞書]

2 項目を選ぶ
- ■ユーザー辞書:ユーザー辞書の単語を編集します。
- ■ダウンロード辞書:ダウンロード辞書の登録／解除／削除をします。
- ■変換辞書の更新:変換辞書の更新やダウンロードをします。
- ■電話帳名前データと連携:電話帳の名前データを辞書に追加／初期化します。

■スライド切替

1 文字入力画面で[⚙]▶[その他の設定]▶[スライド切替]

2 項目を選ぶ
- ■上方向スライド:キーボードを下端から上端までスライドしたときの動作を設定します。
- ■下方向スライド:キーボードを上端から下端までスライドしたときの動作を設定します。
- ■右方向スライド:キーボードを左端から右端までスライドしたときの動作を設定します。
- ■左方向スライド:キーボードを右端から左端までスライドしたときの動作を設定します。

■各種リセット

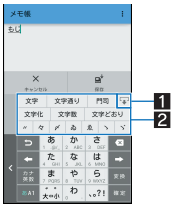
1 文字入力画面で[⚙]▶[その他の設定]▶[各種リセット]

2 項目を選ぶ
- ■設定リセット:S-Shoinの設定をリセットします。
- ■学習辞書リセット:学習辞書をリセットします。
- ■顔文字リセット:顔文字リストの内容をリセットします。

文字入力のしかた

例:「文字」と入力するとき

1 文字入力画面で「もじ」と入力

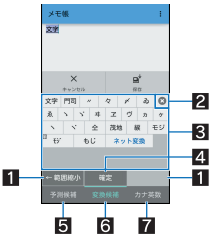


1 拡大／縮小
- 変換候補欄を拡大／縮小します。

2 変換候補欄
- [予測変換]を有効にしていると表示されます。
- 変換候補をタッチすると入力できます。
- ネット変換エンジンを設定している場合は[ネット変換]が表示されます。タッチするとインターネット上の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

2 [変換]

3 変換候補欄で「文字」を選ぶ



1 範囲縮小／範囲拡大
- 変換する文字の区切りを縮小／拡大することができます。
- 操作可能な場合のみ表示されます。

2 閉じる
- 変換候補欄を閉じます。

3 変換候補欄
- 変換候補をタッチすると入力できます。
- ネット変換エンジンを設定している場合は[ネット変換]が表示されます。タッチするとインターネット上の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

4 確定
- 変換を確定します。

5 予測候補
- 予測候補を表示します。

6 変換候補
- 変換候補を表示します。

7 カナ英数
- カナ英数変換候補を表示します。

■ワイルドカード予測

入力した文字数から変換候補を予測して表示します。
- あらかじめ[ワイルドカード予測]を有効にしておいてください(☞P.18「変換機能」)。
- ひらがな漢字入力モード、半角英字入力モードのときに利用できます。

例:「アナウンス」と入力するとき

1 文字入力画面で「あな」と入力

2 [➡]▶[➡]▶[➡]
- [➡]をタッチするたびに[*]が入力され、文字数に合わせた予測候補が表示されます。

3 変換候補欄で「アナウンス」を選ぶ

■区点コードで入力

文字ひとつひとつに付与されている4桁の区点コードを利用して、漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

1 文字入力画面で入力モード切替キーを上にスライド▶[区点コード]

2 区点コードを入力
- 4桁目を入力すると、コード入力した文字が表示されます。
- 4桁目を入力すると区点コード入力モードにする前の入力モードに戻ります。

■音声で入力

音声で文字を入力することができます。

1 文字入力画面で[⚙]▶[入力方式]▶[音声入力]

- QWERTYキーボードを利用中は[⚙]を右にスライド、12キーボードを利用中は[⚙]を下にスライドしても音声入力に切り替えることができます。

2 マイクに向かって話す

- 次の場合は正しく認識できないことがあります。
  - ■声が大きすぎる場合
  - ■周囲の雑音が大きい場合
  - ■発声が明瞭でない場合
  - ■発声が不自然な場合
  - ■発声速度が速すぎる場合
  - ■キーを押したり、マイクを触ったりした場合

■文字の編集

入力した文字を選択して切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。

1 入力した文字をロングタッチ

2 文字を編集する

- 選択範囲の指定:[◁]/[▷]または[◯]/[◯]をドラッグ
- 切り取った文字、コピーした文字の履歴の表示:[⚙]▶[アプリ連携・引用(マッシュルーム)]▶[コピー履歴SH]

1 全選択
- 入力した文字をすべて選択します。

2 切取り
- 選択した文字を切り取ります。

3 コピー
- 選択した文字をコピーします。

4 貼付け
- 切り取った文字やコピーした文字を貼り付けます。
- 文字入力欄をロングタッチ▶[貼り付け]でも、文字を貼り付けることができます。
- 文字入力欄をロングタッチ▶[履歴から]▶入力する文字を選ぶと、履歴を選んで貼り付けることができます。

- 切り取った文字、コピーした文字は合わせて10件まで保存されます。
- 切り取った文字、コピーした文字が最大保存件数を超えた場合は、古い履歴から順に削除されます。

初期設定

はじめて端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

- 設定項目は次のとおりです。ただし、設定した内容により表示される項目が異なります。
  - ■言語の設定
  - ■Wi-Fiの設定(☞P.21「Wi-Fiの設定」)
  - ■ソフトウェアアップデートの確認
  - ■タップ&ゴーによるGoogleアカウントの設定
  - ■Googleアカウントの設定(☞P.22「Googleなどのアカウントの設定」)
  - ■お支払い情報の設定
  - ■アプリとデータを取得
  - ■本端末の所有者情報
  - ■Googleサービス
  - ■Google Nowの設定
  - ■楽天にログイン

アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイントを設定します。

■利用中のアクセスポイントを確認

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]

■アクセスポイントを追加で設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶[⊕]

2 [名前]▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶[OK]

3 [APN]▶アクセスポイント名を入力▶[OK]

4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力▶[⋮]▶[保存]

アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]

2 [⋮]▶[初期設定にリセット]

- 圏外など電波状況によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

Wi-Fiの設定

端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

- 無線LAN(IEEE802.11b/g/n)とBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。

- [Wi-Fi]をONにしている場合もパケット通信を利用できます。Wi-Fi接続中はWi-Fi接続が優先されますが、Wi-Fi接続が切断されると自動的にパケット通信での接続に切り替わります。そのままご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親機の取扱説明書もご覧ください。
- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[Wi-Fi]

2 ONにする

3 アクセスポイントを選ぶ

- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力し、[接続]を選択してください。
- アクセスポイントを手動で登録:[⋮]▶[ネットワークを追加]▶ネットワーク名を入力▶セキュリティを設定▶[保存]
- WPSに対応しているアクセスポイントは簡単登録ができます。ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[Wi-Fi]▶[⋮]▶[簡単設定]▶[WPSプッシュボタン]/[WPS PIN入力]でアクセスポイントを登録してください。
- ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[Wi-Fi]▶[⋮]▶[簡単設定]▶[AOSS]でもアクセスポイントに接続できます。以降は画面の指示に従って操作してください。

- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード(セキュリティキー)を入力した場合、[インターネット接続不良により無効]または[認証に問題]と表示されます。パスワード(セキュリティキー)をご確認ください。なお、正しいパスワード(セキュリティキー)を入力しても[インターネット接続不良により無効]と表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- WPS簡単登録の登録処理には、数分かかります。アクセスポイントの登録処理後、アクセスポイントに適切に接続されていることをご確認ください。
- アクセスポイントの手動登録は、セキュリティ設定としてWEP、WPA/WPA2 PSK、802.1xEAPに対応しています。
- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続すると、[📶]が表示され、Wi-Fiではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。
  このようなアクセスポイントでWi-Fi通信を行うには、アクセスポイントに接続するときに詳細設定項目の[インターネット非接続時も有効]を有効にしてください。

■詳細設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[Wi-Fi]

2 [⋮]▶[詳細設定]

3 項目を選ぶ

- ネットワークの通知:オープンネットワークを検出したときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。
  ・[Wi-Fi]をONにしてから設定してください。
- スキャンを常に実行する:[Wi-Fi]をOFFにしている場合も、位置情報サービスと他のアプリでネットワークをスキャンするか設定します。
- Wi-Fiのスリープ設定:ディスプレイの表示が消えたときにWi-Fiを切断するか設定します。
- ハンドオーバー:場所を移動しながら端末を利用している場合に、利用するアクセスポイントを自動的に切り替えるか設定します。
- 証明書のインストール:証明書をインストールします。
- Wi-Fi Direct:Wi-Fi Directについて設定します。
- MACアドレス:MACアドレスを確認できます。
- IPアドレス:IPアドレスを確認できます。

■切断

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[Wi-Fi]

2 接続しているアクセスポイントを選ぶ▶[切断]

- パスワードを保持したまま切断します。ディスプレイを表示させた場合など、自動で再接続される場合があります。

テザリング

本端末をアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器やmicroUSBケーブル(別売)またはBluetooth通信で接続したパソコンなどをインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

- 同時に接続できる機器数は、microUSBケーブルで接続したパソコン1台、Wi-Fi対応機器10台、Bluetooth機器5台の計16台です。
- 本端末は、DUNプロファイルを使ったダイヤルアップ接続に対応しております。
- Bluetoothテザリングを行うには、あらかじめ相手のBluetooth機器を登録しておいてください(☞P.63「Bluetooth機能の利用」)。Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]▶[テザリング]

2 項目を選ぶ

- USBテザリング:USBテザリングを利用するか設定します。
- Wi-Fiテザリング:Wi-Fiテザリングを利用するか設定します。
- Wi-Fiテザリングを設定:ネットワーク名やセキュリティなどWi-Fiテザリングについて設定します。
- Wi-Fiテザリング簡単接続:WPSに対応しているアクセスポイントを利用してテザリングを利用するか設定します。
- Bluetoothテザリング:Bluetoothテザリングを利用するか設定します。

[USBテザリング]について

- テザリング機能は、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Linuxでご利用いただけます。
- USBテザリング中は、本端末に取り付けられたmicroSDカードをパソコンでマウントすることはできません。

- USBテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
http://www.android.com/tether#usb

[Wi-Fiテザリング]について

- 本端末がアクセスポイントとして機能している場合、本端末はWi-Fi接続でインターネットにアクセスすることはできません。
- Wi-Fiアクセスポイントの設定は[Wi-Fiテザリングを設定]で行ってください。
- Wi-Fiテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
http://www.android.com/tether#wifi

[Wi-Fiテザリングを設定]について

- お買い上げ時は、ネットワーク名は[SH-RM02_AP]、セキュリティは[WPA2 PSK]、パスワードはランダムな値が設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

メールのアカウントの設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[メール]

- はじめてご利用される際には、「プライバシーポリシー」に同意いただく必要があります。
- アカウントが設定されていない場合のみ、アカウント設定画面が表示されます。

2 メールアドレスを入力▶[▶]

3 パスワードを入力▶[▶]

- いくつかのメールアカウントについてプロバイダ情報がプリセットされており、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定が自動で行われます。
- プロバイダ情報がプリセットされていないアカウントの場合は、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定を手動で行う必要があります。設定については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

4 アカウントを設定する▶[▶]

5 アカウントの名前、あなたの名前を入力▶[▶]

Googleなどのアカウントの設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[アカウント]▶[アカウントを追加]

2 アカウントの種類を選ぶ

3 アカウントを設定する

- ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[アカウント]で表示されるメニューに、追加したアカウントが表示されます。

- アカウントが必要となるアプリを起動したときにアカウントが未設定の場合は、アカウント設定画面が表示されます。
- 設定したアカウントおよびパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

■アカウントの削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[アカウント]

2 アカウントを選ぶ▶[⋮]▶[アカウントを削除]▶[アカウントを削除]

- アカウントにより操作方法が異なります。

■Googleアカウントのパスワードの再取得

Googleアカウントのパスワードをお忘れになった場合は、パスワードを再取得してください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶[Chrome]

2 URL入力欄に「https://www.google.co.jp」を入力▶[実行]▶[ログイン]▶[お困りの場合]▶画面の指示に従って操作

■データの同期

端末とオンラインサービスとの間でデータを同期させることができます。データを同期させると、端末やパソコンからオンラインサービス上の同じ個人情報にアクセスし、データを利用・更新することができます。

自動同期するとき

各アカウントで設定された項目を自動的に同期するか設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[アカウント]

- 同期する項目の設定：アカウントの種類を選ぶ▶アカウントを選ぶ▶項目を選ぶ

2 [⋮]▶[データの自動同期]▶[OK]

- 本体メモリの電話帳とオンラインサービス上の連絡先を同期する場合、Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。

手動同期するとき

- データの自動同期が無効のときは、選択した項目を手動で同期できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[アカウント]

2 アカウントの種類を選ぶ▶アカウントを選ぶ

3 同期する項目を選ぶ

電話帳のインポート／エクスポート

■microSDカードからのインポート

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 [⋮]▶[設定・管理]▶[ストレージからインポート]

3 暗証番号を入力▶[OK]

4 インポートする電話帳データを選ぶ

5 [一括登録]／[選択登録]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

■microSDカードへのエクスポート

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 [⋮]▶[設定・管理]▶[ストレージへエクスポート]

3 暗証番号を入力▶[OK]

4 [保存する(無画像)]／[保存する(画像付)]

- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

着信／充電ランプ

不在着信がある場合や充電中などに着信／充電ランプを点灯／点滅してお知らせします。

表示状態	色	端末の状態
点灯	赤色	充電中（電池残量約94%以下）
点灯	緑色	充電中（電池残量約95%以上）
点滅	赤色	充電ができない状態
点滅	緑色	着信中／不在着信あり
点滅	白色	新着メールあり

- ディスプレイが表示されている場合、不在着信や新着メールをお知らせする着信ランプが点滅しません。お知らせアイコンで確認してください。お知らせアイコンが表示されないアプリを使用しているときはステータスバーが表示される画面で確認してください。

画面表示／アイコン

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、端末の状態や不在着信の有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できます。

アイコンの見かた

- 表示されるアイコンには、次の２種類があります。
  - お知らせアイコン：不在着信や新着メールなどをお知らせします。
  - ステータスアイコン：電池残量や電波状態など端末の状態を表します。

■ 主なお知らせアイコン一覧

- お知らせアイコンには件数が重なって表示されるものもあります。

不在着信あり
新着SMSあり
新着メールあり
新着Gmailあり
ハングアウトの新着メッセージあり
エラー表示
- 何らかのエラーが発生したときに表示されます。

データ通信が無効
- データ通信の制限を超えた場合に表示されます。

アラーム鳴動中／スヌーズ中／聞き逃したアラームあり
カレンダーのスケジュール通知あり
ミュージックで音楽再生中
発信中／着信中／通話中／保留中
簡易留守録あり
microSDカード表示
microSDカード準備中
マウントを解除したとき
本体メモリの空き容量低下
Bluetooth表示
Bluetooth機器からの登録要求／接続要求あり
データ受信要求あり
DUN接続要求あり／DUN接続中
USB接続（カードリーダーモード接続時）
データ送受信表示
送信表示
受信表示
アプリ表示
アップデートあり
アプリのインストール完了
オープンネットワークあり
[USBテザリング]が有効
[Wi-Fiテザリング]が有効
[Bluetoothテザリング]が有効
複数のテザリングが有効
Bright Keepが[ON（通知あり）]のとき
VPN接続
ソフトウェア更新あり
Smart Lock表示
表示されていないお知らせアイコンあり

■ 主なステータスアイコン一覧

アラーム設定中
電池残量表示
～：約100%～約６%
：約５%以下
- 充電中は電池マークに[]が重なって表示されます。
- 電池マークの左に電池残量がパーセントで表示されます。パーセントの表示／非表示は[電池残量%表示]で切り替えられます（☞P.50「ディスプレイ」）。

電波状態表示
：レベル４
：レベル３
：レベル２
：レベル１
：レベル０
：圏外
：機内モード中
3Gデータ通信状態表示
：3G使用可能
：3Gデータ受信中
：3Gデータ送信中
：3Gデータ送受信中
LTEデータ通信状態表示
：LTE使用可能
：LTEデータ受信中
：LTEデータ送信中
：LTEデータ送受信中
HSPAデータ通信状態表示
：HSPA使用可能
：HSPAデータ受信中
：HSPAデータ送信中
：HSPAデータ送受信中
：NFC／おサイフケータイ ロック中
：[Reader／Writer, P2P]が有効
文字入力モード表示
：ひらがな漢字
：半角英字
：半角数字
：全角英字
：全角数字
：区点コード
☆：[優先的な割り込みのみ許可]に設定中

マナーモード表示
:通常マナー
:通常マナー(「優先的な割り込みのみ許可」に設定中)
:サイレントマナー

:スピーカーで通話中

:消音に設定中

Wi-Fi電波状態表示
:レベル4
:レベル3
:レベル2
:レベル1
:レベル0
● インターネット接続されていないアクセスポイントに接続中は、[ ]のようにWi-Fi電波状態表示に[!]が重なって表示されます。

Bluetooth表示
:待機中
:接続中

:位置情報を高頻度で測位中

簡易留守録表示
:簡易留守録設定中で簡易留守録が0件
:簡易留守録設定中で簡易留守録が1～9件
:簡易留守録設定中で簡易留守録が10件

ステータスパネルの利用

1 ステータスバーを2本の指で同時に下にドラッグ

● [ ]をロングタッチしてもステータスパネルを表示することができます。

2 ステータスパネルを利用する

1 機能ボタン
● マナーモード、Wi-Fi機能、位置情報の使用などについて設定できます。[カスタマイズ]をタッチすると機能ボタンの並べ替えや追加、削除ができます。
・[位置情報]をタッチすると、位置情報の利用についての確認画面が表示されます。[同意しない]／[同意する]によって、設定されるモードが異なります(☞P.53「位置情報」)。モードが[高精度]／[端末のみ]の場合は[ ]が、[バッテリー節約]の場合は[ ]が表示されます。
● 画面を上下にスライド、または画面上部をタッチすると、2行目以降の機能ボタンの表示／非表示を切り替えられます。

2 通知詳細情報
● 端末の状態やお知らせの内容を確認できます。
● 詳細情報の種類によっては、次の操作ができます。
・対応するアプリの起動や操作:詳細情報や機能をタッチ
・詳細表示／簡易表示の切替※:詳細情報を2本の指で同時に上下にスライド、またはピンチアウト／ピンチイン
・詳細情報の消去:詳細情報を左右にフリック
・[アプリの通知]を設定:詳細情報をロングタッチ▶[ ]
※ 2行目以降の機能ボタンが非表示の場合に操作できます。

3 通信事業者名
● 接続している通信事業者名が表示されます。

4 全通知消去
● 対応するアプリがある場合、通知詳細情報とお知らせアイコンを消去します。
● 詳細情報によっては削除できない場合があります。

5 電波状態
● 電波状態を確認できます。

6 電池残量
● 2行目以降の機能ボタンを表示しているときにタッチすると、電池の利用状況などを確認できます。

7 設定
● 「設定」アプリを起動します。

● 不在着信の通知が1件ある場合、通知詳細情報を詳細表示にすると[発信]、[SMS]が表示されます。タッチして電話をかけたりSMSを送信したりできます。

ホーム画面

ホーム画面の見かた

目的のアプリがすぐに見つかる直感的なホームアプリです。左右にフリックするだけでデスクトップシートやアプリシートから使いかたに合ったシートを選んで利用できます。

● 新しいアプリをインストールすると、アプリアイコンとショートカットが追加されます。
● アプリをアンインストールすると、ホーム画面からアイコンが削除されます。

デスクトップシート

アプリシート

1 ガイドタブ
● 表示中のシートを示します。シートを切り替えたときはシート名が表示されます。

2 ウィジェット
● カレンダーや歩数計など、簡単な機能を利用できます。

3 フォルダ
● アプリ／ショートカットを格納できます。

4 ドック
● ホーム画面のどのページからもすばやくアプリを起動できます。

5 インジケータ
● タッチしたページに移動できます。表示しているページを[○]で表します。
6 ショートカット
● よく使うアプリをすばやく起動できます。
7 アプリ

ホーム画面の管理

■ホーム画面の設定

1 ホーム画面でデスクトップシート／アプリシートをロングタッチ▶[ホーム設定]

2 項目を選ぶ

■体験しよう！:「体験しよう！」で使いかたの動画を確認することができます。
■ドック表示設定:ドックを表示するか設定します。
■ガイドタブ表示設定:ガイドタブを表示するか設定します。
■ホームポジション設定:ホーム画面で[📷]をタッチしたときに表示するシートを設定します。
■レイアウト設定:表示レイアウトを設定します。
■テーマ設定:ホーム画面のテーマや壁紙を設定します。

[レイアウト設定]について
● [Simple]に設定すると、アプリシートのみ表示され、アイコンと文字が大きくなります。

■ウィジェット／ショートカットの貼付

1 ホーム画面でデスクトップシートをロングタッチ▶[ウィジェットを貼付け]／[ショートカットを貼付け]

2 ウィジェット／ショートカットを選ぶ

■フォルダの作成

1 ホーム画面でデスクトップシート／アプリシートをロングタッチ▶[フォルダ作成]

2 アプリ／ショートカットをフォルダまでドラッグ

■アプリ／ウィジェット／ショートカット／フォルダの移動

1 ホーム画面でアプリ／ウィジェット／ショートカット／フォルダをロングタッチ

2 移動先までドラッグ

• [+]までドラッグすると、新しいページを追加できます。
• アプリを[🗑]までドラッグするとアンインストールできます。ウィジェット／ショートカット／フォルダを[🗑]までドラッグすると削除できます。
• ドックに配置されたショートカット／フォルダも同様の操作で移動できます。また、アプリ／ショートカット／フォルダをドックにドラッグすると、ショートカット／フォルダが配置されます。

■アプリ／ウィジェット／ショートカット／フォルダの管理

1 ホーム画面でアプリ／ウィジェット／ショートカット／フォルダをロングタッチ

2 項目を選ぶ

■ショートカットを貼付け:アプリのショートカットをデスクトップシートに貼り付けます。
■アプリを削除:アプリをアンインストールします。
■アプリ非表示:アプリをアプリシートに表示しないようにします。
・ホーム画面でアプリシートをロングタッチ▶[アプリ表示設定]から、各アプリの表示／非表示を設定できます。
■新規フォルダに入れる:アプリ／ショートカットを格納したフォルダを作成します。
■はがす:ウィジェット／ショートカット／フォルダを削除します。
■サイズ変更:ウィジェットのサイズを変更します。
■ホーム設定:ホーム画面について設定します。ホーム設定については☞P.25「ホーム画面の設定」

[はがす]について
● ショートカットを削除しても、アプリはアンインストールされません。

■フォルダ名の変更

1 ホーム画面でフォルダを選ぶ

2 フォルダ名をタッチ

3 フォルダ名を入力

■ページの並べ替え

1 ホーム画面でデスクトップシート／アプリシートをロングタッチ▶[ページ並替え]
● ホーム画面でピンチインしてもページを並べ替えられます。

2 上下にスライドして移動先を選ぶ▶[移動する]

アプリ一覧

● 一部のアプリの使用には、別途お申し込み(有料)が必要となるものがあります。
● お買い上げ時にインストールされているアプリは次のとおりです。

アイコン	アプリ	概要
	アラーム・時計	アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用します(☞P.45「アラーム・時計」)。
	アルバム	画像や動画をイベントや場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます(☞P.43「アルバム」)。
	ウェブ検索	検索するだけで楽天スーパーポイントを貯めることができるアプリです。
	おサイフケータイ	おサイフケータイを利用できます(☞P.39「おサイフケータイ対応サービス」の利用)。
	音声検索	音声検索を利用してサイトの情報を検索します(☞P.17「端末内やサイトの情報の検索」)。

アイコン	アプリ	概要
	カメラ	Googleのカメラで撮影します。
	カレンダー	スケジュールを管理します(☞P.46「カレンダー」)。
	クーポン	楽天グループ「買うクーポン」のアプリです。
	検索ファインダー	カメラをかざして、ディスプレイに表示している文字をドラッグすることで、関連する単語／動画／画像を検索することができます。検索結果はドラッグした文字の周辺に表示され、検索ファインダー画面上で確認できます(☞P.43「検索ファインダー」)。
	コンテンツマネージャー	本体メモリまたはmicroSDカードに保存されたデータを管理します(☞P.60「コンテンツマネージャー」)。
	スクリーン	表示される広告をスライドするだけで楽天スーパーポイントを貯めることができるアプリです。
	赤外線送受信	赤外線通信でデータを送受信します(☞P.61「赤外線送受信」)。
	設定	端末の各種設定をします(☞P.49「設定メニュー」)。
	ダウンロード	サイトからダウンロードした画像などのデータを管理することができます。
	電卓	電卓を利用します(☞P.47「電卓」)。
	電話	電話を利用します(☞P.30「電話」)。
	電話帳	電話帳を利用します(☞P.32「電話帳」)。
	ドライブ	画像や動画などをGoogle ドライブ™に保存したり、共有したりすることができます。
	トラベル	簡単に宿泊施設を検索・予約ができるアプリです。
	初めての方	楽天モバイルへのショートカットアプリです。楽天が提供するアプリやサービスを確認できます。
	ハングアウト	チャット(文字によるおしゃべり)やボイスチャットなどができます。
	フォト	画像や動画を管理します。
	ブックス	本・コミック・雑誌・DVD・CD・ゲームを扱う通販サイト「楽天ブックス」の公式アプリです。

アイコン	アプリ	概要
	翻訳ファインダー	カメラをかざすだけで、英語を日本語へリアルタイムに翻訳することができます。翻訳ファインダーの画面を撮影し、文字を選択して辞書やインターネットで検索することもできます(☞P.42「翻訳ファインダー」)。
	マップ	現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます(☞P.44「マップ」)。
	ミュージック	音楽を再生します(☞P.43「ミュージック」)。
	メール	メールを利用します(☞P.35「Eメール」)。
	メッセージ	SMSを利用します(☞P.34「SMS」)。
	メモ帳	メモを登録します(☞P.47「メモ帳」)。
	モバイル	データ通信量を確認できるアプリです。
	楽オク	楽天が運営するオークションアプリです。
	楽天市場	楽天市場を便利に利用できるアプリです。
	楽天チェック	楽天スーパーポイントをお店に行くだけで貯めることができます。
	楽天でんわ	電話回線を使って番号そのままでスマートフォンの通話料を節約できる通話アプリです。
	楽天レシピ	献立・料理のレシピを検索することができるアプリです。
	楽天Edy	読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いなどがご利用いただける機能です。
	楽天 gateway	楽天市場・楽天トラベルなど、楽天サービスを1つにまとめたアプリです。
	楽天Kobo	電子書籍を購入したり、購入した書籍やサンプルを閲覧したりすることができます。
	ラクマ	フリーマーケットのように商品を購入したり、出品したりすることができます。
	Chrome	パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示します(☞P.37「Chrome」)。
	Gmail	Gmailを利用します(☞P.36「Gmail」)。
	Google	クイック検索ボックスを利用します(☞P.17「端末内やサイトの情報の検索」)。
	Google設定	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。

アイコン	アプリ	概要
	Google Nowランチャー※1	Google Nowを利用している場合、ホーム画面でGoogle Nowを確認できるホームアプリです。また、ホーム画面表示中に「Ok Google」と発声するだけで、音声検索を利用することができます。
	Google+	Google+™(フォト／コミュニティ／場所／ハングアウト／イベントなど)を利用します。
	Luckyくじ	当選すれば楽天スーパーポイントがもらえるくじが引けるアプリです。
	OfficeSuite	OfficeSuiteを利用します。 ● 対応しているファイルについては、ホーム画面にアプリシートを表示▶[OfficeSuite]▶[☰]▶[設定]▶[ヘルプ]と操作して、ヘルプを参照してください。
	Play ゲーム	新しいゲームを探したり、お気に入りのゲームで遊んだりできます。
	Playストア	Google Playを利用します(☞P.39「Playストア」)。
	Playブックス	Google Playに接続して電子書籍を購入したり、購入した書籍やサンプルを閲覧したりすることができます。
	Playミュージック	音楽を再生します。
	Playムービー＆TV	映画をレンタルしたり、視聴したりすることができます。
	PointClub	楽天スーパーポイントを確認・管理できるアプリです。
	PrintSmash※2	Wi-Fi通信を利用して、本端末の画像やPDFデータをコンビニエンスストアに設置されているシャープのマルチコピー機で印刷することができるアプリです。
	Rポイント	バーコード画面をRポイントカード加盟店で提示するだけ。街のお買い物でも楽天スーパーポイントが貯まります。
	ROOM	楽天市場で購入した商品を紹介できるサービスです。
	SHカメラ	SHカメラで撮影します(☞P.40「SHカメラ」)。
	SHツール	歩数計や辞書など、便利な機能を利用することができます(☞P.47「SHツール」)。
	SHOWTIME	楽天SHOWTIMEの動画コンテンツを再生・視聴できる動画再生ビューアです。
	SHSHOW	シャープのサイトに接続します。
	Viber	無料通話やテキストメッセージの送受信ができます。
	Viki	世界中のテレビ番組や映画はもちろん、幅広い韓国ドラマや台湾ドラマも字幕付きで楽しめるビデオアプリです。
	YouTube	YouTubeを利用します(☞P.45「YouTube」)。

※1 ホームアプリがGoogle Nowランチャー以外の場合に表示されます。

※2 はじめてご利用される際にはアプリをダウンロードする必要があります。アプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

● お買い上げ時にインストールされているアプリの中には、アンインストールできるものもあります。アンインストールしたアプリはPlayストア(☞P.39「Playストア」)などから再度ダウンロードできる場合があります。

クイックランチャー

タブを切り替えることで、アプリの使用履歴やお気に入りに設定したアプリ／ショートカット／機能ボタン、ミニアプリ／ウィジェットをすばやく利用することができます。

● あらかじめアプリ使用履歴キーを[クイックランチャー]に設定しておいてください(☞P.52「便利機能」)。

履歴

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。

1 [□]▶[履歴]

2 履歴を利用する

1 アプリの使用履歴
- タッチするとアプリを起動できます。
- 下にフリックすると履歴を削除できます。
- ロングタッチすると、履歴の削除やアプリの情報の確認ができます。

2 画面の固定
- [画面の固定]がONの場合に表示されます。画面の固定については☞P.54「ロックとセキュリティ」
- タッチすると表示中のアプリ以外を使用できないようになります。
  - 画面の固定を解除:[◁]+[□]をロングタッチ

3 すべて消去
- タッチするとアプリの使用履歴をすべて削除できます。

● アプリによっては履歴に表示されない場合があります。

お気に入り

お気に入りに設定したアプリやショートカット、機能ボタンをタッチするだけで、すばやくアプリを起動したり、端末の設定を切り替えたりすることができます。

1 [□]▶[お気に入り]

2 アプリ／ショートカット／機能ボタンを選ぶ

■アプリ／ショートカット／機能ボタンの追加

1 [□]▶[お気に入り]

2 [+]

3 追加したいアプリ／ショートカット／機能ボタンを選ぶ

■アプリ／ショートカット／機能ボタンの移動

1 [□]▶[お気に入り]

2 アプリ／ショートカット／機能ボタンをロングタッチ▶移動先までドラッグ

■アプリ／ショートカット／機能ボタンの管理

1 [□]▶[お気に入り]

2 アプリ／ショートカット／機能ボタンをロングタッチ

- 指を離すとメニューが表示されます。

3 項目を選ぶ

- アプリ削除：アプリをアンインストールします。
- はがす：アプリやショートカット、機能ボタンを非表示にします。

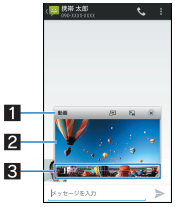
ミニアプリ／ウィジェット

他のアプリを使用しながら動画やYouTubeの視聴などができるミニアプリやウィジェットを利用することができます。

1 [□]▶[ミニアプリ]

2 ミニアプリ／ウィジェットを選ぶ

3 ミニアプリ／ウィジェットを利用する



1 タイトルバー

- 移動先までドラッグするとミニアプリ／ウィジェットを移動することができます。
- 表示されるキーで次の操作ができます。
  - 通常のアプリの起動：[↗]※
  - ミニアプリの最小化／元のサイズに戻す：[↘]／[↗]
  - ミニアプリ／ウィジェットの終了：[⊗]

※ ミニ動画の場合、ミニアプリに戻すには、[↘]をタッチします。

2 ミニアプリ／ウィジェット表示

- タイトルバー／コントローラーが表示されていない場合、タッチするとタイトルバー／コントローラーを表示することができます。
- 「メール」アプリなど他のアプリを起動中に、ロングタッチして他のアプリまでドラッグすると、文字や画像などをコピーし、貼り付けることができます。

3 コントローラー

- 表示されるキーで次の操作ができます。
  - ミニアプリ／ウィジェットのサイズ変更：[◢]をドラッグ

ミニ動画の操作

- 一時停止／再生：[❚❚]／[▶]
- データ一覧画面の表示：[☰]

- ミニアプリ利用中に他のアプリを使用して動画を再生した場合、動画が正しく表示されないことがあります。

■ミニアプリ／ウィジェットの追加

1 [□]▶[ミニアプリ]

2 [+]

3 [ミニアプリ追加]／[ウィジェット追加]

4 追加したいミニアプリ／ウィジェットを選ぶ

- [Playストアから追加]をタッチするとアンインストールしたミニアプリを再度ダウンロードできます。

■ミニアプリ／ウィジェットの移動

1 [□]▶[ミニアプリ]

2 ミニアプリ／ウィジェットをロングタッチ▶移動先までドラッグ

■ミニアプリ／ウィジェットの管理

1 [□]▶[ミニアプリ]

2 ミニアプリ／ウィジェットをロングタッチ

- 指を離すとメニューが表示されます。

3 項目を選ぶ

- アプリ削除：アプリをアンインストールします。
- はがす：ミニアプリやウィジェットを非表示にします。
- 名前を変更：ウィジェットの名前を変更します。

アプリ使用履歴

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。

- あらかじめアプリ使用履歴キーを[アプリ使用履歴]に設定しておいてください(☞P.52「便利機能」)。

1 [□]

2 履歴を利用する

1 検索
- タッチするとクイック検索ボックスを利用できます(☞P.17「端末内やサイトの情報の検索」)。

2 アプリの使用履歴
- タッチするとアプリを起動できます。
- 左右にフリックすると履歴を削除できます。

3 履歴消去
- タッチするとアプリの使用履歴を削除できます。

4 画面の固定
- [画面の固定]がONの場合、最新の履歴に表示されます。画面の固定については☞P.54「ロックとセキュリティ」
- タッチすると選択したアプリ以外を使用できないようになります。
  - ・画面の固定を解除:[◁]+[□]をロングタッチ

- アプリによっては履歴に表示されない場合があります。

ホーム切替

ホームアプリを切り替えます。

- お買い上げ時は、端末に次のホームアプリが登録されています。

■ Feel Home
目的のアプリがすぐに見つかる直感的なホームアプリです。左右にフリックするだけでデスクトップシートやアプリシートから使いかたに合ったシートを選んで利用できます。

■ Google Nowランチャー
Google Nowを利用している場合、ホーム画面でGoogle Nowを確認できます。また、ホーム画面表示中に「Ok Google」と発声するだけで、音声検索を利用することができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ホーム切替]

2 ホームを選ぶ

電話

電話や電話帳を利用したり、通話や着信時の動作などについて設定できます。

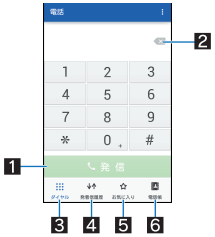
電話をかける

● 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話]▶[ダイヤル]

2 電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号の前に「186」/「184」を付けると、その発信に限り番号通知/番号非通知に設定して発信できます。



1 発信
- 電話を発信します。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力のときにタッチすると最新の発信履歴が入力されます。

2 削除
- 入力した番号を1文字削除します。
- ロングタッチすると、入力した番号をすべて削除します。

3 ダイヤル
- ダイヤル画面を表示します。

4 発着信履歴

5 お気に入り
- お気に入りに設定されている連絡先を表示します。

6 電話帳
- 電話帳を表示します。

3 [発信]

4 通話が終わったら[通話終了]

- 髪の毛の上から受話口を当てて通話すると、近接センサーが正常に動作しないことがあります。画面が点灯したままとなり、誤って画面に触れることによって、通話が切れる場合があります。

VoLTEについて

- VoLTEは、通話を高品質で利用することができます。
- VoLTEのご利用には、本端末と通話相手の端末が以下の条件を満たす必要があります。
  - ■ VoLTE対応機種であること
  - ■ ご契約の通信事業者がVoLTEに対応していること
  - ■ VoLTE対応サービスエリア内であること※
  - ■ [4Gを利用する]が有効であること(☞P.53「モバイルネットワーク」)
  - ■ 通話モード設定が[VoLTE ON]であること(☞P.32「通話設定」)

※ VoLTE対応サービスエリア外は、VoLTEを利用できません。

プッシュ信号の入力

電話番号に続いて停止(P)を入力すると、銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に2秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話]▶[ダイヤル]

2 電話番号を入力▶[⋮]▶[特番付加]▶[P付加]

3 送信する番号を入力▶[発信]

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域/導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 日本国内では通話可能なnanoSIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- 端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

電話を受ける

● 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

2 電話を受ける

- 各アイコンを下にドラッグしてください。

1 応答
- 電話を受けることができます。

2 保留
- 応答を保留にすることができます。

3 クイック返信
- 着信を拒否し、選択したメッセージをSMSとして相手に送信することができます。

4 メニュー
- 利用できる機能(メニュー)を表示します。

3 通話が終わったら[通話終了]

■ディスプレイを表示中に電話を受ける

タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中に電話がかかってくると、着信通知が表示されます。通知を利用して電話を受けることができます。

1 電話がかかってくると、画面上部に着信通知が表示される

2 [応答]

- 着信通知をタッチすると、着信画面を表示できます。各アイコンをタッチしてください。
- 着信通知を左右にフリックすると、通知を非表示にできます。

通話中の操作

通話中は利用状況に応じてハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。

1 消音
- 通話中の電話を消音／消音解除にします。

2 音量
- 通話音量を調整します。

3 音声メモ
- 通話中の相手の音声と自分の音声を録音します。

4 通話終了
- 通話を終了します。

5 数字キー
- プッシュ信号の入力ができます。

6 メニュー
- 「保留」や「通話を追加」など利用できる機能(メニュー)を表示します。

7 スピーカー
- ハンズフリーで通話ができます。

- ハンズフリーで通話するには次の内容にご注意ください。
  - 送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。
  - 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
  - ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。
- イヤホンマイク／Bluetooth機器を接続している場合、スピーカーを利用できません。
- 「保留」と「通話を追加」をお使いになる場合、あらかじめご利用の通信事業者との契約が必要となります。詳しくは、通信事業者にお問い合わせください。
  なお、通信事業者によっては、これらの機能を提供していない場合もあります。

■通話音量調節

1 通話中に+(+)／-(−)

発着信履歴

- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話]▶[発着信履歴]

2 履歴を選ぶ

- 履歴を選択すると、着信の状態などの詳細が表示されます。

1 発着信日時

2 着信状態アイコン

／	不在着信／不在着信(約3秒未満)
	通話着信
	発信履歴

3 電話帳に登録している顔写真

4 相手の名前／電話番号

5 発信アイコン
- タッチすると発信します。

6 グループ数
- 同じ相手の発着信履歴が連続した場合に表示されます。タッチすると、グループ内の履歴の表示／非表示を切り替えられます。

7 不在着信時間

3 [発信]

- SMSの作成・送信:[SMS]▶SMSを作成・送信
- 電話帳に登録:[登録]▶登録先を選ぶ▶各項目を設定▶[保存]▶[はい]

発着信履歴の削除

■ 全件削除

1 発着信履歴一覧画面で[⋮]▶[全件削除]▶[はい]

■ 1件削除

1 発着信履歴一覧画面で履歴を選ぶ▶[削除]▶[はい]

通話設定

簡易留守録や発着信制限など、通話について設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話]

2 [⋮]▶[設定]

- ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[通話]でも通話設定を行うことができます。

3 項目を選ぶ

- 着信時キー動作設定:着信時に[-](+)を押したときの動作を設定します。
- クイックサイレント:着信時に端末を裏返して一時的に着信音を停止するか設定します。
- オートアンサー:イヤホンマイク接続中に着信があった場合、自動で応答するかを設定します。
- 通話モード設定:VoLTEを利用するか設定します。
- クイック返信:クイック返信に使用する文章を編集します。
- 簡易留守録設定:簡易留守録や音声メモについて設定します。
- 国際発信設定:国際電話をかける場合に利用する国番号のリストを表示します。
- 発着信制限:発信や着信の制限について設定します。
- 電源キーで通話を終了:[-](⏻)を押して通話を終了するか設定します。

[着信時キー動作設定]について

- 設定項目は次のとおりです。
  - 応答:着信時に[-](+)を押すと電話に出ることができます。
  - クイックサイレント:着信時に[-](+)を押すと一時的に着信音やバイブレータ、着信ランプの点滅を停止できます。

[発着信制限]について

- 発着信制限を設定中でも、緊急通報番号(110番、119番、118番)へは発信できます。

電話帳

連絡先の管理やプロフィールの確認を行うことができます。

電話帳の登録

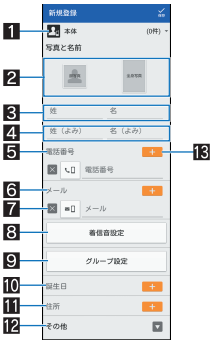
1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 [新規]

- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

3 各項目を設定

- 登録できる情報はアカウントの種類によって異なります。



1 アカウント
- 登録するアカウントを設定します。

2 画像
- 発着信時や連絡先確認時に表示する画像を登録します。

3 姓、名

4 姓のふりがな、名のふりがな

5 電話番号

6 メールアドレス

7 削除
- 電話番号/メールアドレスなどを削除します。

8 着信音設定
- 着信音を設定します。

9 グループ設定

10 誕生日

11 住所

12 その他
- ニックネームや所属などの情報を登録します。

13 追加
- 登録する電話番号/メールアドレスなどを追加します。

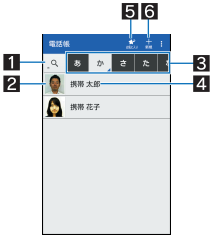
4 [保存]▶[はい]

電話帳の確認/利用

登録した連絡先を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 名前を選ぶ



1 検索

2 画像

3 インデックスタブ
- タッチした見出しの連絡先を表示します。

4 連絡先

5 お気に入り
- お気に入りに設定されている連絡先を表示します。

6 新規

3 登録情報を確認／利用する

1 登録内容
- 登録内容を確認／利用できます。
- 表示されているアイコンをタッチすると、登録内容を利用して電話やメールなどをすることができます。

2 画像

3 お気に入り登録

4 編集

■表示するアカウントを選択

- アカウントを設定している場合に利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 [⋮]▶[設定･管理]▶[表示するアカウント]

3 項目を選ぶ

電話帳の削除

■全件削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 [⋮]▶[削除]▶[全選択]▶[削除]▶[はい]▶暗証番号を入力▶[OK]

■1件削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 名前を選ぶ▶[⋮]▶[削除]▶[はい]

電話帳の編集

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 名前を選ぶ▶[編集]

3 各項目を設定▶[保存]▶[はい]
- 設定できる各項目の詳細については☞P.32「電話帳の登録」

グループの利用

表示方法をグループにすると、グループごとに連絡先を表示することができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 [⋮]▶[表示方法切替]▶[グループ]

3 グループを利用する

1 連絡先の検索

2 アカウント
- タッチするとグループ名を表示できます。

3 グループ名
- タッチするとグループに登録されている連絡先が表示されます。

4 お気に入り
- お気に入りに設定されている連絡先を表示します。

5 新規
- 連絡先を新規作成します。

■グループの追加／編集

1 グループ一覧画面で[⋮]▶[グループ追加･編集]
- アカウントが複数ある場合は追加／編集するアカウントの選択画面が表示されます。

2 [追加]▶各項目を設定▶[保存]
- グループの削除:[削除]▶グループを選ぶ▶[削除]▶[はい]
- グループの並べ替え:[並べ替え]▶グループをロングタッチ▶移動先までドラッグ▶[完了]

■グループへの登録／解除

1 グループ一覧画面でグループをロングタッチ▶[メンバー登録]

2 連絡先を選ぶ▶[登録]▶[はい]
- 連絡先の選択を解除すると、登録を解除できます。

プロフィール

nanoSIMカードをご使用の場合は、お客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 [⋮]▶[プロフィール]

■プロフィールの編集

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 [⋮]▶[プロフィール]▶[編集]

3 各項目を設定▶[保存]▶[はい]

メール／ウェブブラウザ

SMSやGmailなどを利用して、メッセージを送受信したり、Chromeを利用してサイトを表示したりできます。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

- SMSが利用可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。
- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[メッセージ]

2 [✎]

3 宛先、メッセージを入力▶[➤]

- デフォルトのSMSアプリをハングアウトに切り替えることができます(☞P.53「もっと見る」)。
- 宛先が海外通信事業者のときは、「＋」、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「０」で始まるときは先頭の「０」を除いて入力します。また「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。
- SMSのメッセージに半角カタカナや特殊記号を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。
- 「186」／「184」を付けての送信はできません。

メッセージの表示

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[メッセージ]

2 スレッドを選ぶ

- 宛先／送信元ごとにメッセージをスレッドにまとめて表示します。

1 画像
- 相手の画像を電話帳に登録していると表示されます。タッチすると電話帳の登録内容に対応するアプリを選んで利用できます。電話帳に登録されていない相手の場合は、タッチすると電話帳に登録できます。

2 未読メッセージ件数
3 宛先／送信元
4 スレッド内のメッセージ件数
5 送受信日時

3 メッセージを確認する

1 宛先／送信元
2 電話発信
3 送受信日時
4 メッセージ

メッセージの返信

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[メッセージ]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージを入力▶[➤]

メッセージの転送

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[メッセージ]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージをロングタッチ▶[転送]

4 宛先、メッセージを入力▶[➤]

メッセージの削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[メッセージ]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージをロングタッチ▶[削除]▶[削除]

スレッドの削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[メッセージ]

- スレッドの全件削除：[⋮]▶[すべてのスレッドを削除]▶[削除]

2 スレッドをロングタッチ▶[🗑]▶[削除]

メッセージの設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[メッセージ]

2 [⋮]▶[設定]

3 項目を選ぶ

- SMSが有効：SMSを送受信するアプリを設定します。
- 古いメッセージを削除：保存件数が上限に達したとき、古いメッセージを自動的に削除します。
- テキストメッセージの制限件数：スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。
- 受取確認通知：送信するメッセージの受取確認を毎回通知します。
- SIMカードのメッセージ：nanoSIMカードに保存したメッセージを管理します。
- 通知：メッセージ受信時にステータスバーで通知します。
- 着信音：メッセージ受信時の着信音を設定します。
- バイブレーション：メッセージ受信時のバイブレータの動作を設定します。

[受取確認通知]について

- 他社の携帯電話にメッセージを送信した場合、受取確認通知が届かないことがあります。

Eメール

サービスプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、メールの送受信ができます。

- あらかじめ、アカウント設定をしておいてください(☞P.22「メールのアカウントの設定」)。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[メール]

2 [✎]

3 メールを作成

1 アカウント
- 複数のアカウントを設定している場合、アカウントを切り替えられます。

2 宛先
- 電話帳に登録してあるメールアドレスの一部や名前を入力すると、宛先の候補が表示されます。

3 件名

4 本文

5 ファイル添付

6 宛先の追加
- タッチすると、CcやBccを追加できます。

4 [▷]

- 受信側の機種によっては件名をすべて受信できないことがあります。
- Gmailのアカウントで送信したメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信側の機種がパソコンからのメール受信拒否を設定している場合、メールを送信できません。
- 何らかの原因で送信できなかったメールは、未送信メールとして送信失敗フォルダに保存されます。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されないときがあります。

ファイルの添付について

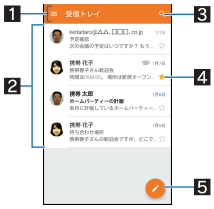
- 最大約5Mバイトまでのファイルを添付できます。添付できる個数に制限はありません。
- 受信側の端末によっては、受信できなかったり、正しく表示・再生できなかったりすることがあります。また、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されたりすることがあります。

メールの表示

- 利用するアカウントによっては、表示される画面が異なる場合があります。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[メール]

2 メールを選ぶ



1 表示中のトレイ名/フォルダ名
- [☰]をタッチするとフォルダ/アカウントの切り替えや設定ができます。

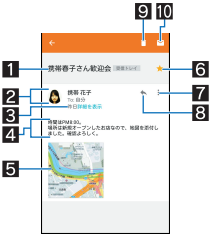
2 メール
- 既読メールのときは、送信元や件名が細字の表示になります。
- 画像をタッチするとメールにチェックが付き、一括で削除/未読/既読などに設定できます。

3 メール検索

4 スターアイコン
- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。

5 メール新規作成

3 メールを確認する



1 件名

2 送信元/宛先
- 電話帳に登録されている相手の場合は、画像をタッチすると電話帳の登録内容に合わせて利用できるアプリが表示されます。電話帳に登録されていない相手の場合は、タッチすると電話帳に登録できます。

3 受信日時
- タッチすると、送信元や宛先、受信日時の詳細の表示/非表示を切り替えられます。

4 本文

5 添付ファイル

6 スターアイコン
- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。

7 各メールのメニュー
- タッチするとメールごとに全員に返信や転送、印刷することができます。

8 返信

9 削除

10 未読にする

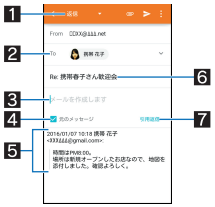
メールの返信/転送

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[メール]

2 メールを選ぶ

3 [↩]
- 全員に返信:各メールの[⋮]▶[全員に返信]
- 転送:各メールの[⋮]▶[転送]

4 メールを作成



❶ 返信種別
- タッチすると返信／全員に返信／転送を切り替えられます。

❷ 宛先

❸ 本文

❹ 元のメッセージ
- タッチすると、送信元のメールの表示／非表示を切り替えられます。
- 転送のときは操作できません。

❺ 送信元のメール

❻ 件名

❼ 引用返信
- 送信元のメールを本文に入力します。

5 [▷]

メールの削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[メール]
- メールの選択削除：メールの画像をタッチ▶[🗑]▶[OK]

2 メールを選ぶ

3 [🗑]▶[OK]

メールの設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[メール]

2 [☰]▶[設定]

3 項目を選ぶ
■ 全般設定：メール全般について設定します。
■ アカウントを追加：アカウントの追加ができます。
■ プライバシーポリシー：プライバシーポリシーを確認できます。
- アカウントを選ぶと、署名やメール着信通知など、各アカウントの詳細について設定できます。

Gmail

Gmailは、Googleのメールサービスです。
- あらかじめ、Googleアカウントの設定をしておいてください（☞P.22「Googleなどのアカウントの設定」）。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶[Gmail]

2 [✎]

3 メールを作成

❶ アカウント
- 複数のアカウントを設定している場合、アカウントを切り替えられます。

❷ 宛先
- 電話帳に登録してあるメールアドレスの一部や名前を入力すると、宛先の候補が表示されます。

❸ 件名

❹ 本文

❺ ファイル添付

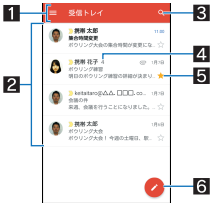
❻ 宛先の追加
- タッチすると、CcやBccを追加できます。

4 [▷]

メールの表示

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶[Gmail]

2 スレッドを選ぶ
- Gmailでは、返信ごとにメールをスレッドにまとめて表示します。新着メールが既存のメールへの返信メールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。新規のメールや件名を変更したメールについては、新しいスレッドが作成されます。



❶ 表示中のトレイ名／ラベル名
- [☰]をタッチすると表示種別／アカウントの切り替えや設定ができます。

❷ スレッド
- スレッド内がすべて既読メールのときは、宛先／送信元や件名が細字の表示になります。
- 画像をタッチするとスレッドにチェックが付き、一括でアーカイブ／削除／未読／既読などに設定できます。

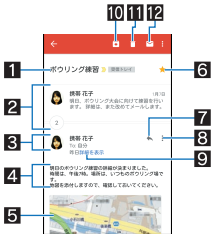
❸ メール検索

❹ スレッド内のメール件数

❺ スターアイコン
- 特別なスレッドやあとで対応する必要があるスレッドの目印として利用できます。
- スターを付けたスレッドは、スター付きフォルダで確認することができます。

❻ メール新規作成

3 メールを確認する



1 件名
2 まとめられたメッセージ
- タッチするとまとめられたメールを表示します。

3 送信元／宛先
- 電話帳に登録されている相手の場合は、画像をタッチすると電話帳の登録内容に合わせて利用できるアプリが表示されます。
- 送信元をタッチすると詳細表示／簡易表示を切り替えられます。

4 本文
5 添付ファイル
6 スターアイコン
- 特別なスレッドやあとで対応する必要があるスレッドの目印として利用できます。
- スターを付けたスレッドは、スター付きフォルダで確認することができます。

7 返信
8 各メールのメニュー
- タッチするとメールごとに全員に返信や転送、スターを付ける／スターを外す、印刷することができます。

9 受信日時
- タッチすると、送信元や宛先、受信日時の詳細の表示／非表示を切り替えられます。

10 アーカイブ
11 削除
12 未読にする

メールの返信／転送

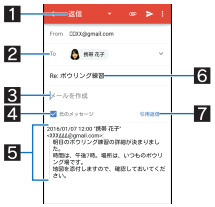
1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶[Gmail]

2 スレッドを選ぶ

3 [↩]

- 全員に返信：各メールの[⋮]▶[全員に返信]
- 転送：各メールの[⋮]▶[転送]

4 メールを作成



1 返信種別
- タッチすると返信／全員に返信／転送を切り替えられます。

2 宛先
3 本文
4 元のメッセージ
- タッチすると、送信元のメールの表示／非表示を切り替えられます。
- 転送のときは操作できません。

5 送信元のメール
6 件名
7 引用返信
- 送信元のメールを本文に入力します。

5 [▷]

スレッドの削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶[Gmail]

- スレッドの選択削除：スレッドの画像をタッチ▶[🗑]

2 スレッドを選ぶ

3 [🗑]

Gmailの設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶[Gmail]

2 [☰]▶[設定]

3 項目を選ぶ

■ 全般設定：Gmail全般について設定します。
■ アカウントを追加：アカウントの追加ができます。
- アカウントを選ぶと、通知や署名など、各アカウントの詳細について設定できます。

Chrome

パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できます。

サイトの表示

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶[Chrome]

- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

■サイトの検索

1 URL入力欄をタッチ

2 キーワードを入力▶キーワードを選ぶ

- 入力した文字を含むキーワードを一覧表示します。
- キーワードを最後まで入力して[実行]でも検索できます。
- ページの再読み込み：Chrome画面で[⋮]▶[↻]

■新しいタブを開く

1 Chrome画面で[⋮]▶[新しいタブ]

- Chromeはタブごとに、クイックランチャーの[履歴]に表示されます。タブを切り替えたり、削除する場合は、クイックランチャーの[履歴]から行ってください(☞P.27「履歴」)。

■シークレットタブを開く

閲覧履歴や検索履歴を残さずにサイトを表示できます。

1 Chrome画面で[⋮]▶[新しいシークレットタブ]

- シークレットタブで表示中はURL入力欄の周囲が灰色で表示されます。

2 URL入力欄をタッチ

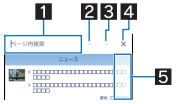
3 キーワードを入力▶[実行]

- Chromeのシークレットタブは、通常のタブと同様にクイックランチャーの[履歴]に表示されます。タブを切り替えたり、削除する場合は、クイックランチャーの[履歴]から行ってください(☞P.27「履歴」)。
- シークレットタブで表示したサイトはChromeの履歴には残りません(☞P.38「履歴からのサイト表示」)。また、クイックランチャーからシークレットタブをすべて削除すると、Cookieなどの記録も削除されます。なお、ダウンロードしたファイルやブックマークしたサイトは、シークレットタブでも保存できます。

■ページ内の文字の検索

1 Chrome画面で[⋮]▶[ページ内検索]

2 検索する



1 キーワード入力欄
- 検索するキーワードを入力します。

2 前へ

3 次へ

4 検索終了

5 検索結果バー
- タッチした検索結果に移動できます。

■文字のコピー

1 Chrome画面でコピーする文字をロングタッチ

2 始点から終点までドラッグ

- コピー範囲の変更:[◯]/[◯]をドラッグ

3 [⧉]

■便利な機能

リンクを新しいタブで表示したり、画像などをダウンロードしたりできます。

1 Chrome画面でリンク/画像をロングタッチ▶利用する機能を選ぶ

Chromeの設定

1 Chrome画面で[⋮]▶[設定]

2 項目を選ぶ

- Chromeにログイン:Googleアカウント でChromeにログインします。同じアカウント でChromeを利用していた際のタブやブックマーク、履歴などの情報を同期できます。
- 検索エンジン:URL入力欄から検索するときに利用する検索エンジンを設定します。
- タブとアプリを統合:Chromeのタブを「▣」で切り替えるか設定します。OFFにすると、URL入力欄の右に開いているタブの数が表示され、タッチするとタブの切り替えができます。
- フォームに自動入力する:自動入力をするときに利用する住所やクレジット カードの情報を設定します。
- パスワードを保存する:パスワードの保存について設定します。
- ホームページ:ホームページを設定します。
- プライバシー:利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。
- ユーザー補助機能:文字のサイズやズームなどの画面表示について設定します。
- サイトの設定:サイトの表示についてや、サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定します。
- データセーバー:データ通信量を抑えるようにするか設定します。
- Chromeについて:Chromeの情報を確認できます。

ブックマークや履歴の利用

■ブックマークの登録

1 Chrome画面で[⋮]▶[☆]

2 [保存]

■ブックマークからのサイト表示

1 Chrome画面で[⋮]▶[ブックマーク]

2 ブックマークを選ぶ

■履歴からのサイト表示

1 Chrome画面で[⋮]▶[履歴]

2 履歴を選ぶ

アプリ

Playストア

Google Playを利用すると、便利なアプリや楽しいゲームを端末にダウンロード、インストールすることができます。

- あらかじめGoogleアカウントを設定しておいてください（☞P.22「Googleなどのアカウントの設定」）。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[Playストア]

- ヘルプの表示：[☰]▶[ヘルプとフィードバック]

- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する場合があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アプリの購入

1 Google Play画面で購入するアプリを選ぶ

2 価格をタッチ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 無料のアプリのとき：[インストール]
- アプリの初回購入時は、支払い方法を選択してください。支払い方法によっては、Googleウォレット アカウントにログインする必要があります。
- アプリの購入後規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリに対して返金要求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金要求はできません。アプリ購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Google Play画面で[☰]▶[ヘルプとフィードバック]をご覧ください。

- アプリのインストールに承諾すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリをインストールするときは、特にご注意ください。
- ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとにアンインストールしたアプリの再ダウンロードには料金はかかりません。
- 同じGoogleアカウントを設定しているAndroid™デバイスが複数ある場合、購入したアプリは他のデバイスすべてに無料でダウンロードすることができます。
- Google Playからのアプリの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

■アプリのアンインストール

1 Google Play画面で[☰]▶[マイアプリ]

2 アンインストールするアプリを選ぶ

3 [アンインストール]▶[OK]

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使ったり、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる機能です。
電子マネーやポイントなどをＩＣカード内に保存することができます。
また、電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができますし、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時の対策になります。
※おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。

- 本端末は、PayPass、payWave、J/Speedyの各サービスには対応しておりません。

おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって

- 本端末の故障により、ＩＣカード内データ※が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ＩＣカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

※おサイフケータイ対応端末に搭載されたＩＣカードに保存されたデータ

「おサイフケータイ対応サービス」の利用

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイトより、おサイフケータイ対応アプリをダウンロードし、設定を行ってください。なお、サービスによってはおサイフケータイ対応アプリのダウンロードが不要なものもあります。

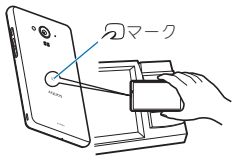
1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[おサイフケータイ]

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 サービスを選ぶ

- サービスのサイト、またはサービスに対応したアプリをダウンロードしてから設定してください。

3 端末の((マークを読み取り機にかざす



- 次の場合は、おサイフケータイ対応サービスを利用できません。ただし、読み取り機に本端末をかざしてのお支払いは利用できます。
  - ■機内モード中
  - ■充電中、またはmicroUSBケーブル（別売）接続中、またはイヤホンマイク接続中で、nanoSIMカードが挿入されていない場合／一度も電波を受信していない場合
- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機と通信できます。
- 読み取り機との通信は、電源を切っていても利用できます。ただし、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。
- インストールしているおサイフケータイ対応アプリやアプリの設定によっては、画面ロック設定中や画面消灯中、本端末の電源を切っている状態では、読み取り機にかざして利用できない場合があります。

対向機にかざす際の注意事項

- 読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことに注意してください。
  - ■マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
  - ■マークを対向機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
  - ■マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響をおよぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

NFC／おサイフケータイ ロック

NFC／おサイフケータイ ロックを設定すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。

- NFC／おサイフケータイ ロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロック設定とは異なります。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]▶[NFC／おサイフケータイ 設定]▶[NFC／おサイフケータイ ロック]

- ホーム画面にアプリシートを表示▶[おサイフケータイ]▶[ロック設定]でもNFC／おサイフケータイ ロックの設定を行うことができます。

2 画面の指示に従って、NFC／おサイフケータイ ロックNo.を入力

- NFC／おサイフケータイ ロック設定中は、ステータスバーに[]が表示されます。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中に電池が切れると、NFC／おサイフケータイ ロックが解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後にNFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、NFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイ ロックNo.は、本端末を初期化しても削除されません。

NFC／おサイフケータイ 設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]▶[NFC／おサイフケータイ 設定]

2 項目を選ぶ

- ■NFC／おサイフケータイ ロック：NFC／おサイフケータイ ロックについては☞P.40「NFC／おサイフケータイ ロック」
- ■Reader／Writer, P2P：Reader／Writer, P2P機能を利用するか設定します。
- ■Androidビーム：Androidビームを利用したデータ通信ができます。
  - ・Androidビームについては☞P.64「Androidビーム」

SHカメラ

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部が指紋や油脂などで汚れると、ピントが合わなくなったり、画像がぼやけることがあります。撮影する前に、柔らかい布などで拭いてください。
- 電池残量が少ないときは、撮影できません。カメラを使用する場合は事前に十分な充電を行ってください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラのレンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうときがありますので、ご注意ください。
- 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、撮影データを保存し、自動終了します。
- [フォーカス設定]を切り替えたとき、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なるときがあります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりするときがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整したりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できるときがあります。
- 撮影した静止画は、DCF 1.0準拠（Exif Ver.2.3、JPEG準拠）の形式で保存されます。

著作権・肖像権について

お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

■カメラを使用中の動作について

- 起動中に約３分間何も操作しないと自動的に終了します。文字などの読み取りを行っている場合、読み取り結果は削除されます。
- シャッター音の音量は変更できません。

■カメラの撮影サイズ

- 設定できる撮影サイズは次のとおりです。

撮影モード	画面比率	撮影サイズ
静止画撮影	16：9	4K2K：3840×2160
		FULL HD：1920×1080
	4：3	13M：4128×3096
		3M：2048×1536
		1.6M：1440×1080※
		VGA：640×480
動画撮影	16：9	FULL HD：1920×1080
		HD：1280×720
	4：3	VGA：640×480
		QVGA：320×240

※ インカメラのみ設定できます。

■撮影画面の見かた

1 設定アイコン表示エリア
- 表示されるアイコンをタッチすると設定を変更できます。

2 撮影可能枚数
- 撮影可能枚数が99枚以下になると表示されます。
- 撮影をしても表示が変わらない場合があります。

3 イン／アウトカメラ切替
- インカメラ／アウトカメラを切り替えます。
- インカメラ利用時は、一部の機能の利用や設定の変更ができません。

4 モバイルライト
- モバイルライトの設定を切り替えます。

5 撮影モード
- 撮影モードを切り替えます（☞P.42「撮影モードの切替」）。

6 動画撮影

7 静止画撮影

8 アルバム／サムネイル
- アルバムの起動、または直前に撮影した静止画や動画が表示されます。

静止画の撮影

1 **ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHカメラ]**

2 **本端末のカメラ（アウトカメラ）を被写体に向ける**
- 明るさの調整：上下にスライド
- ズーム：左右にスライドまたはピンチアウト／ピンチイン
  - 最大倍率（ズームの段階）は約8.0倍（90段階）です。
- フォーカスロック：被写体をタッチ
  - フォーカスマーク以外をタッチすると解除されます。
  - フォーカス設定が[AF OFF]に設定されている場合は、フォーカスロックできません。

3 **[◎]／音量(+)／音量(−)**
- フォーカスロックをしている場合、フォーカスマークをタッチしても撮影できます。
- [◎]をロングタッチ、または音量(+)／音量(−)を１秒以上押すと、静止画を連続撮影することができます。

- フォーカスロックは、主に被写体の色をもとに移動を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。

動画の撮影

1 **ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHカメラ]**

2 **本端末のカメラ（アウトカメラ）を被写体に向ける**
- 明るさの調整：上下にスライド
- ズーム：左右にスライドまたはピンチアウト／ピンチイン
  - 最大倍率（ズームの段階）は約8.0倍（90段階）です。

3 **[録画]**
- フォーカスロック：被写体をタッチ
  - 画面をタッチすると解除されます。
  - フォーカス設定が[顔優先AF]に設定されている場合に操作できます。
  - フォーカス設定が[接写AF]に設定されている場合は、画面の中央にフォーカスがロックされます。

4 **[録画]**

- フォーカスロックは、主に被写体の色をもとに移動を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。

カメラの設定

● 利用中の撮影モードなどによって、各機能の有無は異なります。

■静止画撮影の設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHカメラ]

2 [⋮]

3 [写真]

4 項目を選ぶ

- ■写真サイズ:静止画の撮影サイズを切り替えます。
- ■フレーミングアドバイザー:撮影時のシーンに応じて、構図の分割線やガイドの種類を切り替えます。
- ■HDR:逆光などコントラストが強いシーンで、白とびを軽減して撮影するか設定します。
- ■NightCatch:暗いシーンを明るく撮影するか設定します。
- ■ISO感度:撮影場所の明るさに合わせて、光を取り込む感度を設定します。
- ■シャッターモード:フォーカス設定を[顔優先AF]に設定している場合、被写体が笑ったときや、振り向いたときに自動で撮影するか設定します。
- ■ワンタッチシャッター:画面をタッチして撮影するか設定します。
- ■手ぶれ軽減:手ぶれ軽減を利用するか設定します。

[ISO感度]について

● 高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ぶれや手ぶれが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、静止画は粗くなります。

[ワンタッチシャッター]について

● フォーカスマークが表示されているときは、タッチしたフォーカスマークにピントを合わせて撮影します。

■動画撮影の設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHカメラ]

2 [⋮]

3 [動画]

4 項目を選ぶ

- ■動画サイズ:動画の撮影サイズを切り替えます。
- ■NightCatch:暗いシーンを明るく撮影するか設定します。
- ■マイク設定:マイクを利用するか設定します。

■静止画撮影／動画撮影の共通設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHカメラ]

2 [⋮]

3 [共通]

4 項目を選ぶ

- ■ホワイトバランス:撮影場所の光源に合わせた色調補正を設定できます。
- ■フォーカス設定:被写体に合わせてフォーカスを設定します。
  - ・[顔優先AF]を設定している場合は、人の顔を検出します。
- ■セルフタイマー:タイマーをセットし自動で撮影するか設定します。
  - ・インカメラ利用時に[]／[]／[]をタッチすると、タイマーをセット／解除できます。
- ■ちらつき防止:蛍光灯のある場所で撮影するとき、画面にしま模様が出にくくなるように設定します。
- ■保存先設定:保存先を設定します。
- ■位置情報付加:位置情報を付加するか設定します。
- ■ヘルプ:撮影画面に表示されるアイコンの機能やタッチパネルの操作、機能の使いかたについて確認することができます。
- ■機能紹介:「体験しよう！」で使いかたの動画を確認することができます。
- ■設定リセット:設定をリセットします。

■撮影モードの切替

撮影環境や被写体に合わせて撮影モードを切り替えることができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHカメラ]

2 [◉]

3 項目を選ぶ

- ■おまかせオート:被写体に合わせて自動的に調整するモードです。
- ■マニュアル:被写体に合わせて撮影の設定を調整できるモードです。
- ■モノクロ:モノクロ撮影するモードです。
- ■銀残し:暗部を暗く、コントラストを強調して撮影するモードです。
- ■タイムラプス:一定の間隔をあけて撮影した静止画をつなげて動画を作成します。
- ■全天球撮影:Googleの「カメラ」アプリを起動し、上下・左右と360°のパノラマ写真を撮影します。
- ■読取カメラ:読取カメラを起動します。
  - ・利用する際にはアプリをダウンロードする必要があります。
- ■翻訳ファインダー:翻訳ファインダーについては☞P.42「翻訳ファインダー」
- ■検索ファインダー:検索ファインダーについては☞P.43「検索ファインダー」
- ■手鏡:インカメラを利用して、手鏡のように自分を映します(撮影はできません)。
- ■SHSHOW:シャープのサイトに接続し、カメラを活用するためのアプリをダウンロードできます。

● 画面上部には、最近使用した撮影モードのアイコンが表示されます。アイコンをタッチして撮影モードを切り替えることもできます。

翻訳ファインダー

カメラをかざすだけで英語を日本語へリアルタイムに翻訳することができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[翻訳ファインダー]

● ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHカメラ]▶[◉]▶[翻訳ファインダー]でも起動できます。

2 翻訳したい英語をディスプレイに表示

● 翻訳された日本語が表示されます。

● 画面に翻訳したい英語の全体が表示されるようにしてください。

3 [◉]

● シャッター音が鳴り、そのままの静止画と翻訳された静止画が自動的に保存されます。

● 翻訳結果の表示／非表示:[]

● 拡大／縮小:ピンチアウト／ピンチイン

● 文字の傾きを調整:2本の指でタッチパネルに触れ、文字が水平になるように静止画を動かす

● 検索:翻訳された日本語や翻訳前の英語をタッチ▶[百科事典]／[英和辞典]／[検索]

- 文字のコピー：翻訳された日本語や翻訳前の英語をロングタッチ▶[コピー]
- 文字の共有：翻訳された日本語や翻訳前の英語をロングタッチ▶[共有]▶項目を選ぶ

- 英語から日本語へのみ翻訳できます。
- 英語のフォントや背景、文字色、文字サイズ、レイアウトなどによって、読み取れない場合や正しく翻訳されない場合があります。
- 日本語に翻訳されていない文字は、検索やコピー、共有することができません。
- 文字が水平になるように傾きを調整すると、正しく翻訳できる場合があります。

■翻訳ファインダーの設定

1 翻訳ファインダー画面で[◎]▶[⚙]

2 各項目を設定

検索ファインダー

カメラをかざして雑誌や新聞などの文字を検索することができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[検索ファインダー]
- ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHカメラ]▶[●]▶[検索ファインダー]でも起動できます。

2 検索したい文字をディスプレイに表示▶文字をなぞる
- 表示画像の一時停止／停止解除：[○]／[⏸]

3 検索結果を選ぶ
- 検索結果を選ぶと対応したアプリが起動します。
- 検索結果を種類別にしぼり込み：[🖻]／[🌐]／[🔍]
- 検索する文字の編集：水色部分をタッチ▶文字を編集▶[OK]

- 検索する文字のフォントや背景、文字色、文字サイズ、レイアウトなどによって、読み取れない場合があります。

■検索ファインダーの設定

1 検索ファインダー画面で[◎]▶[⚙]

2 各項目を設定

アルバム

画像や動画をイベントや場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[アルバム]

2 [▤]▶カテゴリを選ぶ

3 データを選ぶ
- データの削除：データをロングタッチ▶[削除]▶[はい]

4 データを確認する

- ファイルが表示されない場合は、アルバムのデータベースファイルを削除することで正常に動作する可能性があります。端末とパソコンをmicroUSBケーブル（別売）で接続して、本体メモリまたはmicroSDカードの¥PRIVATE¥SHARP¥PM¥DATABASEフォルダを削除してから使用してください。データベースファイルを削除した場合、作成されたイベントや場所などの情報も削除されます。十分にご確認の上、操作してください。

データの振り分け

画像や動画を作成したグループごとに整理できます。

■イベントごとに振り分け

1 アルバム画面で[▤]▶[イベント]

2 [未設定]

3 [✎]▶[イベントを新規作成]

4 分類するデータを選ぶ▶[作成]

5 [イベント名を入力する]▶イベント名を入力▶[OK]▶[作成]

■場所ごとに振り分け

- 位置情報の付加されているデータは、自動的に地図上に振り分けられます。

1 アルバム画面で[▤]▶[場所]

2 [⋮]▶[場所設定]

3 分類するデータをロングタッチ▶登録する位置までドラッグ▶[OK]

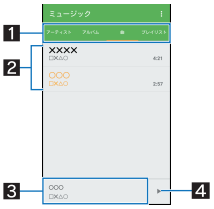
ミュージック

本体メモリまたはmicroSDカードに保存された音楽データやプレイリストを再生します。

- 再生できる音楽データのファイル形式は次のとおりです。
  AAC LC、AAC+、enhanced AAC+、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM／WAVE、WMA

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[ミュージック]

2 音楽データを選ぶ



データ一覧画面

1 カテゴリ
- 選択したカテゴリのデータが表示されます。

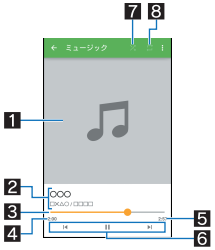
2 音楽データ表示エリア
- 音楽データをロングタッチ▶[着信音に設定]で着信音に設定できます。

3 再生／一時停止中の音楽

4 再生／一時停止中アイコン

3 音楽を聴く

- 音量調節：[+]／[−]



1 ジャケット画像
2 曲名／アーティスト名／アルバム名
3 シークバー
- シークバーをドラッグすると再生位置を変更できます。

4 再生時間
5 総再生時間
6 操作パネル
- 表示されるキーで次の操作ができます。
  - 前／次のデータを再生：[⏮]※／[⏭]
  - 再生／一時停止：[▶]／[⏸]

※ 再生経過時間が約２秒未満：前のデータを再生
再生経過時間が約２秒以上：頭出し

7 シャッフル
8 リピート
- [１]が重なって表示されている場合は、１曲のみをリピート再生します。

プレイリストの管理

■プレイリストの作成

1 データー覧画面で音楽データをロングタッチ▶[プレイリストに追加]▶[新規]

2 プレイリスト名を入力▶[保存]

■プレイリスト名の変更

1 データー覧画面で[プレイリスト]▶プレイリストをロングタッチ▶[名前を変更]

2 プレイリスト名を入力▶[保存]

■プレイリストに音楽データを追加

1 データー覧画面で音楽データをロングタッチ▶[プレイリストに追加]

2 プレイリストを選択

■プレイリスト内の音楽データの削除

1 データー覧画面で[プレイリスト]▶プレイリストを選ぶ

2 音楽データをロングタッチ▶[プレイリストから削除]

■プレイリストの削除

1 データー覧画面で[プレイリスト]▶プレイリストをロングタッチ▶[削除]

GPS／ナビ

マップを利用して、ストリートビューを表示したり、ルートの検索をしたりできます。また、表示中の地図の周辺施設をジャンル別に検索することもできます。

GPS機能の利用

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して端末の位置情報を取得する機能です。現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります（☞P.53「位置情報」）。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、端末の故障や誤動作、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - ■ 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - ■ 建物の中や直下
  - ■ 地下やトンネル、地中、水中
  - ■ 高圧線の近く
  - ■ 自動車や電車などの室内
  - ■ 大雨や雪などの悪天候
  - ■ かばんや箱の中
  - ■ 端末の周囲に障害物（人や物）がある場合
  - ■ GPSアンテナ付近を手で覆い隠すように持っている場合
- 現在地を測位する際に、自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得し、パケット通信料がかかる場合があります。
- 位置情報から地図を表示した場合などは、パケット通信料がかかります。

マップ

現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます。

- 現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります（☞P.53「位置情報」）。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶[マップ]

2 マップを利用する
- 地図を回転：１本の指でタッチパネルに触れたまま、別の指で回転したい方向に地図を動かす
- 立体的に表示：２本の指で同時に上にスライド
- 現在地の測位：[◉]

■ストリートビュー

1 マップ画面で任意の場所をロングタッチ▶住所／地名／施設名などをタッチ

2 [ストリートビュー]
- 表示する方角の変更：画面を上下左右にスライド
- 表示する場所の移動：矢印をタッチ
- コンパスモード：[◉]

- ストリートビューは対応していない地域もあります。
- コンパスモードを利用すると、端末の地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が連動します。

■ルートの検索

出発地から目的地までのルートを検索することができます。

1 マップ画面で[◉]

2 移動手段を選ぶ▶上の検索ボックスをタッチ

- 現在地を測位している場合は、現在地が入力されています。

3 出発地を入力

4 下の検索ボックスをタッチ

5 目的地を入力

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

■周辺施設の検索

表示中の地図の周辺施設をジャンル別に検索することができます。

1 マップ画面で検索ボックスをタッチ

2 検索したい施設のジャンルを選ぶ

- 検索ボックスに検索する場所を入力しても検索できます。

3 検索結果を利用する

- 詳細情報の表示:住所／地名／施設名などを選ぶ
- 検索結果が複数ある場合は、マーカーをタッチするか住所／地名／施設名などを左右にスライドすると他の検索結果を表示することができます。また、[検索結果を表示]をタッチすると検索結果が一覧表示されます。

YouTube

YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶[YouTube]

2 動画を選ぶ

- 検索ボックスの表示:[🔍]

アラーム・時計

アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用できます。

アラーム

指定した時刻にアラーム音やバイブレータでお知らせします。

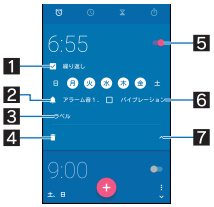
1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[アラーム・時計]▶[⏰]

2 登録先の時刻をタッチ

- 登録先の追加:[⊕]

3 時刻を選ぶ▶[OK]

4 各項目を設定



1 繰り返し
- 繰り返しを設定します。

2 アラーム音
- アラーム音を設定します。

3 ラベル
- ラベルを入力します。

4 削除
- アラームを削除します。

5 アラームON／OFF
- アラームの有効／無効を切り替えます。

6 バイブレータ設定
- バイブレータを利用するか設定します。

7 表示切替

- アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。
- 通話中にアラーム設定時刻になると、相手の声と一緒に通知音が聞こえます。

■アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 アラーム鳴動中に[⏰]を[🔕]までスライド

- スヌーズの利用:[⏰]を[💤]までスライド

ディスプレイの表示中に止める

タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中にアラーム設定時刻になると、アラーム通知が表示されます。通知を利用してアラームを止めることができます。

1 アラーム鳴動中に[停止]

- スヌーズの利用:[スヌーズ]

■アラーム音量の設定

1 アラーム画面で[⋮]▶[設定]

2 [アラームの音量]▶音量を調節▶[OK]

世界時計

世界各地の都市の時刻を表示できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[アラーム・時計]▶[🕐]

2 [🌐]

3 都市を選ぶ

タイマー

設定した時間が経過したときに、アラーム音でお知らせします。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[アラーム・時計]▶[⏳]

2 時間を入力▶[▶]

- 時間を1分追加:[+1']
- カウントダウンの停止:[⏸]
- カウントダウンのリセット:[↺]
- 設定した時間が経過すると、アラーム音でお知らせします。停止するには画面の指示に従って操作してください。

■名称の変更

1 タイマー画面で[ラベル]

2 名称を入力▶[OK]

■タイマーの追加

1 タイマー画面で[⊞]

■タイマーの削除

1 タイマー画面で[🗑]

ストップウォッチ

ストップウォッチを利用して時間を計測します。ラップタイム(経過時間)／スプリットタイム(合計経過時間)も計測できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[アラーム・時計]▶[⏱]

2 [▶]

- ラップタイム／スプリットタイムの計測:[⏱]

3 [⏸]

- 計測結果のリセット:[↺]

● ラップタイム／スプリットタイムの履歴を99件まで記憶できます。

カレンダー

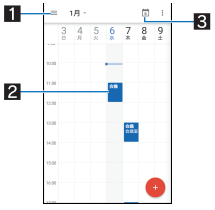
カレンダーを利用してスケジュールの管理ができます。

● あらかじめ、アカウント設定をしておいてください(☞P.22「Googleなどのアカウントの設定」)。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶[カレンダー]

- 初回起動時には説明画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 スケジュールを確認する



1 表示切替
- カレンダーの表示方法を切り替えます。

2 登録されているスケジュール

3 今日を表示

スケジュールの作成

1 カレンダー画面で[＋]

2 各項目を設定

1 タイトル

2 カレンダー
- カレンダーシートを設定します。

3 終日
- 終日設定を切り替えます。

4 開始日時

5 終了日時

6 詳細オプション
- 予定のタイムゾーンや、繰り返しを設定します。

7 場所

8 通知
- 開始日時のどのくらい前に通知するかを設定します。
- [別の通知を追加]をタッチすると、通知の設定を追加できます。

9 ユーザーを招待
- 招待する相手のメールアドレスを入力します。

10 予定の色
- 予定の色を設定します。

11 メモを追加

12 添付ファイルを追加

3 [保存]

カレンダーの設定

1 カレンダー画面で[☰]▶[設定]

2 項目を選ぶ

■ 全般:カレンダー全般について設定します。

■ Gmailから予定を作成:Gmailで予定に関するメールを受信すると、自動的にスケジュールを追加するか設定します。

- カレンダーを選ぶと、予定の色や通知のデフォルトについて設定できます。

スケジュールの削除

1 カレンダー画面でスケジュールを選ぶ

2 [✎]▶[削除]▶[OK]

メモ帳

メモ帳に登録する

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[メモ帳]
2 [新規作成]
3 内容を入力▶[保存]

メモ帳を確認する

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[メモ帳]
2 メモを選ぶ

■メモを編集する

1 メモ帳表示画面で[編集]
2 内容を編集▶[保存]

■メモを削除する

1 メモ帳表示画面で[削除]▶[はい]

■メモを選んで削除する

1 メモ帳一覧画面で[選択削除]
2 メモを選ぶ▶[削除]▶[はい]

■メモを送信する

1 メモ帳一覧画面で[送信]▶送信方法を選ぶ
2 メモを選ぶ▶[送信]▶[はい]
- アプリが起動します。
- メモ帳表示画面で[送信]▶送信方法を選ぶ▶画面の指示に従って操作しても送信できます。

■メモを検索する

1 メモ帳一覧画面で[⋮]▶[メモ検索]▶キーワードを入力▶[検索]
2 メモを選ぶ

■文字サイズを変更する

1 メモ内容入力画面／メモ帳一覧画面／メモ帳表示画面で[⋮]▶[文字サイズ設定]▶文字サイズを選ぶ

■メモをメール本文へ挿入する

1 メモ帳表示画面で[送信]▶[メール本文へ挿入]
2 画面の指示に従って操作

■メモをテキストデータに変換する

1 メモ帳表示画面で[⋮]▶[.txtに変換]▶[OK]
- 変換したテキストデータは、コンテンツマネージャーの「Doc.」から確認することができます。

電卓

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電卓]
2 計算する
- 計算結果のコピー：計算結果をロングタッチ▶[コピー]

- 電卓がバックグラウンドで動作している場合、計算結果や履歴情報が削除されることがあります。

SHツール

歩数計や辞書など、便利な機能を利用することができます。
- コンテンツマネージャーについては☞P.60「コンテンツマネージャー」

- ボイスレコーダーや読取カメラをはじめてご利用される際には、アプリをダウンロードする必要があります。
- 読取カメラはダウンロードしても、アプリシートにアイコンは表示されません。SHツールやSHカメラから起動してください。

歩数計

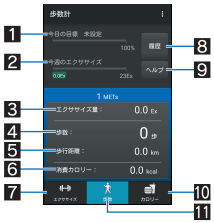
歩数や歩行距離、消費カロリーなどを記録することができます。歩数の履歴をグラフで表示して、時間別などで比較することもできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHツール]▶[おすすめ]▶[歩数・消費カロリー計]
2 [はい]
3 [ユーザー情報]
- お買い上げ時は、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ご利用の前に、ユーザー情報を正しく設定しておいてください。
4 暗証番号を入力▶[OK]
5 各項目を設定▶[◁]
6 [歩数計ON]▶[◁]
- 電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
- 歩数計の表示は、1日に一度リセットされます。

歩数測定時のご注意
- 次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。
  - ■端末が不規則に動く場合
    - ・端末を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
    - ・端末を腰やかばんなどからぶら下げているとき
  - ■不規則な歩行をした場合
    - ・すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
    - ・混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
  - ■上下運動や振動の多いところで使用した場合
    - ・立ったり座ったりしたとき
    - ・スポーツを行ったとき
    - ・階段や急斜面を上ったり下りたりしたとき
    - ・乗り物（自転車、自動車、電車、バスなど）に乗って、上下振動や横揺れしているとき
    - ・スピーカーから音が出ているとき
    - ・バイブレータが振動しているとき
  - ■極端にゆっくり歩いた場合
- かばんやポーチなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中など端末を固定できる場所に入れてください。

● 歩き始めの約4秒間は歩数はカウントされますが、測定値には反映されません。そのあとも歩行を続けると、それまでの歩数を合わせて測定値に反映します。

■歩数計画面の見かた



1 目標達成率(目標設定時のみ有効)
2 今週のエクササイズ(身体活動)量
3 今日のエクササイズ(身体活動)量
4 今日の歩数
5 今日の歩行距離
6 今日の消費カロリー
7 エクササイズモード
8 歩数履歴
- タッチしたあと、画面下部の[時間別]／[日別]／[週別]／[月表示]をタッチすると、表示が切り替わります。

9 ヘルプ
10 カロリーモード
11 歩数モード

■歩数計の停止

1 **歩数計画面で[⋮]▶[歩数計設定]**
2 **[歩数計ON]**

■ユーザー情報の変更

1 **歩数計画面で[⋮]▶[歩数計設定]**
2 **[ユーザー情報]**
3 **暗証番号を入力▶[OK]**
4 **各項目を設定**

■歩数計リセット時刻設定

1 **歩数計画面で[⋮]▶[歩数計設定]**
2 **[歩数計リセット時刻設定]**
3 **時刻を入力▶[設定]**

■目標設定

1 **歩数計画面で[⋮]▶[目標設定]**
2 **各項目を設定**

■データリセット

1 **歩数計画面で[⋮]▶[データリセット]▶[はい]**

■累積データの確認

1 **歩数計画面で[⋮]▶[累積データ]**

辞書

■内蔵辞書

内蔵されている辞書を利用して、単語の意味を調べることができます。

- お買い上げ時は、次の電子辞書が内蔵されています(電子化の都合上、書籍とは一部異なる場合があります)。
  - ■「明鏡国語辞典MX 第二版」
    ©KITAHARA Yasuo and Taishukan, 2012
  - ■「ジーニアス英和辞典MX 増補版」
    ©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012
  - ■「ジーニアス和英辞典MX 第2版」
    ©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012

1 **ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHツール]▶[辞書]**
2 **[国語辞典]／[英和辞典]／[和英辞典]**
3 **語句を入力▶単語を選ぶ**
- 文字を入力するたびに、該当する単語の候補が表示されます。
- 別の単語を検索:[ひきなおす]
  ・このあと、語句を入力して調べ直してください。
- 履歴の確認:[履歴]▶履歴を選ぶ
- 単語カードに追加:[単語カード追加]
- 単語カードの確認:[単語カード]▶単語カードを選ぶ

■単語テスト

1 **内蔵辞書画面で[単語テスト]**
2 **件数を選んで、テスト開始**
3 **[解答へ]／[次へ]**
- テストを途中で終了:[終了]

4 **テストが終了したら、[終了する]／[もう一度]**

■ネット辞書

サイト上の辞書を利用して、単語の意味などを調べることができます。

1 **ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHツール]▶[辞書]**
2 **[ネット辞書]**
3 **語句を入力▶[検索]▶検索結果を選ぶ**
- 別の単語を検索:[ひきなおす]
  ・このあと、語句を入力して調べ直してください。
- 履歴の確認:[履歴]▶履歴を選ぶ

端末設定

設定メニュー

ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]で表示されるメニューから、端末の各種設定を行うことができます。

- 端末設定を表示中に[🔍]▶検索するキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。

プロフィール	nanoSIMカードをご使用の場合は、お客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。
サウンド・通知	マナーモードや着信音・お知らせ音、着信ランプなどについて設定します。
ディスプレイ	画面表示などについて設定します。
省エネ＆バッテリー	エコ技設定や省エネ待受設定の起動、電池の利用状況の確認などを行います。
ホーム切替	ホームアプリを切り替えます。
通話	簡易留守録や発着信制限など、通話について設定します。
ストレージ	microSDカードや端末などの空き容量の確認、ファイル管理などができます。
便利機能	モーションでON／OFFやアプリ使用履歴キーに関する設定、セルフチェックを行います。
アプリ	アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、有効／無効の設定、アンインストールなどができます。
タップ＆ペイ	おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効／無効の設定ができます。
Wi-Fi	Wi-Fi機能について設定します。
Bluetooth	端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。
データ使用量	モバイルネットワーク経由のデータ通信量を測定し、グラフで表示します。
もっと見る	無線とネットワークについて、その他の機能の設定を行います。
位置情報	位置情報の測位について設定します。
ロックとセキュリティ	セキュリティロックについて設定します。
言語と文字入力	画面に表示される言語や、文字入力、テキスト読み上げなどについて設定します。
バックアップとリセット	Googleアカウントによるデータのバックアップや端末間のデータ引き継ぎ、オールリセットなどを行います。
アカウント	アカウントの追加や設定、データの同期について設定します。
日付と時刻	日時の設定や表示形式について設定します。
ユーザー補助	ユーザー補助オプションについて設定します。
印刷	印刷用アプリ(プラグイン)をインストールすると、印刷機能に対応したアプリで印刷することができます。
端末情報	端末情報の確認ができます。

プロフィール

nanoSIMカードをご使用の場合は、お客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[プロフィール]

2 [編集]

3 各項目を設定▶[保存]▶[はい]

サウンド・通知

マナーモードや着信音・お知らせ音、着信ランプなどについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[サウンド・通知]

2 項目を選ぶ

- マナーモード設定:マナーモード設定については☞P.50「マナーモード設定」
- メディアの音量:メディア再生音の音量を設定します。
- アラームの音量:アラームの音量を設定します。
- 着信音の音量:着信音の音量を設定します。
- 電話着信:着信時の動作について設定します。
- 割り込み:着信音やお知らせ音を鳴らすか設定します。
- お知らせ:お知らせ受信時の動作について設定します。
  - お知らせランプの点滅設定:[光を点滅させて通知]
- 端末がロックされているとき:タッチパネルのロック画面に表示する通知について設定します。
- アプリの通知:通知の表示／非表示や優先度を、アプリごとに設定します。
- 通知へのアクセス:通知にアクセスできるアプリを確認できます。
- その他の音:特定のキー操作時などのバイブレータ動作や、メニューなどをタッチしたときの操作音の有無などを設定します。

割り込みの[通話の着信時と通知の受信時]について

- 設定項目は次のとおりです。
  - 常に割り込み:着信音やお知らせ音を鳴らします。
    - 通常マナーに設定している場合は、バイブレータが動作します。
  - 優先的な割り込みのみ許可:[割り込み]の優先的な割り込みに関する設定や、[アプリの通知]の優先度の設定に従って、着信音やお知らせ音を鳴らします。
    - 通常マナーに設定している場合は、バイブレータが動作します。
  - 割り込みなし:着信音やお知らせ音が鳴らないようにします。
- [割り込みなし]とサイレントマナーは連動しています。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定が変更されます。

[端末がロックされているとき]について

- 設定項目は次のとおりです。
  - すべての通知内容を表示する:ロック画面に通知を表示します。
  - プライベートな通知内容を非表示にする:ロック画面に表示する通知で、相手の電話番号や通知の件数など、詳細を表示しないようにします。
    - 画面のロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定しているときに利用できます。
  - すべての通知を表示しない:ロック画面に通知を表示しないようにします。

マナーモード設定

公共の場所などで、端末の音を周囲に出さないように設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[サウンド・通知]▶[マナーモード設定]

- (⏻)(1秒以上)▶[🔇×]/[📳]/[🔊]でもマナーモードを設定/解除できます。

2 マナーモードの種類を選ぶ

- 通常マナー:着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータが動作します。簡易留守録設定が[マナーモード連動]に設定されているときは、簡易留守録が有効になり、簡易留守録の設定に従って動作します。
- サイレントマナー:着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。簡易留守録設定が[マナーモード連動]に設定されているときは、簡易留守録が有効になり、簡易留守録の設定に従って動作します。
- OFF:マナーモードを解除します。

- マナーモード設定中も、次の音は鳴ります。
  - 静止画撮影時のシャッター音
  - 静止画撮影時のフォーカスロック音
  - 動画撮影時の開始音/停止音
  - メディア再生音(音楽や動画など)
- マナーモード設定中に着信音量を上げると、マナーモードは解除されます。マナーモードを設定していないときに着信音量を「0」にすると、マナーモードが設定されます。

ディスプレイ

画面表示などについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ディスプレイ]

2 項目を選ぶ

- 壁紙:ホーム画面の画像を設定します。
- ウェルカムシート:タッチパネルのロック時の画面について設定します。
- EDGESTエフェクト:ディスプレイを表示させたときなどに画面の縁に現れる効果について設定します。
- 明るさのレベル:明るさのレベルについては☞P.50「明るさのレベル」
- バックライト点灯時間:バックライトの点灯時間を設定します。
- 画質モード:画質について設定します。
- 端末が回転したとき:端末を左右に90度回転させたとき、画面の縦/横表示を切り替えるか設定します。
- 文字フォント設定:文字サイズやフォントについて設定します。
- スクリーンセーバー:スクリーンセーバーを利用するか設定します。
- 電池残量%表示:ステータスバーに電池残量をパーセントで表示するか設定します。

[バックライト点灯時間]について

- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[端末が回転したとき]について

- 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。

[文字フォント設定]について

- Google Playなどでダウンロードしたアプリを起動したときに、正しく表示されない場合があります。

明るさのレベル

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ディスプレイ]▶[明るさのレベル]

2 項目を選ぶ

- 明るさを自動調整:バックライトの明るさを自動で調整するか設定します。自動で調整を行わない場合は、手動で明るさを設定してください。
- 充電時は明るくする:充電中はディスプレイの表示を明るくするか設定します。

3 [OK]

[明るさを自動調整]について

- ディスプレイの明るさを上げると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

省エネ&バッテリー

エコ技設定や省エネ待受設定の起動、電池の利用状況の確認などを行います。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[省エネ&バッテリー]

2 項目を選ぶ

- エコ技設定:エコ技設定については☞P.50「エコ技設定」
- 省エネ待受設定:省エネ待受設定については☞P.51「省エネ待受設定」
- 電池:電池の利用状況などを確認できます。

エコ技設定

エコ技を有効にした場合の省エネ効果(ecoレベル)を確認しながら、各種機能の設定を登録します。
エコ技を有効にすると登録した設定が反映され、電池の消費を抑えることができます。また、電池残量や時刻でエコ技に切り替えるよう設定することもできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[省エネ&バッテリー]▶[エコ技設定]

2 設定する

1 エコ技
- エコ技に切り替えます。

2 詳細設定
- 省エネ待受など、省エネさせる機能を個別に設定します。

3 電池残量で切替
- 指定した電池残量になったとき、エコ技に切り替えるか設定します。

4 切替電池残量
- エコ技に切り替える電池残量を設定します。

5 切替時刻
- 指定した時刻になったとき、エコ技に切り替えるか設定します。

- 省エネ待受を[ON]にすると、ディスプレイの表示が消えているときにバックグラウンドで動作するアプリを制御します。
- 定期的に通信するアプリは、省エネ待受を[OFF]にしていても通信を開始しない場合があります。その場合は該当のアプリで再度設定を行ってください。
- 充電中は省エネに関する設定が一部解除されます。

電池残量で切替によって[エコ技]が有効になったとき

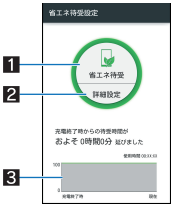
- 切替時刻で設定した時刻になっても[エコ技]は無効になりません。
- 電池残量が切替電池残量以上になったときに[エコ技]は無効になります。
- [電池残量で切替]を無効にしても[エコ技]は無効になりません。

省エネ待受設定

ディスプレイの表示が消えているときにバックグラウンドで動作するアプリを制御します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[省エネ&バッテリー]▶[省エネ待受設定]

2 設定する



1 省エネ待受
- 省エネ待受に切り替えます。

2 詳細設定
- 制御するアプリを設定します。

3 電池利用状況
- 電池の利用状況などを確認できます。

ストレージ

microSDカードや端末などの空き容量の確認、ファイル管理などができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ストレージ]

2 項目を選ぶ

- microSDをマウント／microSDのマウント解除:microSDカードをマウント／マウント解除します。
- microSD内データを消去:microSDカードを初期化します。
- microSDの暗号化／microSDの暗号化解除:microSDカードの暗号化／暗号化解除を行います。
- USBメモリのマウント解除:USBメモリをマウント解除します。
- ファイル管理:USBメモリなどに保存されているデータを管理します。

[microSDのマウント解除]について

- microSDカードの取り外しは、microSDカードをマウント解除してから行ってください。

[microSD内データを消去]について

- 初期化を行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

[microSDの暗号化]、[microSDの暗号化解除]について

- 電池を十分に充電した状態で、充電しながら操作してください。
- あらかじめ画面のロックをロックNo.またはパスワードに設定しておいてください(☞P.54「ロックとセキュリティ」)。
- microSDカードの空き容量が不足していると、暗号化／暗号化解除を実行できません。
- 暗号化されたmicroSDカード内のデータは、暗号化を実施した端末以外では利用できなくなります。
- 暗号化されたmicroSDカードは、暗号化解除を行うことで通常のmicroSDカードとして使用できるようになります。
- microSDカードを暗号化した状態でオールリセットを行った場合、microSDカード内のデータを利用できなくなりますのでご注意ください。オールリセットを行う前に、暗号化解除を行ってください。
- microSDカードを暗号化した端末に、別のmicroSDカードを取り付けた場合、microSDカードは読み取り専用となります。
- 読み取り専用のmicroSDカードは、暗号化することで書き込みが可能となります。
- microSDカードの暗号化／暗号化解除には時間がかかる場合があります。暗号化を実行中は充電を中止したり、microSDカードを取り外したりしないでください。暗号化が中断された場合、microSDカード内のデータが失われる可能性があります。

[USBメモリのマウント解除]について

- USBメモリの取り外しは、USBメモリをマウント解除してから行ってください。

USB接続

端末をmicroUSBケーブル(別売)でパソコンに接続して利用するときの設定を変更します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ストレージ]

2 [⋮]▶[USB接続]

3 項目を選ぶ

- MTPモード:MTP対応のパソコンで本体メモリまたはmicroSDカードにデータを転送するときのモードです。
- PTPモード:PTP対応のパソコンで本体メモリに静止画を転送するときのモードです。
- カードリーダーモード:端末に挿入したmicroSDカードを、パソコンの外部メモリとして使用するときのモードです。

- 大量のデータを転送した場合、転送が中断することがあります。その場合はデータを分けて転送してください。

便利機能

モーションでON／OFFやアプリ使用履歴キーに関する設定、セルフチェックを行います。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[便利機能]

2 項目を選ぶ

- モーションでON／OFF：モーションでON／OFFについては☞P.52「モーションでON／OFF」
- アプリ使用履歴キー：[▣]をタッチしたときに利用する機能を設定します。アプリ使用履歴キーについては☞P.16「ナビゲーションキー」
- セルフチェック：セルフチェックについては☞P.52「セルフチェック」

モーションでON／OFF

端末を手に持っているときやポケットに入れたとき、タッチパネルを指でスライドしたときなど、動作によってディスプレイを表示／非表示にする機能について設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[便利機能]▶[モーションでON／OFF]

2 項目を選ぶ

- Bright Keep：端末を手に持っているときはディスプレイの表示が消えないようにするか設定します。
- 水平に置いて消灯：端末を地面に対して水平に近い状態で置いたときに、バックライト点灯時間にかかわらずディスプレイの表示を消すか設定します。
- ポケットに入れて消灯：端末をポケットに入れたときにディスプレイの表示を消すか設定します。
- Sweep ON：ディスプレイの表示が消えているときに、タッチパネルを指でスライドしてディスプレイを表示させるか設定します。
- Shake OFF：端末を左右に振ると、ディスプレイの表示を消すか設定します。
- 体験しよう！：「体験しよう！」で機能を体験したり、使いかたを動画で確認することができます。

[Bright Keep]について

- Bright Keepを設定し、端末を手に持っていても、端末の静止状態が続いた場合や、一定時間何も操作していない場合はディスプレイの表示が消える場合があります。
- Bright Keepを[ON(通知あり)]に設定すると、ステータスバーに[◉]が表示されます。

[水平に置いて消灯]について

- Bright Keepが[ON(通知あり)]／[ON(通知なし)]のときに利用できます。
- 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。

[ポケットに入れて消灯]について

- タッチパネルのロック画面表示中やホームアプリ利用中に動作します。

[Sweep ON]について

- 手や物などによって近接センサーが覆われた場合、ディスプレイは表示されますが誤動作防止のためタッチ操作はできません。また、端末の設定にかかわらずディスプレイの表示が消える場合があります。

セルフチェック

端末のセルフチェックを行います。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[便利機能]▶[セルフチェック]

2 [チェックスタート]

- セーフモードで再起動：[セーフモードで再起動]▶[OK]

3 [端末の症状から選択]／[端末の機能から選択]

4 項目を選ぶ

- [端末の機能から選択]の場合は、項目を選んで[次へ]をタッチします。また、項目の[❓]をタッチすると、診断についてのヘルプが表示されます。

5 [次へ]

6 [診断開始]

- 診断の中止：[キャンセル]▶[次の項目]／[はい]
- 診断履歴をタッチすると、結果を確認することができます。

アプリ

アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、有効／無効の設定、アンインストールなどができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[アプリ]

2 アプリを選ぶ

■アプリの無効

アプリの動作を停止し、アンインストールせずにアプリシートに表示しないように設定します。

- アンインストールできないアプリを無効にできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[アプリ]

2 アプリを選ぶ

3 [無効にする]▶[OK]

- アプリを無効にすると、無効にされたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。その場合は、アプリを有効にしてください。

■アプリの有効

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[アプリ]

2 アプリを選ぶ

3 [有効にする]

タップ＆ペイ

おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効／無効の設定ができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[タップ＆ペイ]

2 サービスを選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- ヘルプの表示：[⋮]▶[ヘルプ]

データ使用量

モバイルネットワーク経由のデータ通信量を測定し、グラフで表示します。また、設定した通信量に達したときに警告を表示したり、それ以上データ通信を行わないように設定したりすることができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[データ使用量]

2 データ通信量を確認する

1 データ使用サイクル
- データ通信量の表示をリセットする日を設定します。

2 グラフ
- データ通信量を表示します。
- 警告ラインや制限ラインを設定することができます。

3 データ通信を使用したアプリ

4 データ通信
- データ通信を利用するか設定します。

5 データ通信の制限を設定する
- データ通信量に制限を設け、制限値に達した場合にデータ通信を停止します。
  - データ使用量画面で[⋮]▶[バックグラウンド制限]▶[OK]でバックグラウンドで動作しているアプリのデータ通信も制限できます。

6 指定期間内のデータ通信量

もっと見る

無線とネットワークについて、その他の機能の設定を行います。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]

2 項目を選ぶ
- 機内モード:電話やメールなど、通信を利用する一部の機能を使用できないようにします。
- デフォルトのSMSアプリ:SMSを送受信するアプリを設定します。
- テザリング:テザリングについては☞P.21「テザリング」
- NFC/おサイフケータイ 設定:NFC/おサイフケータイ 設定については☞P.40「NFC/おサイフケータイ 設定」
- ワイヤレス出力:ワイヤレス出力については☞P.65「ワイヤレス出力」
- VPN設定:VPNについて設定します。VPN設定については☞P.66「VPNの追加」
- モバイルネットワーク:モバイルネットワークについては☞P.53「モバイルネットワーク」
- プロキシ設定:プロキシ経由でネットワークに接続するように設定します。
- 緊急警報:緊急警報について設定します。

[機内モード]について
- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合でも、[SIMカードをロック]が有効のときは、緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。[SIMカードをロック]が無効の場合は、機内モード中でも緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できます。緊急通報番号をダイヤルすると、[機内モード]がOFFになり、発信を行います。
- [機内モード]がONの場合でも、[Wi-Fi]や[Bluetooth]をONにすることができます。

モバイルネットワーク

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]▶[モバイルネットワーク]

2 項目を選ぶ
- データローミング:データローミングを利用するか設定します。
- 4Gを利用する:4Gを利用するか設定します。
- アクセスポイント名:アクセスポイントを設定します。
- 通信事業者:通信事業者については☞P.53「通信事業者」

■通信事業者

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]▶[モバイルネットワーク]▶[通信事業者]
- データ通信の確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。
- ネットワークの検索が行われ、通信事業者の一覧が表示されます。

2 通信事業者を選ぶ
- 通信事業者の再検索:[ネットワークを検索]
- 通信事業者を自動的に選択:[自動的に選択]

位置情報

位置情報の測位について設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[位置情報]

2 ONにする
- 位置情報の利用についての確認画面が表示された場合は、[同意しない]/[同意する]を選択してください。

3 項目を選ぶ
- モード:GPS衛星やWi-Fiのアクセスポイント、携帯電話の基地局を利用して位置情報を測位するモードを設定します。
- Google口ケーション履歴:端末にGoogleアカウントを登録している場合は、ロケーション履歴を表示します。
- 最近の位置情報リクエストがある場合は、タッチするとアプリの情報を確認できます。

- 現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります。ご利用のアプリによっては、アプリで位置情報に関する設定が必要な場合があります。

[モード]について
- 設定したモードによっては、端末の消費電力が増加しますので、あらかじめご了承ください。
- [位置情報]をONに設定すると、位置情報の利用についての確認画面が表示されます。[同意しない]/[同意する]によって、設定されるモードが異なります。

ロックとセキュリティ

セキュリティロックについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ロックとセキュリティ]

2 項目を選ぶ

- 画面のロック:電源を入れたときやディスプレイを表示させたときのタッチパネルのロック解除方法やタッチパネルのロック画面に表示する通知について設定します。
- 所有者情報:タッチパネルのロック画面に表示する所有者情報について設定します。
- Smart Lock:信頼済みの端末や信頼済みの場所、信頼済みの顔などでタッチパネルのロックを自動解除するように設定します。
- アプリケーションロック:アプリケーションロックについては☞P.54「アプリケーションロック」
- シークレット設定:シークレット設定については☞P.55「シークレット設定」
- 電話帳アクセスモニター:電話帳の情報を使用するアプリやサービスを制限することができます。
- SIMカードロック設定:SIMカードロック設定については☞P.55「SIMカードロック設定」
- 端末の暗号化:端末の暗号化については☞P.55「端末の暗号化」
- パスワードを表示:PINコードなどを入力する際、[・]が表示される前に入力した文字を表示させることができます。
- デバイス管理機能:デバイス管理者にデバイス管理権限を与えるかどうか設定します。
- 提供元不明のアプリ:Google Play以外のサイトやメールなどから入手したアプリのインストールを許可します。
- ストレージのタイプ:ストレージのタイプを表示します。
- 安全な認証情報の使用:安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可します。
- 証明書をインストール:暗号化された証明書をインストールします。
- 認証ストレージの消去:すべての認証情報を削除します。
- 信頼できるエージェント:タッチパネルのロックを自動解除するアプリ(エージェント)について設定します。
- 画面の固定:選択したアプリ以外を使用できないようにします。
  - [アプリ使用履歴キー]の設定により操作方法が異なります。それぞれの操作方法については☞P.27「履歴」、P.29「アプリ使用履歴」
- 使用履歴にアクセスできるアプリ:アプリ使用履歴データにアクセスできるアプリを設定します。

[画面のロック]について

- 設定項目は次のとおりです。
  - なし:タッチパネルのロック画面を表示しません。
  - スワイプまたはタッチ:[🔒]をスライドしてロックを解除するように設定します。
  - パターン:4つ以上の点を結ぶパターンを設定します。
  - ロックNo.:4～16桁の数字を設定します。
  - パスワード:英字1文字以上を含んだ、4～16桁の英数字と半角記号を設定します。
    - 一部の半角記号は利用できません。
- パターンの入力を間違えると、間違えた回数に応じて入力できない時間が長くなります。
  - 5回連続:30秒間
  - 10回連続:1分間
  - 15回連続:15分間
  - 20回連続:60分間

  20回以上連続して間違えた場合、それ以降に5回連続して間違えるごとに60分間入力ができません。正しいパターンを入力すると、カウントはリセットされます。
- 端末の暗号化を行っている場合、画面のロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定すると、電源を入れるたびにストレージ復号化のパスワード入力画面を表示するか設定できます。
- 画面のロックの設定によって、ロックとセキュリティの次の項目が表示/非表示になります。
  - パターンを表示する:パターンの入力時の軌跡を線で表示します。
  - 自動ロック:タッチパネルがロックされるまでの時間を設定します。
  - 電源キーですぐにロックする:(⏻)を押してディスプレイの表示を消したときに、自動ロックで設定した時間にかかわらずタッチパネルをロックするか設定します。
- 本端末にGoogleアカウントを設定している場合、パソコンやタブレットなどからパスワードによるロックを設定することができます。
  端末紛失時などは次のサイトへ接続し、本端末に設定されているGoogleアカウントでログインしてください。
  https://www.google.com/android/devicemanager

[提供元不明のアプリ]について

- サイトからダウンロードするアプリは情報源が不明な場合もあります。端末と個人データを保護するため、Google Playなど信頼できる情報源からのアプリのみダウンロードしてください。

[安全な認証情報の使用]について

- 証明書を削除した場合、[安全な認証情報の使用]からは証明書の参照ができなくなりますが、他の機能からは証明書の参照が可能なままとなります。証明書を完全に削除する場合は認証ストレージの消去を行ってください。

[認証ストレージの消去]について

- VPNの設定も削除されます。

アプリケーションロック

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ロックとセキュリティ]▶[アプリケーションロック]

2 暗証番号を入力▶[OK]

3 項目を選ぶ

- パターンを表示する:指リストの入力時の軌跡を線で表示します。
- 入力時バイブ:指リスト、暗証番号、パスワードの入力時にバイブレータを動作させます。
- セキュリティキー変更:セキュリティキー変更については☞P.55「セキュリティキー変更」

シークレット設定

電話帳の連絡先にシークレット属性を設定し、電話帳や発着信履歴などに表示させないようにすることができます。

- シークレットモードを一時解除すると、通常の連絡先とシークレット属性設定した連絡先の両方が表示されます。
- シークレットモード一時解除中にディスプレイの表示が消えると、シークレットモードになります。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ロックとセキュリティ]▶[シークレット設定]

2 暗証番号を入力▶[OK]

- シークレットモードが一時解除されます。

3 項目を選ぶ

- 連絡先シークレット設定:電話帳の連絡先にシークレット属性を設定します。
- シークレットモード一時解除の設定:シークレットモード一時解除について設定します。
- 使い方ガイド:シークレットモード一時解除の方法やシークレット設定した電話帳の連絡先についての説明を表示します。

シークレットモードの一時解除

1 ステータスバーを下にドラッグ

2 [⚙]をロングタッチ

3 暗証番号を入力▶[OK]

本端末で利用する暗証番号

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[・]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

■セキュリティキー(各種機能用の暗証番号)

各制限を設定している場合、一時解除するにはセキュリティキーの入力が必要になります。お買い上げ時のセキュリティキーは[暗証番号]([0000])に設定されていますが、お客様ご自身で変更できます(☞P.55「セキュリティキー変更」)。

- セキュリティキーの入力を、5回連続して間違えると30秒間入力ができません。

■PINコード

PINコードは、第三者によるnanoSIMカードの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたnanoSIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■PINロック解除コード(PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとnanoSIMカードが完全にロックされます。その場合は、nanoSIMカードの販売元までお問い合わせください。

セキュリティキー変更

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ロックとセキュリティ]▶[アプリケーションロック]

2 暗証番号を入力▶[OK]

3 [セキュリティキー変更]

4 項目を選ぶ

- 指リスト:4つ以上の点を結ぶパターンを設定します。
- 暗証番号:4～16桁の数字を設定します。
- パスワード:英字1文字以上を含んだ、4～16桁の英数字と半角記号を設定します。

SIMカードロック設定

PINコードについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ロックとセキュリティ]▶[SIMカードロック設定]

2 項目を選ぶ

- SIMカードをロック:電源を入れたときにPINコードを入力するか設定します。
- SIM PINの変更:PINコードを変更します。

- 日本国内では通話可能なnanoSIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- 設定は通話可能なnanoSIMカードに保存されます。

PINロックの解除

1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力

2 新しいPINコードを入力

3 もう一度、新しいPINコードを入力

端末の暗号化

端末内のデータを暗号化します。

- 端末の暗号化を解除するには、オールリセットを行う必要があります(☞P.57「オールリセット」)。
- 電池を十分に充電した状態で、充電しながら操作してください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ロックとセキュリティ]▶[端末の暗号化]

2 [携帯端末を暗号化]

- 画面のロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定している場合、画面のロックで設定した方法でロックを解除してください。

3 [携帯端末を暗号化]

- 画面のロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定している場合、端末を起動するときに、ストレージ復号化のパスワード入力画面が表示されます。画面のロックで設定した方法でロックを解除してください。
  - ・電源を入れるたびにストレージ復号化のパスワード入力画面を表示するか、画面のロックを設定する際に選択できます(☞P.54「ロックとセキュリティ」)。

- 端末の暗号化が中断された場合、端末内のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- ストレージ復号化の際、パターン/ロックNo./パスワードの入力を10回および20回連続して間違えると、30秒間入力ができません。30回連続して間違えると、端末が初期化されますので、ご注意ください。

言語と文字入力

画面に表示される言語や、文字入力、テキスト読み上げなどについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[言語と文字入力]

2 項目を選ぶ

- ■現在選択中のキーボード:文字入力時に使用する入力ソフトを設定します。
  - ・[キーボードの選択]をタッチすると、端末で使用する入力ソフトのON/OFFを切り替えることができます。
- ■Googleキーボード:Googleキーボードについて設定します。
- ■S-Shoin:S-Shoinについて設定します。設定できる各項目の詳細については☞P.18「文字入力の設定」
- ■Google音声入力:Google音声入力について設定します。
- ■言語(Language)を選択:日本語表示/英語表示を選択します。
- ■音声入力:音声入力について設定します。
- ■テキスト読み上げの出力:端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
- ■スペルチェッカー:スペルチェッカーについて設定します。
- ■ユーザー辞書:任意の単語をユーザー辞書に登録し、Googleキーボードでの文字入力時に、変換候補として表示させます。
- ■ポインタの速度:ポインタの速度を設定します。
- ■送信時文字コード設定:アプリからデータ送信するときの文字コードを設定します。

キーボードについて

- 日本語を入力するときはS-Shoinを利用してください。

[Googleキーボード]、[S-Shoin]、[Google音声入力]について

- 現在選択中のキーボードの[キーボードの選択]の設定によって、表示/非表示になります。

[スペルチェッカー]について

- 日本語には対応しておりません。

バックアップとリセット

Googleアカウントによるデータのバックアップや端末間のデータ引き継ぎ、オールリセットなどを行います。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[バックアップとリセット]

2 項目を選ぶ

- ■データのバックアップ:Googleアカウントを利用して、アプリのデータやWi-Fiパスワードなどを自動的にバックアップするか設定します。
- ■バックアップアカウント:バックアップに利用するGoogleアカウントを設定します。
- ■自動復元:アプリを再インストールするときに、バックアップされたデータや設定などを復元するか設定します。
- ■データ引継:データ引継については☞P.56「データ引継」
- ■オールリセット:オールリセットについては☞P.57「オールリセット」

データ引継

microSDカードを利用してデータを取り込んだり、本端末のデータをバックアップ/復元することができます。また、別の端末の電話帳データをBluetooth機能を利用して取り込むこともできます。

- microSDカードにバックアップ/復元できるデータは次のとおりです。
  - ■電話帳
  - ■SMS
  - ■ブックマーク
  - ■カレンダー
  - ■メモ帳
  - ■ユーザー辞書/学習辞書(S-Shoin)
- microSDカードにバックアップ中は[機内モード]がONになります。
- 本体メモリの空き容量が11Mバイト未満のときは、microSDカードにバックアップできません。
- microSDカードを利用する場合は、あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[バックアップとリセット]▶[データ引継]

- ホーム画面にデスクトップシートを表示▶[データ引継]でも起動できます。

2 項目を選ぶ

- ■データ取り込み:microSDカードやBluetooth機能を利用してデータを取り込みます。
- ■microSDにデータ保存:microSDカードにデータを保存します。

■バックアップファイルの保存

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[バックアップとリセット]▶[データ引継]

2 [microSDにデータ保存]

3 暗証番号を入力▶[OK]

4 保存するデータカテゴリを選ぶ

- [電話帳]を選択した場合は保存するアカウントの選択画面が表示されます。

5 [保存]▶[はい]

6 [完了]

- 電池残量が少ないときは保存できません。

■バックアップファイルの読み込み

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[バックアップとリセット]▶[データ引継]

2 [データ取り込み]

3 [取り込む]

4 暗証番号を入力▶[OK]

5 読み込むバックアップファイルを選ぶ▶[追加登録]／[削除して登録]

- 確認画面が表示されます。以降は画面の指示に従って操作してください。

- 電池残量が少ないときは読み込みできません。
- ユーザー辞書／学習辞書(S-Shoin)を読み込む場合、[追加登録]を選択しても、本体メモリに保存されているユーザー辞書／学習辞書(S-Shoin)のデータが削除されますので、ご注意ください。

■バックアップファイルの設定・管理

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[バックアップとリセット]▶[データ引継]

2 [⋮]▶[設定]

3 項目を選ぶ

- ■バックアップファイルの整理:保存されているバックアップデータを削除できます。
- ■電話帳画像バックアップ:電話帳のバックアップ時に電話帳に登録された画像もバックアップするか設定します。
- ■結果画面閲覧:最新のバックアップファイルの保存／読み込みの結果を表示します。

■Bluetooth機能を利用して電話帳データを取り込む

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[バックアップとリセット]▶[データ引継]

2 [データ取り込み]

3 取り込み元の端末の種類を選ぶ

- microSDカードのバックアップデータを利用するかの画面が表示された場合は、[スマートフォンから電話帳データを取り込む]を選択してください。

4 [次へ]

5 取り込み元の端末でBluetooth機能をONにする▶[次へ]

- 取り込み元の端末がAndroidの場合は、取り込み元の端末が本端末に表示されるように、取り込み元の端末を設定してください。

6 取り込み元の端末を選ぶ

7 [開始]

- ペア設定の確認画面が表示された場合は[ペア設定する]を選択してください。

8 [次へ]

9 [追加登録]／[削除して登録]▶[OK]

- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

10 [OK]

オールリセット

本体メモリ内のすべてのデータを消去します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[バックアップとリセット]▶[オールリセット]

2 [携帯端末をリセット]

- [microSD内データも消去する]を有効にすると、microSDカード内のデータも同時に消去されます。

3 暗証番号を入力▶[OK]

4 [すべて消去]

- 消去されるデータは次のとおりです。
  - ■作成、保存、登録したデータ
  - ■「設定」アプリで設定した内容
  - ■ダウンロードしたアプリ

日付と時刻

日時の設定や表示形式について設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[日付と時刻]

2 項目を選ぶ

- ■日付と時刻の自動設定:日時を自動的に補正するか設定します。
- ■タイムゾーンの自動設定:ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するか設定します。
- ■日付設定:日付を手動で設定します。
- ■時刻設定:時刻を手動で設定します。
- ■タイムゾーンの選択:タイムゾーンを手動で設定します。
- ■24時間表示:12時間制／24時間制を切り替えます。
- ■日付形式の選択:日付の表示形式を設定します。

[日付と時刻の自動設定]を有効にしたとき

- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

ユーザー補助

ユーザー補助オプションについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[ユーザー補助]

2 項目を選ぶ

- ■字幕:字幕の表示について設定します。
- ■拡大操作:ディスプレイを3回タッチして拡大／縮小するか設定します。
- ■大きい文字サイズ:端末に表示される文字のサイズを大きくするか設定します。
- ■高コントラストテキスト:端末に表示される文字色のコントラストを高くして表示するか設定します。
- ■電源キーで通話を終了:[⏻]を押して通話を終了するか設定します。
- ■画面の自動回転:端末を左右に90度回転させたとき、画面の縦／横表示を切り替えるか設定します。
- ■パスワードの音声出力:パスワードの音声出力を利用するか設定します。
- ■ユーザー補助のショートカット:ユーザー補助機能をすばやく有効にできるようにするか設定します。
- ■テキスト読み上げの出力:端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
- ■押し続ける時間:ロングタッチする時間を設定します。
- ■色反転:ディスプレイに表示されている色を反転するか設定します。
- ■色補正:ディスプレイに表示されている色の補正について設定します。

[電源キーで通話を終了]について

- 通話中にディスプレイの表示が消えているときは、Sweep ONを利用すると、通話を終了せずにディスプレイを表示させることができます。

印刷

印刷用アプリ(プラグイン)をインストールすると、印刷機能に対応したアプリで印刷することができます。インストールした印刷用アプリ(プラグイン)の設定を変更する場合は、次の操作を行ってください。

- あらかじめ利用するプリンターに対応した印刷用アプリ(プラグイン)をインストールしておいてください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[印刷]

2 印刷サービスを選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

端末情報

端末情報の確認ができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[端末情報]

2 項目を選ぶ

- ビルド番号:ビルド番号を確認できます。
- 端末の状態:電池残量や利用中のネットワークなどを確認できます。
- タッチパネル補正:タッチパネルを補正します。
- センサー感度補正:モーションセンサー、地磁気センサーの取得精度を補正します。
- ソフトウェア更新:ソフトウェア更新については☞P.69「ソフトウェア更新」
- 法的情報:著作権情報や利用規約などを確認できます。
- 認証:技術基準適合証明書などの情報を確認できます。
- モデル番号:モデル番号を確認できます。
- Androidバージョン:Android/バージョンを確認できます。
- ベースバンドバージョン:ベースバンドバージョンを確認できます。
- カーネルバージョン:カーネルバージョンを確認できます。

[タッチパネル補正]について

- [画面に触れないでください]が表示されている間はタッチパネル(ディスプレイ)や(⏻)に触れないようにしてください。タッチパネル全体の感度補正をしていますので、補正に失敗することがあります。

[センサー感度補正]について

- 補正画面が表示され、約10秒経過してから補正を行ってください。
- 補正を行う環境や同時に起動しているアプリによっては、補正に失敗することがあります。補正を行う場所を変えるか、起動中のアプリを終了させるなどしてください。

ファイル管理

ストレージ構成

本体メモリ（内部ストレージ）

お買い上げ時の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。

Alarms	アラーム音などが保存されます。
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	端末で撮影した静止画や動画が保存されます。
Download	Chromeでダウンロードしたファイルが保存されます。
Movies	動画などが保存されます。
Music	音楽データなどが保存されます。
Notifications	お知らせ音などが保存されます。
Pictures	静止画などが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。
PRIVATE	静止画や動画、音楽データなどが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

microSDカード（外部ストレージ）

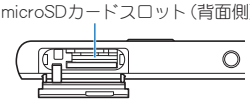
端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- SH-RM02では市販の２Gバイトまでのmicro SDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています。また、スピードクラス※は最大Class 10まで使用できます（2015年10月現在）。
  ※ スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
  microSDカードの情報については、次のサイトをご覧ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shrm02/peripherals/microsd.html
- 利用できるファイルのサイズは、１ファイル２Gバイトまでです。
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後（端末で使用するための情報を書き込み中）や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります（☞P.51「ストレージ」）。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードの取り付け／取り外しは、端末を手でしっかり持って行ってください。

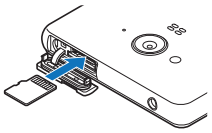
■取り付けかた

1 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを開く（☞P.12「取り付けかた」）

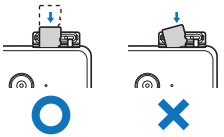
2 microSDカードの金属端子面を上に向けて、microSDカードスロットにゆっくりと挿入する



- 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり指で押し込んでください。



- microSDカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態で無理に押し込まないでください。microSDカードスロットが破損することがあります。



3 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを閉じる（☞P.12「取り付けかた」）

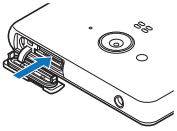
■取り外しかた

- あらかじめmicroSDカードをマウント解除しておいてください（☞P.51「ストレージ」）。マウント解除していない場合、データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

1 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを開く（☞P.12「取り付けかた」）

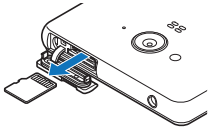
2 microSDカードを軽く押し込む

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSDカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、端末やmicroSDカードを破損させる恐れがあります。



3 microSDカードを取り外す

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。



4 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを閉じる（☞P.12「取り付けかた」）

コンテンツマネージャー

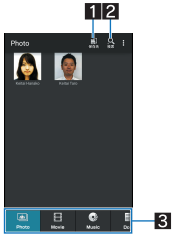
本体メモリまたはmicroSDカードに保存されたデータを管理し、種類ごとに分類して表示します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[コンテンツマネージャー]

- ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHツール]▶[おすすめ]▶[コンテンツマネージャー]でも起動できます。

2 データを選ぶ

- 対応するアプリがインストールされている場合、データを選択すると表示することができます。
- 対応するアプリが複数インストールされている場合、アプリ選択画面が表示されることがあります。アプリを選択すると表示します。



1 保存先

- 選択した保存先にあるデータを表示できます。

2 データ検索

- 検索条件を選んで、本体メモリまたはmicroSDカード内のデータを検索できます。

3 カテゴリ

- 選択したカテゴリのデータが表示されます。

カテゴリ	表示されるデータ
Photo	端末で撮影した静止画やダウンロードした画像
Movie	端末で撮影した動画やダウンロードした動画
Music	メロディやWMAファイル
Doc.	Office系データ(.doc、.xls、.ppt、.docx、.xlsx、.pptx、.csv)、PDFデータ、Textファイル
Others	その他のデータ

- 左右にスライドするとカテゴリの表示を切り替えることができます。

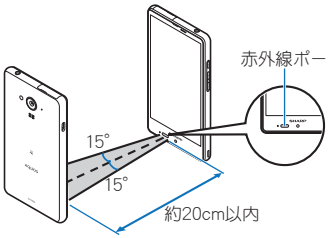
データ通信

赤外線送受信

赤外線送受信のご利用にあたって

赤外線を利用して、携帯電話など他の機器とデータをやりとりできます。

- 端末と相手側の機器を近づけ、双方の赤外線ポートが約20cm以内にまっすぐ向き合うようにしてください。



- 赤外線通信機能は、IrMC™ 1.1規格に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC™ 1.1規格に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。
- 相手側の機器やデータによっては、利用できなかったり、正しく転送されなかったりすることがあります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
- データの送受信が終わるまでは、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにして、動かさないでください。
- 赤外線通信中に、他のアプリが起動すると通信が終了します。
- データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
- 著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
- データ送信時は、電話帳とプロフィールはvCard形式、メモ帳はvNote形式に変換されて送信されます。
- データが保存されるときにファイル名が変更される場合があります。また、ファイル名が86文字以上のデータは正しく保存できない場合があります。
- 電話帳登録時にアカウントを選択する画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- 電話帳を全件受信して[削除して登録]をタッチした場合、受信データの1件目がプロフィールに上書き登録されます(自局電話番号は除く)。
- 受信したデータの登録先は、次のとおりです。

受信データ	登録先
vCard	プロフィール、電話帳
vNote	メモ帳
vBookmark	ブックマーク
その他のデータ	コンテンツマネージャー

データを1件受信する

1 **ホーム画面にアプリシートを表示▶[赤外線送受信]**

2 **[1件受信]**

3 **相手機器でデータ送信の操作を実行**

4 **本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる▶[OK]**

- 受信完了後は画面の指示に従って操作してください。

データを一括して受信する

1 **ホーム画面にアプリシートを表示▶[赤外線送受信]**

2 **[全件受信]**

3 **認証コードを入力▶[OK]**

- 認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。

4 **相手機器でデータ送信の操作を実行**

5 **本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる▶[OK]**

6 **暗証番号を入力▶[OK]**

7 **[追加登録]**

- データを削除して登録するときは、[削除して登録]をタッチし画面の指示に従って操作してください。

データを1件ずつ送信する

1 **ホーム画面にアプリシートを表示▶[赤外線送受信]**

2 **[1件送信]**

3 **送信するデータを選ぶ**

- 送信するデータによっては操作が異なります。画面の指示に従って操作してください。

4 **相手機器でデータ受信の操作を実行**

5 **本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる▶[OK]**

データを選んで送信する

例: メモ帳の場合

1 **ホーム画面にアプリシートを表示▶[メモ帳]**

2 **[送信]▶[赤外線送信]**

3 **送信するメモを選ぶ▶[送信]▶[はい]**

4 **相手機器でデータ受信の操作を実行**

5 **本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる▶[OK]**

データを一括して送信する

例: 電話帳の場合

1 **ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]**

2 **[⋮]▶[送信]▶[赤外線送信]**

3 **[全件送信]**

4 **[送信する(無画像)]/[送信する(画像付)]**

- 送信するデータに顔写真が登録されていない場合は[はい]をタッチしてください。

5 暗証番号を入力▶[OK]

6 アカウントを選ぶ▶[はい]▶認証コードを入力▶[OK]

- 認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。

7 相手機器でデータ受信の操作を実行

8 本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる▶[OK]

Bluetooth機能

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

■仕様

■対応バージョン
Bluetooth標準規格 Ver.4.0※1

■出力
Bluetooth標準規格 Power Class 1

■対応プロファイル※2（対応サービス）
HSP：Headset Profile（ヘッドセットプロファイル）※3
HFP：Hands Free Profile（ハンズフリープロファイル）※4
A2DP：Advanced Audio Distribution Profile（アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル）※5
AVRCP：Audio／Video Remote Control Profile（オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル）※5
HID：Human Interface Device Profile（ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル）※6
DUN：Dial-up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）※7
OPP：Object Push Profile（オブジェクトプッシュプロファイル）※8
SPP：Serial Port Profile（シリアルポートプロファイル）※9
PBAP：Phone Book Access Profile（フォンブックアクセスプロファイル）※10
PAN：Personal Area Networking Profile（パーソナルエリアネットワークプロファイル）※11
HOGP：HID Over GATT Profile（エイチアイディーオーバーガットプロファイル）※12

※1 端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※2 Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
※3 端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
※4 端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。
※5 端末に市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。
※6 端末にキーボードやマウスなど市販のBluetooth対応入力デバイスをBluetooth接続すると、Bluetooth機器から端末を操作できます。
※7 端末にBluetooth対応パソコンなどをBluetooth接続すると、端末をモデム代わりにしてデータ通信を行うことができます。パケット通信料がかかりますのでご注意ください。DUN接続をしている場合、本端末はモバイルネットワークを利用することができません。
※8 端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。
※9 仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。
※10 Bluetooth機器に本体メモリの電話帳データを転送することができます。電話帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。
※11 パソコンなどのネットワークに参加し、インターネット接続を共有することができます。また、端末にパソコンなどをBluetooth接続すると、Bluetoothテザリングを行うこともできます。
※12 端末にキーボードやマウスなどのBluetooth Smart機器をBluetooth接続すると、Bluetooth Smart機器から端末を操作できます。

- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。
- DUNプロファイルで利用するアクセスポイントの設定は、パソコンやカーナビなどのBluetooth機器から変更することができます。DUNプロファイルでの接続ができなくなった場合は、アクセスポイントを初期化することをおすすめします（☞P.20「アクセスポイントの初期化」）。
- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、データの種別により音声が出力できない場合があります。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
  - ■端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
  - ■電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
  - ■放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
  - ■Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

● Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
■ 電車内
■ 航空機内
■ 病院内
■ 自動ドアや火災報知機から近い場所
■ ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

● Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

Bluetooth機能の利用

● Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetoothパスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな1～16桁の数字を決めておき、端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。
● あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[Bluetooth]

2 ONにする

3 Bluetooth機器を選ぶ▶[ペア設定する]
- 接続確認画面が表示される場合があります。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーを入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。
- Bluetooth機器を検索:[⋮]▶[更新]
- ペア設定済みのBluetooth機器の[⚙]をタッチして相手のBluetooth機器の名前や使用目的を設定できます。

● 最大7台まで同時に接続できます。プロファイルによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。
● 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
● [Bluetooth]をONにすると、他のBluetooth機器からの登録要求/接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索できるようにするには、あらかじめ他のBluetooth機器に表示されるよう設定しておいてください。
● 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。
● 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください(ご覧になる取扱説明書によっては、「更新」の代わりに「検索」または「サーチ」、「ペア設定」の代わりに「ペアリング」または「機器登録」などと表記されています)。

■Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求/接続要求

2 ステータスバーを下にドラッグ▶[ペア設定リクエスト]▶[ペア設定する]
- ペア設定の確認画面が表示された場合は[ペア設定する]を選択してください。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーの入力をする場合もあります。
- 接続確認画面が表示される場合があります。

■Bluetooth機器の登録解除

1 Bluetooth画面で登録を解除するBluetooth機器の[⚙]▶[切断]

■Bluetooth機器の接続解除

1 Bluetooth画面で接続を解除するBluetooth機器を選ぶ▶[OK]

■Bluetoothの設定

● [Bluetooth]をONにしてから設定してください。

1 Bluetooth画面で[⋮]

2 項目を選ぶ
■ 更新:Bluetooth機器を検索します。
■ この端末の名前を変更:本端末の名称を変更します。
■ aptX:aptX®を利用するかどうか設定します。
■ 常にハンズフリー通話:音声通話時に、接続中のBluetooth対応ハンズフリー機器から常に音声を出力するか設定します。
■ 受信済みファイルを表示:Bluetooth通信のデータ受信履歴を表示します。

[aptX]について
● [aptX]を有効にすると、Bluetooth機器によっては音声が出力されないことがあります。その場合は[aptX]を無効にしてください。

Bluetooth通信送受信

■データを送信

例:静止画のとき

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[コンテンツマネージャー]▶[Photo]

2 静止画をロングタッチ▶[共有]▶[Bluetooth]
- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

3 接続するBluetooth機器を選ぶ

■データを受信

1 送信側のBluetooth機器からデータ送信

2 ステータスバーを下にドラッグ▶着信通知を選ぶ▶[承諾]

3 ステータスバーを下にドラッグ▶受信したデータを選ぶ

● 全件受信時に[削除して登録]を選択すると、登録していた該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
● データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
● 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

NFC通信

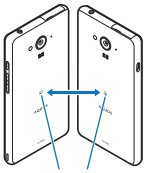
NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader／Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。

Androidビーム

Reader／Writer, P2P機能を搭載した端末との間でデータを送受信できます。

- あらかじめ[Reader／Writer, P2P]を有効にし、[Androidビーム]をONにしておいてください（☞P.40「NFC／おサイフケータイ設定」）。
- 機内モードやNFC／おサイフケータイ ロックを設定している場合は、Androidビームを利用できません。
- 次の場合はAndroidビームによるデータの送信ができないことがあります。
  - ■ 充電中
  - ■ イヤホンマイク接続中
  - ■ USB接続中
- 電話帳、静止画、動画などを送受信できます。
- アプリによってはAndroidビームをご利用になれません。
- すべてのReader／Writer, P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

■ Androidビームのご利用にあたって



マーク

- 図のように受信側と送信側の端末のマークを重ね合わせてご利用ください。
- データの送受信が終わるまでは、端末を動かさないでください。
- 相手の端末によっては、データを送受信しにくいことや端末を近づけた際にディスプレイの表示が消えてしまうことがあります。そのときは、マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- その他の注意事項は対向機にかざす際の注意事項と同様です（☞P.40「対向機にかざす際の注意事項」）。

■ データを送信

例：電話帳のとき

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]

2 名前を選ぶ

3 相手の端末とマークを重ね合わせる

- [タップしてビーム]が表示されます。

4 画面をタッチ

■ データを受信

1 相手の端末とマークを重ね合わせる

外部機器接続

パソコンとの接続

端末とパソコンを接続することで、microSDカードをパソコンの外部メモリとして利用したり、データ転送をしたりできます。

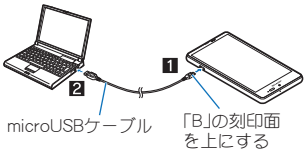
- microUSBケーブル（別売）で接続します。

端末とパソコンの接続方法

1 microUSBケーブルのmicroUSBプラグを、「B」の刻印面を上にして端末の外部接続端子に水平に差し込む（1）

2 microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む（2）

- USB接続のモードについては☞P.51「USB接続」



- USBケーブルはmicroUSBケーブルをご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはプラグ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンとデータのやりとりをしているときは、microUSBケーブルを取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1（いずれも日本語版）です。

microSDリーダーライター

microSDカードを、パソコンの外部メモリとして使用できます。

- あらかじめmicroSDカードを挿入し、USB接続のモードを［カードリーダーモード］に設定しておいてください（☞P.51「USB接続」）。

1 端末をmicroUSBケーブルでパソコンに接続する

- USBマスストレージ画面が表示されます。表示されない場合は、ステータスバーを下にドラッグして［USB接続］を選択してください。
- 画面上部に通知が表示された場合は、通知をタッチしてください。

2 ［USBストレージをONにする］

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、［OK］を選択してください。

3 microSDリーダーライターとして利用する

4 利用が終わったら、パソコンでハードウェアの安全な取り外しを行う

5 ［USBストレージをOFFにする］

6 microUSBケーブルを端末とパソコンから取り外す

- microSDリーダーライターとして利用中は、アプリでmicroSDカードを利用できません。また、アプリでmicroSDカードを利用中は、microSDリーダーライターとして利用できない場合があります。

データ転送

パソコンから本体メモリまたはmicroSDカードにデータを転送することができます。

- あらかじめUSB接続のモードを［MTPモード］または［PTPモード］に設定しておいてください（☞P.51「USB接続」）。

1 端末をmicroUSBケーブルでパソコンに接続する

2 データを転送する

3 利用が終わったら、microUSBケーブルを端末とパソコンから取り外す

プリントサービスによる印刷／保存

印刷用アプリ（プラグイン）を利用して画像を印刷したり、Googleドライブなどに画像を保存したりできます。

例：アルバムを利用するとき

1 アルバムの画像表示画面で［⋮］▶［プリントサービスで印刷］

2 各項目を設定

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

USBホスト機能

本端末にはUSBホスト機能が搭載されています。市販の周辺機器接続用USBケーブルを外部接続端子に接続することでマウスなどのUSB機器を利用できます。

- USBホスト機能について詳しくは、周辺機器接続用USBケーブルやUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

- すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。
- 電池残量が少なくなったり、端末の温度が低下したりするとUSB機器の接続を解除します。
- USBホスト機能の利用中は端末の動作が遅くなる場合があります。
- 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、端末の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に端末の電源が切れることがあります。

USBメモリの取り外しについて

- USBメモリの取り外しは、USBメモリをマウント解除してから行ってください（☞P.51「ストレージ」）。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

ワイヤレス出力

端末とワイヤレス接続機能付きテレビを接続すると、端末と同じ画面をテレビに表示することができます。

- Miracast対応テレビやアダプタなど、その他のMiracast対応機器と接続することもできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶［設定］▶［もっと見る］▶［ワイヤレス出力］

2 ONにする

3 接続する機器を選ぶ

- 接続する機器によっては、設定画面が表示される場合があります。設定内容についてはご利用のMiracast対応機器の取扱説明書をご覧ください。

- 起動しているアプリや表示しているコンテンツによっては、ワイヤレス出力ができない場合があります。
- 起動しているアプリによっては、途中で終了する場合があります。
- ワイヤレス出力中は、著作権保護コンテンツを再生できないことがあります。
- 電池残量が少なくなった場合は、自動的にワイヤレス出力を停止します。
- 通話中、着信中はワイヤレス出力ができません。ワイヤレス出力中に着信があった場合は、ワイヤレス出力を停止します。
- 周囲の環境によっては、無線の干渉を受けて映像が乱れたり音飛びが発生したりする場合があります。また、接続に失敗したり、出力が切れてしまう場合があります。端末とテレビなどが障害物やその他の無線機器のない見通しの良い環境でご利用ください。

VPN(仮想プライベートネットワーク)

VPNの追加

VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。
- あらかじめ画面のロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定しておいてください(☞P.54「ロックとセキュリティ」)。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]▶[VPN設定]▶[＋]

2 各項目を設定▶[保存]

VPNの接続

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]▶[VPN設定]

2 接続するVPNを選ぶ

3 VPNの接続情報を入力▶[接続]

VPNの切断

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[もっと見る]▶[VPN設定]

2 切断するVPNを選ぶ▶[切断]

トラブルシューティング(FAQ)

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください(☞P.69「ソフトウェア更新」)。
- 端末のセルフチェックを行ってください(☞P.52「セルフチェック」)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、「保証書に記載のお問い合わせ先」にご相談ください。

■電源

- 本端末の電源が入らない
  - 電池切れになっていませんか。☞P.14「充電」
- 画面が動かない、電源が切れない
  - (⏻)を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。☞P.15「強制的に電源を切る」
  - 強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■充電

- 充電ができない
  充電ランプが点灯しない、または点滅する
  - ACアダプター(別売)の電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。☞P.14「ACアダプターで充電」
  - ACアダプターをご使用の場合、ACアダプターとmicroUSBケーブル、本端末がしっかりと接続されていますか。☞P.14「ACアダプターで充電」
  - 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。☞P.14「充電時のご注意」

■端末操作

- アプリが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)
  - 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。☞P.52「アプリの有効」
- 操作中・充電中に熱くなる
  - 操作中や充電中、また、充電しながら動画視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、ACアダプターやmicroUSBケーブルが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。☞P.14「充電時のご注意」
- 電池の使用時間が短い
  - 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
  - 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。☞P.70「主な仕様」
  - 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。☞P.9「内蔵電池の交換について」
- タッチしたり、キーを押したりしても動作しない
  - 端末の電源が切れていませんか。☞P.15「電源を入れる」
- タッチしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い
  - 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。☞P.51「ストレージ」
- nanoSIMカードが認識しない
  - nanoSIMカードを正しい向きで挿入していますか。☞P.12「nanoSIMカード」
- 時計がずれる
  - 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[日付と時刻の自動設定]が有効になっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。☞P.57「日付と時刻」
- 端末動作が不安定
  - ご購入後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
    ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。
  - セーフモードの起動方法
    電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面でホーム画面が表示されるまで(−)を押し続けてください。
    ※ 電源を入れた状態で(⏻)(1秒以上)▶[電源を切る]をロングタッチ▶[OK]でも、セーフモードで再起動ができます。
    ※ セーフモードが起動すると画面左下に[セーフモード]と表示されます。
    ※ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
  - 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
  - お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
  - セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

■通話

- 発信ができない
  - 発着信制限の[発信先限定]を設定していませんか。☞P.32「通話設定」
  - 機内モードを設定していませんか。☞P.53「もっと見る」
- 着信音が鳴らない
  - 着信音量を「0」にしていませんか。☞P.49「サウンド・通知」
  - マナーモード、機内モードを起動していませんか。☞P.50「マナーモード設定」、P.53「もっと見る」
  - 発着信制限の[着信拒否]を設定していませんか。☞P.32「通話設定」
- 通話ができない(場所を移動しても[圏外]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)
  - 電源を入れ直すか、通話可能なnanoSIMカードを入れ直してください。☞P.12「nanoSIMカード」、P.15「電源を入れる／切る」
  - 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[圏外]を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
  - 着信拒否など着信制限を設定していませんか。☞P.32「通話設定」
  - 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■画面

● ディスプレイが暗い
- バックライト点灯時間を短く設定していませんか。☞P.50「ディスプレイ」
- ディスプレイの明るさを変更していませんか。☞P.50「明るさのレベル」
- 明るさのレベルの[明るさを自動調整]を有効にしていませんか。有効にしている場合は、周囲の明るさによって変わります。☞P.50「明るさのレベル」

■音声

● 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
- 通話音量を変更していませんか。☞P.31「通話音量調節」

■メール

● メールを自動で受信しない
- メールのアカウントの設定で同期頻度を[自動確認しない]に設定していませんか。

■カメラ

● カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
- SHカメラで近くの被写体を撮影するときは、フォーカス設定を[接写AF]に切り替えてください。☞P.42「静止画撮影／動画撮影の共通設定」
- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。☞P.40「カメラをご利用になる前に」

● モバイルライト点灯時に撮影した静止画や動画が白っぽくなる
- カメラのレンズ周辺にケースやカバー、指などがあると、モバイルライトの光が反射して撮影した静止画や動画に悪影響を与える場合があります。

■おサイフケータイ

● おサイフケータイが使えない
- NFC／おサイフケータイ ロックを設定していませんか。☞P.40「NFC／おサイフケータイ ロック」
- 本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。☞P.40「対向機にかざす際の注意事項」

■データ管理

● データ転送が行われない
- USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。☞P.65「端末とパソコンの接続方法」

● microSDカードに保存したデータが表示されない
- microSDカードを取り付け直してください。☞P.59「microSDカード（外部ストレージ）」

● 画像が正しく表示されない
- 画像データが壊れている場合は黒色の画像が表示されます。

■Bluetooth機能

● Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない
- Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。☞P.63「Bluetooth機能の利用」

● カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない
- 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。☞P.15「電源を入れる／切る」

エラーメッセージ

● [SIMカードを挿入／再確認してください。]
- nanoSIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。☞P.12「nanoSIMカード」

● [空き容量低下]
- 本体メモリの空き容量が低下しています。一部の機能やアプリが正常に動作しなくなる場合があります。不要なアプリのアンインストールやファイルの移動／削除を行ってください。

● [暗証番号を入力してください]
- 端末のロック中に、制限されている機能の操作をしようとした場合に表示されます。暗証番号を入力すると、端末のロックが一時解除され、操作できます。
- 暗証番号の入力が必要な機能を利用しようとした場合に表示されます。

● [応答が無いため接続が中断されました]
[サーバーエラー　送信できませんでした]
[接続エラー　送信できませんでした]
[送信先サーバーが対応しておりません]
[通信エラー　しばらくたってから送り直してください]
- メールやSMSを利用するとき、回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている場合に表示されます。しばらくたってから送信し直してください。

● [このコンテンツを再生する権限がありません]
- 有効なライセンスを保持していない場合や再生期間、再生期限が終了した著作権保護コンテンツを再生しようとした場合に表示されます。

● [しばらくお待ちください（音声サービス）]
- 音声回線ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。

● [しばらくお待ちください（データサービス）]
- パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。

● [送信できませんでした]
- SMSが正しく送信できなかった場合に表示されます。
- メールを正常に送信できなかった場合に表示されます。電波の強いところでもう一度メールを送信し直してください。

● [モバイルネットワークが利用できません。]
- 有効なネットワークに設定されているかご確認ください。☞P.53「モバイルネットワーク」

● [ライセンスの取得に失敗しました。再生できません。]
- 再生期限が切れた著作権保護コンテンツのライセンス更新に失敗したときに表示されます。

保証とアフターサービス

保証について

保証書は付いています。

- お買い上げ年月日、販売店名をご確認ください。
  保証書の記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間
  お買い上げの日から１年間です（ただし電池、試供品、消耗部品は除きます）。
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失・変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが消失・変化した場合の損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
  ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

■補修用性能部品の保有期間

シャープ株式会社は、この製品の補修用性能部品を、製品の製造打ち切り後４年保有しています。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも異常があるときは、使用を止めて、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

■お願い

- 本端末の改造はおやめください。
  - ■火災・けが・故障の原因となります。
  - ■改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    ・液晶部やキー部にシールなどを貼る
    ・接着剤などにより本端末に装飾を施す
    ・外装などを純正品以外のものに交換するなど
  - ■改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  ■使用箇所：スピーカー、受話口部
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

ソフトウェア更新

SH-RM02のソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。

- ソフトウェア更新が必要な場合には、端末上あるいはシャープ株式会社のホームページにてご案内いたします。

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新には大量のパケット通信が発生することがあります。Wi-Fi通信を利用できる場合は、Wi-Fi通信を利用し更新することをおすすめします。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新に必要な電池残量がないときはソフトウェアを更新できません。ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電しながら操作することをおすすめします。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ソフトウェア更新は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のSH-RM02固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本端末が使用できなくなる場合があります。本端末が使用できなくなった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリを起動しないでください。

ソフトウェアの更新

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[端末情報]▶[ソフトウェア更新]

- はじめてご利用される際には、「プライバシーポリシー」に同意いただく必要があります。

2 [ソフトウェア更新]▶[はい]

- ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新用データをダウンロードすることができます。
- すぐに更新する場合は、[今すぐ更新]を選択し、画面の指示に従って操作してください。
- すぐに更新しない場合は、[後で更新]を選択するとアプリが終了し、ステータスバーに[🔄]が表示されます。
  ソフトウェア更新を行う場合は、ステータスバーを下にドラッグし、[ソフトウェア更新]を選択後、画面の指示に従って操作してください。
- ソフトウェア更新が完了すると再起動がかかり、ホーム画面が表示されます。

- ソフトウェア更新の必要がないときには、[現在のソフトウェアは最新です]と表示されます。
- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。

■ソフトウェア更新終了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、完了画面が表示されます。

ソフトウェアの自動問い合わせ

ソフトウェア更新用データの有無を定期的に確認するか設定します。

- お買い上げ時は、自動問い合わせの設定が[自動問い合わせする]に設定されています。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[端末情報]▶[ソフトウェア更新]▶[自動問い合わせ設定]

2 [自動問い合わせしない]／[自動問い合わせする]

- [自動問い合わせする]に設定している場合は、ソフトウェア更新が必要になるとステータスバーに[🔄]が表示されます。
  ステータスバーを下にドラッグし、[ソフトウェア更新]を選択後、画面の指示に従って操作してください。

主な仕様

■本体

品名	SH-RM02
サイズ	高さ約134mm×幅約71mm×厚さ約9.9mm
質量	約145g
メモリ	ROM：32Gバイト RAM：2Gバイト
連続通話時間 ※1※2※3	3G 約900分 VoLTE（音声通話） 約960分
連続待受時間 ※2※3	3G 静止時：約700時間※4 LTE 静止時：約610時間※4
充電時間	ACアダプター（別売）：約220分
ディスプレイ	方式 TFT 16,777,216色 サイズ 約5.0inch 画素数 921,600画素（HD：横720ピクセル×縦1280ピクセル）
イヤホンマイク端子	プラグの直径：3.5mmステレオミニプラグ 極数：4極
撮像素子	種類 アウトカメラ：裏面照射型CMOS※5 インカメラ：裏面照射型CMOS※5 サイズ アウトカメラ：1/3.0inch インカメラ：1/6.9inch
カメラ部	有効画素数 アウトカメラ：約1310万画素 インカメラ：約210万画素 記録画素数（最大時） アウトカメラ：約1280万画素 インカメラ：約210万画素 ズーム（デジタル） アウトカメラ：最大約8.0倍（静止画）／最大約8.0倍（動画） インカメラ：最大約8.0倍（静止画）／最大約8.0倍（動画）
記録部	静止画記録枚数 約23900枚（本体保存時）※6 約1100枚（microSDカード（1Gバイト）保存時）※6 静止画連続撮影 999枚 静止画ファイル形式 JPEG 動画録画時間 1件あたり最大約16分／合計最大約174分（本体保存時）※7 1件あたり最大約8分／合計最大約8分（microSDカード（1Gバイト）保存時）※7 動画ファイル形式 MP4
保存容量	約21.8Gバイト※8
無線LAN	IEEE802.11b/g/n（2.4GHz）準拠

Bluetooth	対応バージョン Bluetooth標準規格 Ver.4.0 出力 Bluetooth標準規格 Power Class 1 対応プロファイル(対応サービス/バージョン) HSP(1.2)、HFP(1.6)、A2DP(1.2)、AVRCP(1.3)、HID(1.0)、DUN(1.1)、OPP(1.1)、SPP(1.1)、PBAP(1.0)、PAN(PAN-NAP)(1.0)、PAN(PANU)(1.0)、HOGP(1.0)
言語	表示言語:日本語、英語 入力言語(文字入力):日本語、英語 入力言語(音声入力):Google音声入力による

※1 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
※2 データ通信やマルチアクセス、カメラ機能、Bluetooth機能などの各種機能のご利用頻度が高い場合、通話(通信)・待受時間は短くなります。実際のご利用時間は、通話(通信)と待受の組み合わせとなり通話時間が長くなると待受時間が短くなります。
※3 内蔵電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かない、または弱い)などにより、通話(通信)・待受時間が半分程度になる場合があります。
※4 電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
※5 CMOS(complementary metal-oxide semiconductor:相補型金属酸化膜半導体)とは、銀塩カメラのフィルムにあたる部分を構成する撮像素子です。
※6 撮影サイズ:FULL HD(1920×1080)/ファイルサイズ:約900Kバイト
※7 撮影サイズ:FULL HD(1920×1080)/ファイルサイズ制限:4Gバイト/種別:画像+音声
※8 メモリを共有するアプリの使用状況によって、各種データの保存容量は少なくなります。

■内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.8 V
公称容量	2450 mAh

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種SH-RM02の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.431W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.564W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5cm以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
シャープ株式会社のホームページ
http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/other/shrm02/index.html

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 この値は同時送信の値です。

輸出管理規制

本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。
  また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「楽天」、「買うクーポン」、「楽オク」、「楽天市場」、「楽天Edy」、「楽天トラベル」、「Kobo® Rakuten」ロゴ、「SHOWTIME」は楽天株式会社の商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
  文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよびは、シャープ株式会社の登録商標です。
- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- AOSS™ 及び、AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi Direct™、Miracast™、Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected Setupロゴは Wi-Fi Alliance®の商標です。
  The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
  この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)
  この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
  iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2015 All Rights Reserved.
  iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2015 All Rights Reserved.
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ Mを搭載しています。
  *新ゴは株式会社モリサワの登録商標です。
- aptXはCSR plc.の登録商標です。
- 「AQUOS」、「Feel Home」、「ウェルカムシート／Welcome Sheet」、「Bright Keep」、「Sweep ON」、「Shake OFF」、「NightCatch／ナイトキャッチ」、「エスショイン／S-Shoin」、「PrintSmash」、「AQUOS」ロゴはシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておりません。
  - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ（以下「MPEG-4ビデオ」と記載します）を符号化すること。
  - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
  - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。

  その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
  - タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
  - 永久記録および／または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。

  追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.comをご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.comをご参照ください。

- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術はFraunhofer IIS及びThomsonから実施許諾されています。
- コンテンツ所有者は、Microsoft PlayReady™コンテンツアクセス技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用してPlayReady保護コンテンツおよびWMDRM保護コンテンツにアクセスします。本製品がコンテンツの使用を適切に規制できない場合、PlayReady保護コンテンツを使用するために必要な本製品の機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツや他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツが影響を受けることはありません。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、PlayReadyのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
  - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
  - Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Bluetoothは、米国Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。
- Google、Google ロゴ、Android、Google Play、Google Play ロゴ、Google+、Google+ ロゴ、Google 設定、Google 設定 ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google カレンダー™、Google カレンダー ロゴ、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google Chrome™、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索™、Google 音声検索 ロゴ、YouTube、YouTube ロゴ、Google ドライブ、Google ドライブ ロゴ、Google™ 検索、Google 検索 ロゴ、Google Nowは、Google Inc.の商標です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[端末情報]▶[法的情報]▶[オープンソースライセンス]をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License(MPL)に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/

索引

あ

アイコンの見かた....23
アカウントとプライバシー....17
アカウントを追加
　メールの設定....36
　Gmailの設定....37
明るさのレベル....50
明るさを自動調整....50
アクセスポイントの初期化....20
アクセスポイントの設定....20
アクセスポイント名....53
アプリ....52
アプリ一覧....25
アプリケーションロック....54
アプリ削除
　アプリ／ショートカット／機能ボタンの管理....28
　ミニアプリ／ウィジェットの管理....28
アプリ使用履歴....29
アプリ使用履歴キー....52
アプリの購入....39
アプリの通知....49
アプリ非表示....25
アプリを削除....25
アラーム....45
アラーム・時計....45
アラームの音量....49
アルバム....43
暗証番号....55
安全上のご注意....3
安全な認証情報の使用....54
位置情報....53
位置情報付加....42
色反転....57
色補正....57
印刷....58
インフォエリア....15
上方向スライド....19
ウェルカムシート....50
ウェルカムシート壁紙....15
ウェルカムシート点灯時間....15
ウェルカムシートの操作....15
受取確認通知....34
絵・記・顔の連続入力....18
エコ技設定....50
絵文字・記号リスト列数....18
大きい文字サイズ....57
オートアンサー....32
オールリセット....57
お気に入り....28
おサイフケータイ....39
「おサイフケータイ対応サービス」の利用....39
おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって....39
押し続ける時間....57
お知らせ....49
おまかせオート....42
主な仕様....70
音声....17
音声入力....56

か

カードリーダーモード....51
カーネルバージョン....58
ガイドタブ表示設定....25
ガイドの表示速度....18
概要....17
顔文字リセット....19
学習辞書リセット....19
拡大操作....57
各部の名称と機能....12
画質モード....50
壁紙....50
カメラの設定....42
カメラをご利用になる前に....40
画面の固定....54
画面の自動回転....57
画面のロック....54
画面表示／アイコン....23
カレンダー....46
カレンダーの設定....46
簡易留守録設定....32
キー操作音....18
キー操作バイブ....18
キー操作バイブ時間....18
キー入力ガイド表示....18
キーボード調整....18
キーボードの見かた....17
機内モード....53
機能紹介....42
機能利用中の操作....16
基本操作....15
緊急警報....53
緊急通報....30
銀残し....42
クイックサイレント....32
クイック返信....32
クイックランチャー....27
グループの利用....33
携帯電話機の比吸収率(SAR)について....71
結果画面閲覧....57
言語と文字入力....56
言語(Language)を選択....56
現在選択中のキーボード....56
検索エンジン....38
検索言語....17
検索ファインダー....43
高コントラストテキスト....57
更新....63
国際発信設定....32
この端末の名前を変更....63
コンテンツマネージャー....60

さ

サイズ変更....25
サイトの設定....38
サイトの表示....37
サイレントマナー....50
サウンド・通知....49
シークレット設定....55
シークレットモード一時解除の設定....55
時刻設定....57
辞書....48
下方向スライド....19
自動大文字変換....18
自動カーソル移動....18
自動スペース入力....18
自動復元....56
字幕....57
写真サイズ....42
シャッターモード....42
充電....14

充電時は明るくする 50
受信済みファイルを表示 63
省エネ待受設定 51
省エネ＆バッテリー 50
証明書のインストール 21
証明書をインストール 54
使用履歴にアクセスできるアプリ 54
ショートカット 15
ショートカットを貼付け 25
初期設定 20
所有者情報 54
新規フォルダに入れる 25
信頼できるエージェント 54
水平に置いて消灯 52
スキャンを常に実行する 21
スクリーンショットの撮影 17
スクリーンセーバー 50
スケジュールの削除 46
スケジュールの作成 46
ステータスパネルの利用 24
ストップウォッチ 46
ストレージ 51
ストレージのタイプ 54
スペルチェッカー 56
スレッドの削除
Gmail 37
SMS 34
静止画の撮影 41
世界時計 45
赤外線送受信 61
赤外線送受信のご利用にあたって 61
セキュリティキー変更 55
設定メニュー 49
設定リセット
各種リセット 19
静止画撮影／動画撮影の共通設定 42
セルフタイマー 42
セルフチェック 52
センサー感度補正 58
全天球撮影 42
全般 46
全般設定
メールの設定 36
Gmailの設定 37
送信時文字コード設定 56
その他の音 49
ソフトウェア更新 69
ソフトキーボード表示 18

た

体験しよう！
ホーム画面の設定 25
モーションでON／OFF 52
対向機にかざす際の注意事項 40
タイマー 45
タイムゾーンの自動設定 57
タイムゾーンの選択 57
タイムラプス 42
ダウンロード辞書 19
タッチパネルの操作 15
タッチパネル補正 58
タップ＆ペイ 52
タブとアプリを統合 38
端末が回転したとき 50
端末がロックされているとき 49
端末情報 58
端末とパソコンの接続方法 65
端末内検索 17
端末内やサイトの情報の検索 17
端末の暗号化 55
端末の状態 58
知的財産権について 72
着信音 34
着信音の音量 49
着信時キー動作設定 32
着信／充電ランプ 23
ちらつき防止 42
通常マナー 50
通信事業者 53
通知 34
通知へのアクセス 49
通話設定 32
通話中の操作 31
通話モード設定 32
使い方ガイド 55
つながり予測 18
常にハンズフリー通話 63
提供元不明のアプリ 54
ディスプレイ 50
データ使用量 53
データセーバー 38
データ転送 65
データ取り込み 56
データのバックアップ 56
データの振り分け 43
データ引継 56
データローミング 53
データを一括して受信する 61
データを一括して送信する 61
データを選んで送信する 61
データを１件受信する 61
データを１件ずつ送信する 61
テーマ設定 25
手鏡 42
テキストメッセージの制限件数 34
テキスト読み上げの出力
言語と文字入力 56
ユーザー補助 57
テザリング 21
デバイス管理機能 54
デフォルトのSMSアプリ 53
手ぶれ軽減 42
電源キーで通話を終了
通話設定 32
ユーザー補助 57
電源を入れる／切る 15
電卓 47
電池 50
電池残量%表示 50
電話着信 49
電話帳 32
電話帳アクセスモニター 54
電話帳画像バックアップ 57
電話帳名前データと連携 19
電話帳のインポート／エクスポート 22
電話帳の確認／利用 32
電話帳の削除 33
電話帳の登録 32
電話帳の編集 33
電話を受ける 30
電話をかける 30
動画サイズ 42
動画の撮影 41
トグル入力 18
ドック表示設定 25
トラブルシューティング(FAQ) 67
取り扱い上のご注意 7

な

内蔵電池の交換 9
名前を変更 28
入力時バイブ 54
入力ミス補正 18
認証 58
認証ストレージの消去 54
ネット変換エンジン 18
ネットワークの通知 21

は

バイブレーション 34
はがす
　アプリ／ウィジェット／ショートカット／フォルダの管理 25
　アプリ／ショートカット／機能ボタンの管理 28
　ミニアプリ／ウィジェットの管理 28
パスワード 55
パスワードの音声出力 57
パスワードを表示 54
パスワードを保存する 38
パソコンとの接続 65
パターンを表示する 54
バックアップアカウント 56
バックアップとリセット 56
バックアップファイルの整理 57
バックライト点灯時間 50
発着信制限 32
発着信履歴 31
発着信履歴の削除 32
ハンドオーバー 21
左方向スライド 19
日付形式の選択 57
日付設定 57
日付と時刻 57
日付と時刻の自動設定 57
ビルド番号 58
ファイル管理 51
フォーカス設定 42
フォームに自動入力する 38
ブックマーク 38
プッシュ信号の入力 30
プライバシー 38
プライバシーポリシー 36
フリック感度 18
プリントサービスによる印刷／保存 65
古いメッセージを削除 34
プレイリストの管理 44
フレーミングアドバイザー 42
プロキシ設定 53
プロフィール
　設定 49
　電話帳 33
ベースバンドバージョン 58
ヘルプ 42
変換辞書の更新 19
便利機能 52
ポインタの速度 56
防水性能 10
法的情報 58
ホーム画面の管理 25
ホーム画面の見かた 24
ホーム切替 29
ホーム設定 25
ホームページ 38
ホームポジション設定 25
ポケットに入れて消灯 52
保証とアフターサービス 69
歩数計 47
保存先設定 42
ホワイトバランス 42
本体メモリ（内部ストレージ） 59
本端末で利用する暗証番号 55
本端末のご利用について 2
翻訳ファインダー 42

ま

マイク設定 42
マップ 44
マナーモード設定
　サウンド・通知 50
　OFF 50
マニュアル 42
右方向スライド 19
ミニアプリ／ウィジェット 28
ミュージック 43
メールいきなり予測 18
メール／ウェブブラウザ 34
メールのアカウントの設定 22
メールの削除 36
メールの設定 36
メールの表示
　Eメール 35
　Gmail 36
メールの返信／転送
　Eメール 35
　Gmail 37
メッセージの削除 34
メッセージの設定 34
メッセージの転送 34
メッセージの表示 34
メッセージの返信 34
メディアの音量 49
メモ帳に登録する 47
メモ帳を確認する 47
モーションでON／OFF 52
モード 53
目次 1
文字削除キー動作 18
文字入力 17
文字入力のしかた 19
文字入力の設定 18
文字フォント設定 50
もっと見る 53
モデル番号 58
モノクロ 42
モバイルネットワーク 53

や

ユーザー辞書
　言語と文字入力 56
　辞書 19
ユーザー補助 57
ユーザー補助機能 38
ユーザー補助のショートカット 57
輸出管理規制 71
指リスト 55
予測変換 18
読取カメラ 42

ら

リサイクル 9
履歴

クイックランチャー 27
Chrome 38
レイアウト設定 25
連絡先シークレット設定 55
ローマ字キーボード補助 18
ロックとセキュリティ 54

わ

ワイヤレス出力 65
ワイルドカード予測 18
割り込み 49
ワンタッチシャッター 42

英数字

24時間表示 57
4Gを利用する 53
ACアダプターで充電 14
Androidバージョン 58
Androidビーム
NFC／おサイフケータイ 設定 40
NFC通信 64
aptX 63
Bluetooth機能 62
Bluetooth機能の利用 63
Bluetooth通信送受信 63
Bluetoothテザリング 21
Bright Keep 52
Chrome 37
Chromeについて 38
Chromeにログイン 38
Chromeの設定 38
Eメール 35
EDGESTエフェクト 50
Gmail 36
Gmailから予定を作成 46
Gmailの設定 37
Google音声入力 56
Googleキーボード 56
Googleなどのアカウントの設定 22
Google口ケーション履歴 53
GPS機能の利用 44
GPS／ナビ 44
HDR 42
IPアドレス 21
ISO感度 42
MACアドレス 21
microSDカード(外部ストレージ) 59
microSD内データを消去 51
microSDにデータ保存 56
microSDの暗号化 51
microSDの暗号化解除 51
microSDのマウント解除 51
microSDリーダーライター 65
microSDをマウント 51
microUSBケーブルで充電 15
MTPモード 51
nanoSIMカード 12
NFC／おサイフケータイ 設定 40
NFC／おサイフケータイ ロック 40
NFC通信 64
NightCatch
静止画撮影の設定 42
動画撮影の設定 42
Nowカード 17
PIN口ックの解除 55
Playストア 39
PTPモード 51
Reader／Writer, P2P 40
SHカメラ 40
SHツール 47
Shake OFF 52
SHSHOW 42
SIMカードのメッセージ 34
SIMカードロック設定 55
SIMカードをロック 55
SIM PINの変更 55
Smart Lock 54
SMS 34
SMSが有効 34
S-Shoin 56
Sweep ON 52
USB接続 51
USBテザリング 21
USBホスト機能 65
USBメモリのマウント解除 51
VPN設定 53
VPNの接続 66
VPNの切断 66
VPNの追加 66
Wi-Fiテザリング 21
Wi-Fiテザリング簡単接続 21
Wi-Fiテザリングを設定 21
Wi-Fiのスリープ設定 21
Wi-Fiの設定 21
Wi-Fi Direct 21
YouTube 45

Li-Ion00

キケン！
水ぬれ充電

製造元：シャープ株式会社

´15.10（1版）
15K HK80①